



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 前提条件
 - 2.3. 対象読者
- 3. セットアップの流れ
- 4. ミドルウェアのセットアップ
 - 4.1. Apache HTTP Server
 - 4.2. Internet Information Services (IIS)
 - 4.3. Resinの設定
- 5. WARファイルの作成
 - 5.1. モジュール選択
 - 5.2. intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル
- 6. ミドルウェア製品の起動・停止
- 7. デプロイ
- 8. テナント環境セットアップ
- 9. モジュール個別の設定
 - 9.1. SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)
- 10. ライセンス
- 11. アップデート・パッチの適用
 - 11.1. アップデート
 - 11.2. パッチ
- 12. アンインストール
- 13. 付録
 - 13.1. ロールの設定
 - 13.2. テーマの設定
 - 13.3. IM-Workflowのカラムサイズ設定を変更した場合の注意
 - 13.4. アーカイブモジュール利用時の注意
 - 13.5. Ver2.0.12以前のバージョンからVer2.0.13以降のバージョンにアップデートした場合、アップデート前に申請した申請書をアップデート後に参照する手順

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-11-21	初版
2014-06-09	第2版 以下を追加・変更しました ■ 目次構成を改善（intra-mart Accel Platformと重複する内容を削除しました） ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールの設定ファイルの内容を追加
2015-02-27	第3版 以下を追加・変更しました ■ 時刻表現方法のリファレンスを追加（時刻表現方法） ■ ログの出力先(初期値) を修正（ログ設定） ■ 所属組織を判定するために利用する組織セットコードを追加（所属組織を判定するために利用する組織セットコード） ■ 組織ツリー表示階層数を追加 を修正（組織ツリー表示階層数） ■ アップデートを行う際の個別作業を追加（アップデート・パッチの適用）
2015-04-01	第4版 以下を追加しました ■ バージョン 2.0.1からアップデートを行う際の個別作業に「申請書マスタメンテナンスの再設定」を追加
2015-10-23	第5版 以下を追加・修正しました ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールのモジュール設定に「続柄[本人]を特定するコード」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールのモジュール設定に「システムメッセージの配信元となるユーザのコード」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールに「セレクトボックスの表示最大数」を追加 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール）のモジュール設定を追加 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール）のモジュール設定を追加 ■ バージョン 2.0.2からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ app.diconの設定手順を修正 ■ モジュール個別の設定を追加
2016-08-01	第6版 以下を追加・修正しました ■ セットアップの流れを修正 ■ モジュール選択を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルを修正 ■ app.diconを修正 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理（iAD）連携モジュール）を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「作業実績/作業実績の年度開始月日」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「作業実績/作業実績の基準月」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「作業実績/対象年月の表示範囲(過去)」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「作業実績/対象年月の表示範囲(未来)」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「作業実績差分登録有無」を追加 ■ バージョン 2.0.3からアップデートを行う際の個別作業を追加

変更年月日	変更内容
2017-04-01	第7版 以下を追加・修正しました ■ intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルについての会社毎の設定方法を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールのモジュール設定に「ファイルタグの1 ファイルサイズ上限」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの会社毎の設定箇所を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュールを追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールの会社毎の設定箇所を修正 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール)の会社毎の設定箇所を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「勤務表 (共通) ヘッダー集計値表示パターン」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールの会社毎の設定箇所を修正 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー (保管・削除) モジュール)の会社毎の設定箇所を修正 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー (収集) モジュール)の会社毎の設定箇所を修正 ■ アップデート・パッチの適用を修正 ■ バージョン 2.0.4からアップデートを行う際の個別作業を追加
2017-07-01	第8版 以下を追加・修正しました ■ 駅すばあと API設定の文言を修正 ■ transit manager設定 (ICカードデータ連携)を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「作業実績時刻/時間数の入力単位」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「時刻表現方法 (作業実績用)」を追加 ■ バージョン 2.0.5からアップデートを行う際の個別作業を追加
2017-10-01	第9版 以下を追加・修正しました ■ バージョン 2.0.4からアップデートを行う際の個別作業を修正
2018-04-01	第10版 以下を追加・修正しました ■ J'sNAVI Jr.設定 (出張手配、法人カードデータ連携)を追加 ■ RODEM設定 (カレンダーデータ連携)を追加 ■ バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業を追加
2019-04-01	第11版 以下を追加・修正しました ■ モジュール選択を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあと API設定に「JR 予約サービス」を追加 ■ タイムスタンプ設定を追加 ■ バージョン 2.0.7からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ 付録を追加
2019-08-01	第12版 以下を追加・修正しました ■ 本書の構成や記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールに「仕訳出力時の未払金集約 (金額相殺) キー (組織) の設定」を追加 ■ バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.7からアップデートを行う際の個別作業を修正 ■ ライセンスを追加

変更年月日	変更内容
2019-12-01	第13版 以下の追加・変更を行いました。 ■ app.dicon の dicon ファイルに記述されている DTD ファイルの参照先を http から https に変更
2020-04-01	第14版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定 に「休日出勤・代休の有効期限」を追加 ■ Racco設定を追加 ■ 出張なび設定を追加 ■ JCS設定を追加 ■ タイムスタンプ設定をintra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールから移動しました。 ■ 活文IDE設定を追加 ■ NeoFace Cloud GPS連携サービス設定を追加 ■ バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業を追加
2020-08-01	第15版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定 に「休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定 に「休暇種別設定」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! DataDelivery連携モジュールのタイムスタンプ設定 に「画像データの最低画素数」を追加 ■ バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業に「TimestampSettings.xmlの編集」を追加 ■ バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業に「バージョン 2.0.8-PATCH_004からアップデートを行う際の必須作業」を追加 ■ バージョン 2.0.9にパッチを適用する際の個別作業を追加
2020-12-01	第16版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ app.dicon を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定 の「平均値算出時のスケール」を修正 ■ バージョン 2.0.9からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ バージョン 2.0.8にパッチを適用する際の個別作業を追加
2021-04-30	第17版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ s2jdbc.diconにOracle Databaseの場合の設定を追加 ■ テーマの設定を追加

変更年月日	変更内容
2021-12-01	第18版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールに「初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットの実装する対象バージョン設定」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールに「初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定」を追加 ■ ALLIGATE設定を追加 ■ バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ intra-mart Accel Documents のドキュメントの入手先の記述を追加
2022-03-31	第19版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否か」を追加 ■ NeoFace Cloud GPS連携サービス設定を削除 ■ Bio-IDiom Services for GPS連携設定を追加 ■ バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業に「ProductLabormgrSettings.xmlの編集」を追加 ■ バージョン 2.0.11にパッチを適用する際の個別作業を追加
2022-06-01	第20版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ app.dicon を修正
2022-09-30	第21版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ タイムスタンプ設定を修正
2022-12-01	第22版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ ミドルウェアのセットアップを修正 ■ モジュール選択を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルを修正 ■ Spring用設定ファイルを追加 ■ SAStruts用設定ファイルを修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールの「初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットの実装する対象バージョン設定」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールの「初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定」を修正 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)を修正 ■ SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール)を修正 ■ モジュール個別の設定を修正 ■ バージョン 2.0.12からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ バージョン 2.0.12にパッチを適用する際の個別作業を追加 ■ テーマの設定を修正 ■ アーカイブモジュール利用時の注意を追加

変更年月日	変更内容
2023-04-01	第23版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールの「初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルを修正 ■ バージョン 2.0.13からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ バージョン 2.0.12にパッチを適用する際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.13にパッチを適用する際の個別作業を追加
2023-04-28	第24版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ アップデート・パッチの適用を修正
2023-06-30	第25版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあと API設定に「オフピーク定期」を追加 ■ バージョン 2.0.12からアップデートを行う際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.13からアップデートを行う際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.12にパッチを適用する際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.13にパッチを適用する際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.14にパッチを適用する際の個別作業を追加
2023-11-01	第26版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ Apache HTTP Serverを追加 ■ Internet Information Services (IIS) を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの経路検索設定に「経路検索用コントローラークラス」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの経路検索設定の「経路検索用アクションクラス」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあと API設定に「探索種別」、「優先乗車券」、「検索結果表示」、「座席種別等変更可否」、「座席種別等変更時再読込有無」を追加 ■ バージョン 2.0.14からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ アーカイブモジュール利用時の注意を修正 ■ Ver2.0.12以前のバージョンからVer2.0.13以降のバージョンにアップデートした場合、アップデート前に申請した申請書をアップデート後に参照する手順を追加
2023-12-22	第27版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあと API設定の「JR 予約サービス」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあと API設定に「オフピーク定期券利用時の計算モード」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「複数承認者設定を使用するか否か」を追加 ■ バージョン 2.0.12にパッチを適用する際の個別作業を修正 ■ バージョン 2.0.15にパッチを適用する際の個別作業を追加 ■ トランザクションデータを変更する必要があるテーブルについてを追加

変更年月日	変更内容
2024-04-01	第28版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ Resinの設定を追加 ■ モジュール選択を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルを修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールのモジュール設定に「仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（プロジェクト）の設定」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定の「振替出勤・振替休日の有効期限」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定の「休日出勤・代休の有効期限」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否か」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「代休時に休日出勤を必須入力にするか否か」を追加 ■ バージョン 2.0.15からアップデートを行う際の個別作業を追加 ■ IM-Workflowのカラムサイズ設定を変更した場合の注意を追加
2024-08-31	第29版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあとWebサービス設定を「駅すばあと API設定」に変更 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの駅すばあと API設定の「JR 予約サービス」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールの経路検索設定の「駅すばあとWebサービス」を「駅すばあと API」に変更 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「未締め組織のみ表示するか否か」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「36 協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「36 協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)」を追加 ■ アップデート・パッチの適用を修正 ■ バージョン 2.0.16にパッチを適用する際の個別作業を追加
2025-04-01	第30版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュールのモジュール設定に「申請画面等の入力履歴の差分表示ボタン表示有無」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュールのモジュール設定に「申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログ表示有無」を追加 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定の「振替出勤・振替休日の有効期限」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定の「休日出勤・代休の有効期限」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定の「休暇種別設定」を修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのモジュール設定に「在宅勤務時間必須チェック有無」を追加 ■ バージョン 2.0.16からアップデートを行う際の個別作業を追加

変更年月日	変更内容
2025-06-30	第31版 以下の追加・変更を行いました。 ■ 本書の記載内容を整備 ■ モジュール選択を修正 ■ app.diconを修正 ■ intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルを修正 ■ オプションモジュールから、「intra-mart Accel Kaiden! Racco連携モジュール」、「intra-mart Accel Kaiden! 出張なび連携モジュール」、「intra-mart Accel Kaiden! JCS連携モジュール」、「intra-mart Accel Kaiden! 活文連携モジュール」を削除 ■ intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールから、「RODEM設定（カレンダーデータ連携）」を削除 ■ バージョン 2.0.17 にパッチを適用する際の個別作業を追加 ■ アップデート・パッチの適用にあるガジェットのインポートに関する内容を修正

はじめに

本書の内容

本書には、intra-mart Accel Kaiden!のセットアップ方法を記載しています。
基本的なセットアップ方法は、『[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)』を参照してください。

前提条件

- 本書内で記載されている外部URLは、2025年6月現在のものであります。
- セットアップを行う環境では、『[intra-mart Accel Kaiden! リリースノート](#)』に記載されているシステム要件を満たしている必要があります。

対象読者

本書では次の読者を対象としています。

- intra-mart Accel Kaiden!のセットアップを行われる方

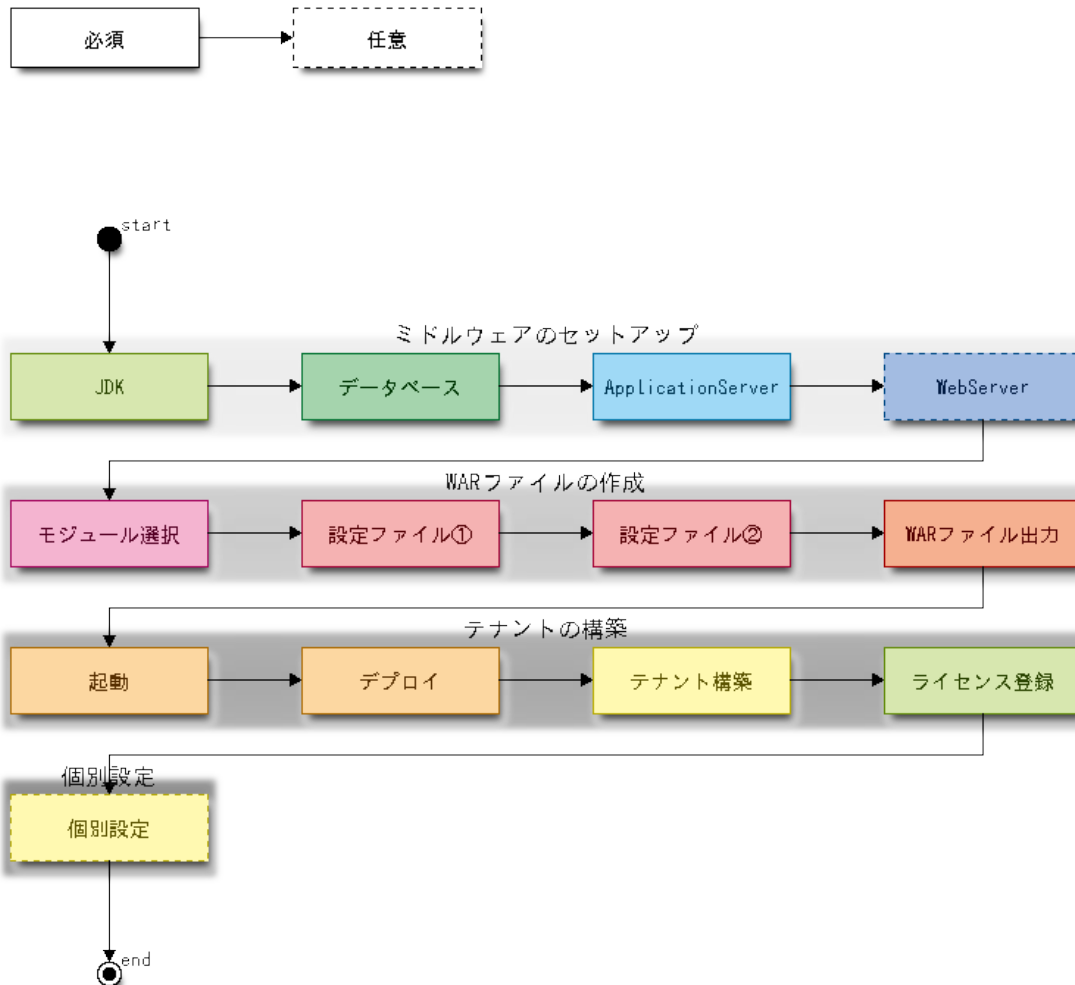
セットアップの流れ

intra-mart Accel Kaiden! のセットアップの手順は次のフローチャートの通りです。
各ステップごとのセットアップ手順は一覧のリンク先を参照してください。

コラム

intra-mart Accel Platformのセットアップの流れは、
『intra-mart Accel Platform セットアップガイド』のセットアップの流れを参照してください。

- 凡例
 - 必須・・・セットアップが必要な項目です。
 - 任意・・・セットアップをスキップする事ができる項目です。



Name	Description
start	
JDK	JDK
データベース	データベース
ApplicationServer	Web Application Server
WebServer	Web Server
モジュール選択	モジュール選択
設定ファイル①	基盤の設定ファイル
設定ファイル②	intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル

Name	Description
WARファイル出力	WARファイルの出力
起動	Web Application Server の起動・停止
デプロイ	WARファイルのデプロイ
テナント構築	テナント環境セットアップ
ライセンス登録	ライセンスの登録
個別設定	モジュール個別の設定
end	

- ミドルウェアのセットアップを行います。

詳細は、[intra-mart Accel Platform を利用するためのミドルウェアのインストールと設定](#)を参照してください。

バージョン2.0.13以降の環境を構築する場合、ResinにTERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)を使用する場合の設定が必要です。

詳細は、『[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)』-「ミドルウェアのセットアップ」-「Web Application Server」-「Resinの設定」を参照してください。

Apache HTTP Server

Apache HTTP Serverを使用する際の注意事項を記載します。

設定方法の詳細は、[intra-mart Accel Platform を利用するためのミドルウェアのインストールと設定](#)を参照してください。

apache設定ファイルの「Keepaliveについて」

Ver2.0.13以降の環境で、ファイルサイズの制限を超えたファイルをアップロードした際に502 Bad Gatewayが発生します。

502 Bad Gatewayを抑制するためには、<%APACHE_HOME%/conf/httpd.conf> ファイルの「SetEnv proxy-nokeepalive 1」の設定を削除してください。

設定の適用にはApache HTTP Serverの再起動が必要です。

Internet Information Services (IIS)

Internet Information Services (IIS) を使用する際の注意事項を記載します。

設定方法の詳細は、[intra-mart Accel Platform を利用するためのミドルウェアのインストールと設定](#)を参照してください。

Internet Information Services (IIS) の設定の「Keepaliveについて」

Ver2.0.13以降の環境で、ファイルサイズの制限を超えたファイルをアップロードした際に502 Bad Gatewayが発生します。

502 Bad Gatewayを抑制するためには、インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーの「Application Request Routing」画面からKeep aliveのチェックボックスをONに設定してください。

Resinの設定

Resinの設定に関する事項を記載します。

設定方法の詳細は、[intra-mart Accel Platform を利用するためのミドルウェアのインストールと設定](#)を参照してください。

JSPプリコンパイル設定

通常JSP はページがアクセスされた時にコンパイルされますが、JSPプリコンパイル設定を行うことで事前にコンパイルを行うことが可能です。

次の通りresin-web.xmlを設定すると、Kaiden!のJSPをプリコンパイル可能です。

```
<web-app>
  <listener>
    <listener-class>com.caucho.jsp.JspPrecompileListener</listener-class>
  <init>
    <fileset>
      <include>**/kaiden/v2/**/*.*jsp</include>
    </fileset>
  </init>
</listener>
</web-app>
```

WARファイルの作成

- WARファイルの作成を行います。
詳細は、[WARファイルの作成](#)及び以下を参照してください。

モジュール選択

使用する機能にあわせて、intra-mart Accel Kaiden! モジュールを選択します。

コラム

モジュール選択の方法は、『[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)』の[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)を参照してください。
バージョン2.0.13以降の環境を構築する場合、TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)の追加リソースの選択が必要です。
バージョン2.0.12以前の環境を構築する場合、またはバージョン2.0.13でアーカイブモジュールを含んだ環境を構築する場合、SAStruts用の追加リソースの選択が必要です。
詳細は[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)を参照してください。

コラム

アーカイブモジュールは、SAStrutsの開発モデルで構築されています。
カスタマイズしたモジュールを使用するなど、SAStrutsの開発モデルで構築したintra-mart Accel Kaiden!が必要な場合、選択してください。

TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)

バージョン2.0.13以降の環境を構築する場合、以下のモジュールを選択してください。

モジュールパック	モジュール	必須	備考
TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) for Accel Platform	TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) Common module for Accel Platform	○	
	TERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) for web module for Accel Platform	○	

注意

intra-mart Accel Kaiden!以外のアプリケーションおよびユーザモジュールでTERASOLUNA Server Framework for Java (5.x) for Accel Platformを使用する場合、DatabaseにMicrosoft SQL Serverを使用できません。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 を使用する場合、以下のモジュールを選択してください。

モジュールパック	モジュール	必須	備考
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール	○	
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール	○	
	intra-mart Accel Kaiden! Microsoft 365 連携モジュール		Microsoft 365と連携する場合、選択してください。
	intra-mart Accel Kaiden! LINE WORKS連携モジュール		LINE WORKSと連携する場合、選択してください。
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール	○	
	intra-mart Accel Kaiden! DataDelivery連携モジュール		DataDeliveryと連携する場合、選択してください。

intra-mart Accel Kaiden! Bill One 連携モジュール	Bill Oneと連携する場合、選択してください。
intra-mart Accel Kaiden! LINE WORKS OCR連携モジュール	LINE WORKS OCRと連携する場合、選択してください。
intra-mart Accel Kaiden! invoiceAgent 文書管理連携モ ジュール	invoiceAgent 文書管理と連携する場合、選択してください。
intra-mart Accel Kaiden! マルチバ リユーチャージサービス連携モ ジュール	マルチバリユーチャージサービスと連携する場合、選択してください。
intra-mart Accel Kaiden! 生成AI連 携モジュール	生成AIと連携する場合、選択してください。

コラム

intra-mart Accel Kaiden! LINE WORKS連携モジュールを使用する場合、OAuth認証モジュールとIM-LogicDesigner REST API OAuth認証モジュールをあわせてセットアップする必要があります。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 を使用する場合、以下のモジュールを選択してください。

モジュールパック	モジュール	必須	備考
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モ ジュール	○	
	intra-mart Accel Kaiden! Microsoft 365 連携モジュール		Microsoft 365と連携する場合、選択してください。
intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理	intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 モジュール	○	
	intra-mart Accel Kaiden! Bio- IDiom Services連携モジュール		Bio-IDiom Services for GPS連携と連携する場合、選択してください。
	intra-mart Accel Kaiden! ALLIGATE連携モジュール		ALLIGATEと連携する場合、選択してください。
	intra-mart Accel Kaiden! Microsoft 365 勤務管理向け連携モ ジュール		Microsoft 365と連携する場合、選択してください。

コラム

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールのガジェット機能(長期休暇ガジェット等)を使用する場合、intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュールをあわせてセットアップする必要があります。

intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー

intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー を使用する場合、以下のモジュールを選択してください。

intra-mart Accel Kaiden! マイナンバーはSAStrutsの開発モデルで構築されているため、アーカイブモジュールも併せて選択する必要があります。

モジュールパック	モジュール	必須	備考
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モ ジュール	○	
	intra-mart Accel Kaiden! IM- Workflow連携モジュール	○	
SAStruts版 アーカイブ (intra-mart Accel Kaiden! Core Module)	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール)	○	

	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール)	○
intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー	intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール	○
	intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール	マイナンバーの収集機能を利用する場合、必須です。
	intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（WebService）モジュール	マイナンバー提供用のWebService機能を利用する場合、必須です。
	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)	○
	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール)	マイナンバーの収集機能を利用する場合、必須です。
	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（WebService）モジュール)	マイナンバー提供用のWebService機能を利用する場合、必須です。

intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル

『[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)』の[アプリケーションの追加](#)を参考に、intra-mart Accel Kaiden! モジュールを追加後、必要に応じてintra-mart Accel Kaiden! の設定を行います。



注意

本項の手順の前に、必ず『[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)』- [基盤の設定ファイル](#)の手順を実施してください。

Spring用設定ファイル

バージョン2.0.13以降の環境を構築する場合、設定してください。

applicationContext-kaiden_common.xml

1. applicationContext-kaiden_common.xmlの作成が必要です。
applicationContext-kaiden_common.xmlを作成し、「classes/META-INF/spring」に配置してください。
2. 接続したいデータベースに合わせて <bean id="dialect"> の定義をコメントの外に出して有効にしてください。
3. ファイルのアップロードサイズを <bean id="multipartResolver"> に設定してください。


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<beans xmlns="http://www.springframework.org/schema/beans"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.springframework.org/schema/beans http://www.springframework.org/schema/beans/spring-
beans-4.1.xsd">

  <bean id="dataSource" class="jp.co.intra_mart.framework.extension.spring.datasource.TenantDataSource"/>

  <bean id="transactionManager" class="org.springframework.jdbc.datasource.DataSourceTransactionManager">
    <property name="dataSource" ref="dataSource"/>
  </bean>

  <bean id="connectionProvider" class="com.miragesql.miragesql.integration.spring.SpringConnectionProvider">
    <property name="transactionManager" ref="transactionManager"/>
  </bean>

  <!-- Postgre -->
  <bean id="dialect" class="com.miragesql.miragesql.dialect.PostgreSQLDialect"/>

  <!-- Oracle
  <bean id="dialect" class="com.miragesql.miragesql.dialect.OracleDialect"/>
  -->
  <!-- SQLServer
  <bean id="dialect" class="com.miragesql.miragesql.dialect.SQLServerDialect"/>
  -->

  <bean id="commonSqlManager"
class="jp.co.slcs.kaiden.v2.base.foundation.extension.mirage.sql.impl.CommonSqlManagerImpl">
    <property name="connectionProvider" ref="connectionProvider"/>
    <property name="dialect" ref="dialect" />
  </bean>

  <bean id="multipartResolver" class="org.springframework.web.multipart.commons.CommonsMultipartResolver">
    <!-- the maximum size of an uploaded file in bytes -->
    <!-- <property name="maxUploadSize" value="10240000"/> -->
    <property name="maxUploadSize" value="10240000"/>
  </bean>

</beans>
```

SAStruts用設定ファイル

バージョン2.0.12以前の環境を構築する場合、またはバージョン2.0.13でアーカイブモジュールを含んだ環境を構築する場合、設定してください。

app.dicon

次の手順を実施し、「s2jdbc.dicon」のincludeを有効にします。

[基盤の設定ファイル - SAStruts - SAStruts用設定ファイル（SAStruts+S2JDBCにてデータベースを利用する場合）](#)

上記手順の実施後、再度app.diconの編集を行います。



注意

利用するintra-mart Accel Kaiden!のモジュールに応じて、次のいずれかを実施してください。
複数の設定を同時に実施した場合、intra-mart Accel Kaiden!のアプリケーションが正常に動作しません。

intra-mart Accel Kaiden! の全てのモジュールを利用する場合

- intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
- intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
- intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
- intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール
- intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール
- intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール

バージョン2.0.12以前の環境で上記のすべてのモジュールを利用する場合は当設定を行います。

- SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール)
- SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール)
- SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール)
- SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール)
- SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)
- SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール)

バージョン2.0.13以降の環境で上記のすべてのモジュールを利用する場合は当設定を行います。

1. app.diconの編集を行います。
2. **kaiden.dicon** の include を追加します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
    "https://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components>
  <include path="convention.dicon"/>
  <include path="aop.dicon"/>
  <include path="j2ee.dicon"/>
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <include path="kaiden.dicon"/>
  <component name="actionMessagesThrowsInterceptor"
class="org.seasar.struts.interceptor.ActionMessagesThrowsInterceptor"/>
</components>
```

- 追加箇所

```
<include path="kaiden.dicon"/>
```



注意

オプションのモジュールは、kaiden.diconに含まれていません。
オプションのモジュールを利用する場合は、kaiden_module.diconを個別で設定してください。

intra-mart Accel Kaiden! の利用モジュールを個別設定する場合

intra-mart Accel Kaiden! の利用モジュールを個別設定する場合は次の設定を行います。

1. app.diconの編集を行います。
2. **kaiden_module.dicon** の include を追加します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
    "https://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components>
  <include path="convention.dicon"/>
  <include path="aop.dicon"/>
  <include path="j2ee.dicon"/>
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <include path="kaiden_module.dicon"/>
  <component name="actionMessagesThrowsInterceptor"
class="org.seasar.struts.interceptor.ActionMessagesThrowsInterceptor"/>
</components>
```

- 追加箇所

```
<include path="kaiden_module.dicon"/>
```

3. <（プロジェクト名）/classes/kaiden_module.dicon> ファイルを作成します。
4. kaiden_module.diconを次の様に編集します。利用するintra-mart Accel Kaiden!のモジュールに応じて、コメントアウトを除去してください。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR/DTD S2Container 2.4//EN" "https://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components xmlns:xi="http://www.w3.org/2001/XInclude">
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <component name="kaidenSqlLogRegistry"
    class="org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistry">@org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistryLocator@getInstance()</component>

  <xi:include href="/kaiden_base.dicon" />
  <!-- <xi:include href="/kaiden_extension_imw.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_product_workflow.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_product_labormgr.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_solution_idcntntr_stg.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_solution_idcntntr_col.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_data_delivery.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_billone.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_clova_ocr.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_invoice_agent.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_neoface.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_alligate.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_file.dicon" /> -->
  <!-- <xi:include href="/kaiden_relation_iad_ts.dicon" /> -->
</components>
```

5. 編集後、利用するintra-mart Accel Kaiden!のモジュールに応じて、コメントアウトを除去してください。
バージョン2.0.13以降の環境の場合、アーカイブモジュールを使用するモジュールのみコメントアウトを除去してください。

利用モジュール	除去するコメントアウト
IM-Workflow連携モジュール SASruts版 アーカイブ(IM-Workflow連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_extension_imw.dicon" />
ワークフローモジュール SASruts版 アーカイブ(ワークフローモジュール)	<xi:include href="/kaiden_product_workflow.dicon" />
勤務管理モジュール SASruts版 アーカイブ(勤務管理モジュール)	<xi:include href="/kaiden_product_labormgr.dicon" />
マイナンバー（保管・削除）モジュール SASruts版 アーカイブ(マイナンバー（保管・削除）モジュール)	<xi:include href="/kaiden_solution_idcntntr_stg.dicon" />
マイナンバー（収集）モジュール SASruts版 アーカイブ(マイナンバー（収集）モジュール)	<xi:include href="/kaiden_solution_idcntntr_col.dicon" />
DataDelivery連携モジュール SASruts版 アーカイブ(DataDelivery連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_data_delivery.dicon" />
Bill One連携モジュール SASruts版 アーカイブ(Bill One連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_billone.dicon" />
LINE WORKS OCR連携モジュール SASruts版 アーカイブ(LINE WORKS OCR連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_clova_ocr.dicon" />
invoiceAgent 文書管理連携モジュール SASruts版 アーカイブ(invoiceAgent 文書管理連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_invoice_agent.dicon" />
Bio-IDiom Services連携モジュール SASruts版 アーカイブ(Bio-IDiom Services連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_neoface.dicon" />
ALLIGATE連携モジュール SASruts版 アーカイブ(ALLIGATE連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_alligate.dicon" />
SASruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_file.dicon" />
SASruts版 アーカイブ(文書管理（iAD）連携モジュール)	<xi:include href="/kaiden_relation_iad_ts.dicon" />

コラム

例) バージョン2.0.12以前の環境でintra-mart Accel Kaiden! 経費旅費を利用する場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
"https://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components xmlns:xi="http://www.w3.org/2001/XInclude">
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <component name="kaidenSqlLogRegistry"
class="org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistry">@org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistryLocator@getInstance()</c

  <xi:include href="/kaiden_base.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_extension_imw.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_product_workflow.dicon" />
</components>
```

例) バージョン2.0.12以前の環境でintra-mart Accel Kaiden! 経費旅費と intra-mart Accel Kaiden! DataDelivery連携モジュールを利用する場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
"https://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components xmlns:xi="http://www.w3.org/2001/XInclude">
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <component name="kaidenSqlLogRegistry"
class="org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistry">@org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistryLocator@getInstance()</c

  <xi:include href="/kaiden_base.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_extension_imw.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_product_workflow.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_relation_data_delivery.dicon" />
</components>
```

例) バージョン2.0.12以前の環境でintra-mart Accel Kaiden! 勤務管理を利用する場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
"https://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components xmlns:xi="http://www.w3.org/2001/XInclude">
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <component name="kaidenSqlLogRegistry"
class="org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistry">@org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistryLocator@getInstance()</c

  <xi:include href="/kaiden_base.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_product_labormgr.dicon" />
</components>
```

例) バージョン2.0.12以前の環境でintra-mart Accel Kaiden! 経費旅費とintra-mart Accel Kaiden! 勤務管理を利用する場合

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
"http://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components xmlns:xi="http://www.w3.org/2001/XInclude">
  <include path="s2jdbc.dicon"/>
  <component name="kaidenSqlLogRegistry"
class="org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistry">@org.seasar.extension.jdbc.SqlLogRegistryLocator@getInstance()</c

  <xi:include href="/kaiden_base.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_extension_imw.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_product_workflow.dicon" />
  <xi:include href="/kaiden_product_labormgr.dicon" />
</components>
```

s2jdbc.dicon

s2jdbc.diconにてどのデータベースを利用するかを定義する dialect の設定が必要です。

接続したいデータベースに合わせて <property name="dialect">の定義をコメントの外に出して有効にしてください。

利用するデータベースに対してどのdialectを設定すれば良いかは、http://s2container.seasar.org/2.4/ja/s2jdbc_setup.html を参照してください。

i コラム

上記内容は『基盤の設定ファイル』の次の手順(コラム)に記載されております。

基盤の設定ファイル - SAStruts - SAStruts用設定ファイル (SAStruts+S2JDBCにてデータベースを利用する場合)

i コラム

Oracle Databaseを使用する場合、「org.seasar.extension.jdbc.util.LikeUtil」で使用するワイルドカードのパターンに「%（半角）」、「_（半角）」を設定してください。

未設定の場合、キーワード検索時に「%（全角）」、「__（全角）」を含んで検索した場合正常に検索できません。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE components PUBLIC "-//SEASAR//DTD S2Container 2.4//EN"
"http://www.seasar.org/dtd/components24.dtd">
<components>
  <include path="jdbc.dicon"/>
  <include path="s2jdbc-internal.dicon"/>
  <component name="jdbcManager" class="org.seasar.extension.jdbc.manager.JdbcManagerImpl">
    <initMethod>
      @org.seasar.extension.jdbc.util.LikeUtil @setWildcardPatternAsString("[%_]"),
      @org.seasar.extension.jdbc.util.LikeUtil @setWildcardReplacementPatternAsString("[$%_]")
    </initMethod>
    <property name="maxRows">0</property>
    <property name="fetchSize">0</property>
    <property name="queryTimeout">0</property>
    <property name="dialect">oracleDialect</property>
  </component>
</components>
```

intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルについて

項目

- 設定ファイルの形式
- 全体の設定方法
- 会社毎の設定方法

設定ファイルの形式

intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルは以下の様な形式で提供しています。

各設定ファイルで全体の設定、および会社個別の設定を行うことができます。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<xxxSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/xxx">

  <defaultSetting>
    %全体の設定%
  </defaultSetting>

  <tenantSettings>

    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>

        <companySetting>
          <companyCd>%会社Aのコード値%</companyCd>
          <settings>
            %会社Aの設定%
          </settings>
        </companySetting>

        <companySetting>
          <companyCd>%会社Bのコード値%</companyCd>
          <settings>
            %会社Bの設定%
          </settings>
        </companySetting>

      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
</xxxSettings>

```

全体の設定方法

全体の設定を行う場合は「defaultSetting」タグに設定を行います。

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<xxxSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/xxx">

  <defaultSetting>
    %全体の設定%
  </defaultSetting>

</xxxSettings>

```

会社毎の設定方法

会社毎の設定を行う場合は「tenantSetting」「companySetting」タグに設定を行います。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<xxxSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/xxx">

  <defaultSetting>
    %全体の設定%
  </defaultSetting>

  <tenantSettings>

    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>

        <companySetting>
          <companyCd>%会社Aのコード値%</companyCd>
          <settings>
            %会社Aの設定%
          </settings>
        </companySetting>

        <companySetting>
          <companyCd>%会社Bのコード値%</companyCd>
          <settings>
            %会社Bの設定%
          </settings>
        </companySetting>

      </companySettings>
    </tenantSetting>

  </tenantSettings>
</xxxSettings>
```

コラム

全体の設定のみ（会社個別の設定を行わない場合）を行う場合は、会社毎の設定は必要ありません。
会社毎の設定を行っている場合も、全体の設定は必ず行ってください。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール

モジュール設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - intra-mart Accel Kaiden! で利用する組織セットコード
 - 会社通貨コード
 - レート計算時の端数処理モード
 - 時刻表現方法
 - 続柄[本人]を特定するコード
 - システムメッセージの配信元となるユーザのコード
 - セレクトボックスの表示最大数
 - ファイルタグの1ファイルサイズ上限

コラム

バージョン 2.0.1で [時刻表現方法](#) を追加しています。
バージョン 2.0.3で [続柄\[本人\]を特定するコード](#) を追加しています。
バージョン 2.0.3で [システムメッセージの配信元となるユーザのコード](#) を追加しています。
バージョン 2.0.3で [セレクトボックスの表示最大数](#) を追加しています。
バージョン 2.0.5で [ファイルタグの1ファイルサイズ上限](#) を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール の基本設定を行います。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/BaseSettings.xml

BaseSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 当モジュールで利用する標準の組織セットコード
      * 設定した組織セットのみ利用します。
      * 省略するとすべての組織セットを利用します。
      * %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。
    -->
  </defaultSetting>
  <defaultDepartmentSetCd></defaultDepartmentSetCd>
  <!-- 会社通貨コード
      * 換算額（取引額 * レート）を行う際のレートを導出する通貨コード
      * または特に通貨の指定のない金額項目の通貨コード
    -->
  <companyCurrencyCd>JPY</companyCurrencyCd>
  <!-- 換算額（取引額 * レート）のは端数処理モード
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** CEILING : 正の無限大に近づくように丸めるモード（切り上げ）
      ** FLOOR : 負の無限大に近づくように丸めるモード（切り捨て）
      ** DOWN : 0 に近づくように丸めるモード（正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ）
      ** UP : 0 から離れるように丸めるモード（正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て）
      ** HALF_DOWN : 「もっとも近い数字」に丸めるモード。ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て（五捨六入）
      ** HALF_UP : 「もっとも近い数字」に丸めるモード。ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ（四捨五入）
      ** HALF_EVEN : 「もっとも近い数字」に丸めるモード。ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め（最近接偶数丸め）
    -->
  <amountConvertRoundMode>HALF_UP</amountConvertRoundMode>
  <!-- 時刻表現方法 *timestampの書式には影響しません
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
      ** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
    -->
  <timeFormat>H99</timeFormat>
  <!-- 続柄
      * 続柄[本人]を特定するコード
    -->
  <relationshipOwnPerson>100004-10</relationshipOwnPerson>
  <!-- システムメッセージの配信元となるユーザのコード
      * ジョブの完了メッセージなど、個人が特定できない場合の配信元となります。
      * 本設定に合わせて、ユーザ作成及びメールアドレスの設定をお願いします。
    -->
  <deliverUserCd></deliverUserCd>
  <!-- セレクトボックスの表示最大数
      * セレクトボックスの表示最大数です。
      * 最大数を超えたセレクト内容はモーダルで検索、設定します。
      * 未設定の場合は全件表示します。
    -->
  <showSelectOptionMaxCount>10</showSelectOptionMaxCount>
  <!-- ファイルタグの1ファイルサイズ上限(KB)
      * 0が指定された場合は上限なし。-->
  <maxFileSize>0</maxFileSize>
</defaultSetting>

<!-- 会社毎の設定 -->
<!--
<tenantSettings>
  <tenantSetting>
    <tenantId>%テナントID%</tenantId>
    <companySettings>
      <companySetting>
        <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>
          <defaultDepartmentSetCd></defaultDepartmentSetCd>
          <companyCurrencyCd>JPY</companyCurrencyCd>
          <amountConvertRoundMode>HALF_UP</amountConvertRoundMode>
          <timeFormat>H99</timeFormat>
          <relationshipOwnPerson>100004-10</relationshipOwnPerson>
          <deliverUserCd></deliverUserCd>
          <showSelectOptionMaxCount>10</showSelectOptionMaxCount>
```



```
<showSelectOptionMaxCount>10</showSelectOptionMaxCount>
<maxFileSize></maxFileSize>
</settings>
</companySetting>
</companySettings>
</tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</baseSettings>
```

リファレンス

intra-mart Accel Kaiden! で利用する組織セットコード

タグ名 defaultDepartmentSetCd

intra-mart Accel Kaiden! で利用する組織セットコードを設定します。

設定した組織セットに所属する組織のみを利用します。

省略するとすべての組織セットを利用し、「%company%」を指定した場合は会社コードと同じ組織セットコードの組織セットを利用します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 当モジュールで利用する標準の組織セットコード
    * 設定した組織セットのみ利用します。
    * 省略するとすべての組織セットを利用します。
    * %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。
    -->
    <defaultDepartmentSetCd></defaultDepartmentSetCd>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <defaultDepartmentSetCd></defaultDepartmentSetCd>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目 ×

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- 組織セットコード（IM-共通マスタ - 組織マスタ）
設定した組織セットに所属する組織のみを利用します。
- %company%
会社コードと同じ組織セットコードの組織セットを利用します。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

省略時のデフォルト値 なし（すべての組織セットを利用します。）

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

会社通貨コード

タグ名 companyCurrencyCd

intra-mart Accel Kaiden! を利用する会社の通貨コードを設定します。
レート計算時や特に通貨の指定のない金額項目の通貨コードとして利用します。
会社通貨はスケール（小数点桁数）が0の通貨である必要があります。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 会社通貨コード
      * 換算額（取引額 * レート）を行う際のレートを導出する通貨コード
      * または特に通貨の指定のない金額項目の通貨コード
    -->
    <companyCurrencyCd>JPY</companyCurrencyCd>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <companyCurrencyCd>JPY</companyCurrencyCd>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	通貨コード（IM-共通マスタ - 通貨マスタ）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

レート計算時の端数処理モード

タグ名 amountConvertRoundMode

intra-mart Accel Kaiden! でレート計算を行う際の端数処理を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 換算額（取引額 * レート）のは端数処理モード
    * 以下のいずれかを指定できます.
    ** CEILING :正の無限大に近づくように丸めるモード（切り上げ）
    ** FLOOR   :負の無限大に近づくように丸めるモード（切り捨て）
    ** DOWN    :0 に近づくように丸めるモード（正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ）
    ** UP      :0 から離れるように丸めるモード（正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て）
    ** HALF_DOWN :「もっとも近い数字」に丸めるモード。ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て（五捨六入）
    ** HALF_UP  :「もっとも近い数字」に丸めるモード。ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ（四捨五入）
    ** HALF_EVEN :「もっとも近い数字」に丸めるモード。ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め（最近接偶数丸め）
    -->
    <amountConvertRoundMode>HALF_UP</amountConvertRoundMode>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <amountConvertRoundMode>FLOOR</amountConvertRoundMode>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **CEILING**（切り上げ）

正の無限大に近づくように丸めるモード

例）小数值の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.5	2
-1.5	-1

- **FLOOR**（切り捨て）

負の無限大に近づくように丸めるモード

例）小数值の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.5	1
-1.5	-2

- **DOWN**（正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ）

0 に近づくように丸めるモード

例）小数值の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.5	1
-1.5	-1

- **UP**（正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て）

0 から離れるように丸めるモード

例）小数值の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.5	2
-1.5	-2

- **HALF_DOWN**（五捨六入）

「もっとも近い数字」に丸めるモード

ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨てます。

例）小数值の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.4	1
1.5	1
1.6	2

- **HALF_UP**（四捨五入）

「もっとも近い数字」に丸めるモード

ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げます。

例）小数值の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.4	1
1.5	2

1.6	2
-----	---

- **HALF_EVEN**（最近接偶数丸め）
「もっとも近い数字」に丸めるモード
ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸めます。

例）小数値の端数処理

端数処理前	端数処理後
1.5	2
2.5	2
3.5	4

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

時刻表現方法

タグ名 timeFormat

intra-mart Accel Kaiden! の時刻表現方法を設定します。
時刻入力用のテキストボックスでの表示方法として利用します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 時刻表現方法 *timestampの書式には影響しません
    * 以下のいずれかを指定できます.
    ** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
    ** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
    -->
    <timeFormat>H99</timeFormat>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <timeFormat>H99</timeFormat>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **H99**
24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
- **H24**
24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する

例) 時刻表現方法の違い

時刻	H99	H24
24:00	24:00	24:00
36:00 (翌日12:00)	36:00	+12:00
60:00 (翌々日12:00)	60:00	++12:00

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

続柄[本人]を特定するコード

タグ名 relationshipOwnPerson

従業員家族マスタで、本人を特定するための続柄コードを設定します。
設定値は、項目マスタ（項目区分コード「100004」）に設定した項目である必要があります。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 続柄
         * 続柄[本人]を特定するコード
    -->
    <relationshipOwnPerson>100004-10</relationshipOwnPerson>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <relationshipOwnPerson>100004-10</relationshipOwnPerson>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容	項目ID (項目区分コード + “_” + 項目コード)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

システムメッセージの配信元となるユーザのコード

タグ名 deliverUserCd

intra-mart Accel Kaiden! でシステムメッセージを配信する際の配信元のユーザコードを設定します。
本設定にあわせて、配信元に設定したユーザのメールアドレス設定が必要です。
標準機能では、システムメッセージ配信はありません。（拡張機能用の設定です。）

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- システムメッセージの配信元となるユーザのコード
      * ジョブの完了メッセージなど、個人が特定できない場合の配信元となります。
      * 本設定に合わせて、ユーザ作成及びメールアドレスの設定をお願いします。
    -->
    <deliverUserCd></deliverUserCd>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <deliverUserCd></deliverUserCd>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	ユーザコード (IM-共通マスタ - ユーザマスタ)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし (システムメッセージの配信を行いません。)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

セレクトボックスの表示最大数

タグ名 showSelectOptionMaxCount

intra-mart Accel Kaiden! で利用するセレクトボックスの表示最大数を設定します。

各セレクトボックスで表示件数を超える場合、追加検索機能を利用できます。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- セレクトボックスの表示最大数
      * セレクトボックスの表示最大数です。
      * 最大数を超えたセレクト内容はモーダルで検索、設定します。
      * 未設定の場合は全件表示します。
    -->
    <showSelectOptionMaxCount>10</showSelectOptionMaxCount>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <showSelectOptionMaxCount>10</showSelectOptionMaxCount>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	表示件数
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	なし（全件表示します。）
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ファイルタグの1ファイルサイズ上限

タグ名 maxFileSize

intra-mart Accel Kaiden! で利用するファイルタグの1ファイルの添付可能サイズの上限を設定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<baseSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/baseSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- ファイルタグの1ファイルサイズ上限(KB)
    0が指定された場合は上限なし。 -->
    <maxFileSize>0</maxFileSize>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <maxFileSize></maxFileSize>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</baseSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	添付可能な1ファイルのサイズ上限
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	なし（ファイルサイズの上限を設定しません。）
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

経路検索設定

項目

- [概要](#)
- [リファレンス](#)
 - [経路検索の利用有無](#)
 - [経路検索用アクションクラス](#)
 - [経路検索用コントローラークラス](#)

コラム

バージョン 2.0.15で [経路検索用コントローラークラス](#)を追加しています。
バージョン 2.0.15で [経路検索用アクションクラス](#)の初期値を変更しています。
バージョン 2.0.16-PATCH_001で 駅すばあとWebサービスを駅すばあと APIに変更しています。

概要

経路検索の利用設定を行います。

モジュール

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール

設定場所

WEB-INF/conf/kaiden2/RouteSearchSettings.xml

RouteSearchSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<routeSearchSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/routeSearchSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 経路検索利用有無 -->
    <use>false</use>
    <!-- 経路検索用アクションクラス -->
    <actionClass>kaiden/route/ekispertWeb</actionClass>
    <!-- 経路検索用コントローラークラス -->
    <controllerClass>kaiden/v2/route/ekispertWeb</controllerClass>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <use>false</use>
        <actionClass>kaiden/route/ekispertWeb</actionClass>
        <controllerClass>kaiden/v2/route/ekispertWeb</controllerClass>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</routeSearchSettings>
```

リファレンス

経路検索の利用有無

タグ名 use

経路検索の利用有無を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<routeSearchSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/routeSearchSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 経路検索利用有無 -->
    <use>false</use>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <use>false</use>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</routeSearchSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
経路検索を利用します。
- **false**
経路検索を利用しません。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

経路検索用アクションクラス

タグ名 actionClass

アーカイブモジュールの経路検索用のアクションクラスを設定します。

アーカイブモジュールの経路検索を使用する場合、設定ください。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<routeSearchSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/routeSearchSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 経路検索用アクションクラス -->
    <actionClass>kaiden/route/ekispertWeb</actionClass>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <actionClass>kaiden/route/ekispertWeb</actionClass>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</routeSearchSettings>
```

必須項目 x

複数設定 x

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **kaiden/route/ekispertWeb**
駅すばあと APIと連携する場合に設定します。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

経路検索用コントローラークラス

タグ名 controllerClass

経路検索用のコントローラークラスを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<routeSearchSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/routeSearchSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 経路検索用コントローラークラス -->
    <controllerClass>kaiden/v2/route/ekispertWeb</controllerClass>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <controllerClass>kaiden/v2/route/ekispertWeb</controllerClass>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</routeSearchSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **kaiden/v2/route/ekispertWeb**
駅すばあと APIと連携する場合に設定します。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	なし
------------	----

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

駅すばあと API設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 駅すばあと API URL
 - 駅すばあと API key
 - Proxy利用有無
 - Proxyのアドレス
 - Proxyのポート番号
 - Proxyに対する認証ユーザ
 - Proxyに対する認証ユーザのパスワード
- リファレンス(駅すばあとの検索条件)
 - 詳細探索条件データ
 - 飛行機の探索条件
 - 新幹線の探索条件
 - 新幹線のぞみの探索条件
 - 寝台列車の探索条件
 - 有料特急の探索条件
 - 高速バスの探索条件
 - 連絡バスの探索条件
 - 路線バスの探索条件
 - 深夜急行バスの探索条件
 - 船の探索条件
 - 有料普通列車の探索条件
 - 駅間徒歩の探索条件
 - JR路線の探索条件
 - 乗換えの探索条件
 - 出発駅乗車待ち平均時間の利用の探索条件
 - 特急始発駅の探索条件
 - 路線バスのみ探索有無
 - 乗換え時間の探索条件
 - 路線名あいまい指定
 - 経由駅指定の継承
 - 特急料金種別希望初期値
 - 定期種別初期値
 - JR季節料金の考慮有無
 - 学割乗車券の計算有無
 - 航空運賃の指定
 - 航空保険特別料金を含むか否か
 - 乗車券計算のシステムの指定
 - 2区間定期
 - ソート種別
 - 片道運賃探索時のソート種別
 - 定期運賃探索時のソート種別
 - 最大回答数
 - 最大探索数
 - JR予約サービス
 - オフピーク定期
 - 探索種別
 - 優先乗車券
 - 検索結果表示
 - 座席種別等変更可否
 - 座席種別等変更時再読込有無
 - オフピーク定期券利用時の計算モード

i コラム

バージョン 2.0.8で **JR 予約サービス**を追加しています。

バージョン 2.0.12-PATCH_005、2.0.13-PATCH_003、2.0.14-PATCH_001で **オフピーク定期**を追加しています。

バージョン 2.0.15で **探索種別**、**優先乗車券**、**検索結果表示**、**座席種別等変更可否**、**座席種別等変更時再読み込み有無**を追加しています。

バージョン 2.0.15-PATCH_001で **JR 予約サービス**に設定可能な値を追加しています。

バージョン 2.0.15-PATCH_001で **オフピーク定期券利用時の計算モード**を追加しています。

バージョン 2.0.16-PATCH_001で 駅すばあとWebサービスを駅すばあと APIに変更しています。

バージョン 2.0.16-PATCH_001で **JR 予約サービス**に設定可能な値を追加しています。

概要

駅すばあと APIの利用設定を行います。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/EkispertWebSettings.xml

EkispertWebSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 駅すばあと API URL -->
    <url></url>
    <!-- 駅すばあと API key -->
    <key></key>
    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>
    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>
    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>

    <!-- 詳細探索条件データ(省略可。省略された場合は特に考慮しません) -->
    <detail></detail>
    <!-- 飛行機の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** light   : 気軽に利用
    ** normal  : 普通に利用
    ** bit     : 極力利用しない
    ** never   : 利用しない
    -->
    <plane>normal</plane>
    <!-- 新幹線の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal  : 利用する
    ** never   : 利用しない
    -->
    <shinkansen>normal</shinkansen>
    <!-- 新幹線のぞみの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal  : 利用する
    ** never   : 利用しない
    -->
    <shinkansenNozomi>normal</shinkansenNozomi>
    <!-- 寝台列車の探索条件(省略可。省略時はneverか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** possible : 極力利用する
    ** normal   : 普通に利用
    ** never    : 利用しない
    -->
    <sleeperTrain>never</sleeperTrain>
    <!-- 有料特急の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal   : 利用する
```

```

** never    :利用しない
-->
<limitedExpress>normal</limitedExpress>
<!-- 高速バスの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** light    :気軽に利用
** normal   :普通に利用
** bit      :極力利用しない
** never    :利用しない
-->
<highwayBus>normal</highwayBus>
<!-- 連絡バスの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** light    :気軽に利用
** normal   :普通に利用
** bit      :極力利用しない
** never    :利用しない
-->
<connectionBus>normal</connectionBus>
<!-- 路線バスの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** normal   :利用する
** never    :利用しない
-->
<localBus>normal</localBus>
<!-- 深夜急行バスの探索条件(探索種別がplainの場合は無効です。省略可。省略時はneverか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** normal   :利用する
** never    :利用しない
-->
<midnightBus>normal</midnightBus>
<!-- 船の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** light    :気軽に利用
** normal   :普通に利用
** bit      :極力利用しない
** never    :利用しない
-->
<ship>normal</ship>
<!-- 有料普通列車の探索条件(探索種別がplainの場合は無効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** normal   :利用する
** never    :利用しない
-->
<liner>normal</liner>
<!-- 駅間徒歩の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** normal   :気にならない
** little   :少し気になる
** never    :利用しない
-->
<walk>normal</walk>
<!-- JR路線の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** light    :気軽に利用
** normal   :普通に利用
** bit      :極力利用しない
-->
<useJR>normal</useJR>
<!-- 乗換えの探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** light    :少し気になる
** normal   :気にならない
** never    :利用しない
-->
<transfer>normal</transfer>
<!-- 出発駅乗車待ち平均時間の利用の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はtrueか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true     :平均待ち時間を利用する
** false    :待ち時間なし
-->
<waitAverageTime>true</waitAverageTime>
<!-- 特急始発駅の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** possible :なるべく利用

```

```

    ** normal    : 普通に利用
-->
<expressStartingStation>normal</expressStartingStation>
<!-- 路線バスのみ探索有無(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true     : する
    ** false    : しない
-->
<localBusOnly>false</localBusOnly>
<!-- 乗換え時間の探索条件(探索種別がplainの場合は無効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal    : 駅すばあとの既定値
    ** moreMargin: 既定値より少し余裕をみる
    ** mostMargin: 既定値より余裕をみる
    ** lessMargin: 既定値より短い時間にする
-->
<transferTime>normal</transferTime>
<!-- 路線名あいまい指定(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true     : あいまいに行く
    ** false    : 厳格に行く
-->
<fuzzyLine>false</fuzzyLine>
<!-- 経由駅指定の継承(省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true     : する
    ** false    : しない
-->
<entryPathBehavior>false</entryPathBehavior>
<!-- 特急料金種別希望初期値(省略可。省略時はfreeか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** free     : 自由席
    ** reserved : 指定席
    ** green    : グリーン
-->
<surchargeKind>reserved</surchargeKind>
<!-- 定期種別初期値(省略可。省略時はbussinessか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** bussiness : 通勤
    ** highSchool: 学割(高校)
    ** university: 学割
-->
<teikiKind>bussiness</teikiKind>
<!-- JR季節料金の考慮有無(省略可。省略時はtrueか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true     : 繁忙期・閑散期の季節料金を考慮する
    ** false    : 無視する
-->
<jrSeasonalRate>true</jrSeasonalRate>
<!-- 学割乗車券の計算有無(省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true     : 計算する
    ** false    : 計算しない
-->
<studentDiscount></studentDiscount>
<!-- 航空運賃の指定(省略可。省略時はtokuwariか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal    : 常に普通運賃を採用
    ** tokuwari  : 特定便割引を極力採用
-->
<airFare>tokuwari</airFare>
<!-- 航空保険特別料金を含むか否か(省略可。省略時はtrueか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true     : 運賃を含む
    ** false    : 運賃に含めない
-->
<includeInsurance>true</includeInsurance>
<!-- 乗車券計算のシステムの指定(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal    : 普通乗車券として計算
    ** ic        : IC乗車券カードとして計算
-->
<ticketSystemType>normal</ticketSystemType>
<!-- 2区間定期(だぶる一とJR2区間定期)の利用有無(省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。

```



```

** true      :利用する
** false     :利用しない
-->
<nikukanteiki>>false</nikukanteiki>

<!-- ソート種別(省略可。省略された場合は、駅すばあと探索順となります)
* 以下のいずれかを指定できます。
** ekispert  :駅すばあと探索順
** price     :料金順
** time      :時間順
** teiki     :定期券の料金順
** transfer  :乗換回数順
** co2       :CO2排出量順
** teiki1    :1ヶ月定期券の料金順
** teiki3    :3ヶ月定期券の料金順
** teiki6    :6ヶ月定期券の料金順
-->
<sort>price</sort>
<!-- 片道運賃探索時のソート種別(省略可。省略された場合は、省略時はソート種別の設定を利用)
* 以下のいずれかを指定できます。
** ekispert  :駅すばあと探索順
** price     :料金順
** time      :時間順
** teiki     :定期券の料金順
** transfer  :乗換回数順
** co2       :CO2排出量順
** teiki1    :1ヶ月定期券の料金順
** teiki3    :3ヶ月定期券の料金順
** teiki6    :6ヶ月定期券の料金順
-->
<sort_oneway>price</sort_oneway>
<!-- 定期運賃探索時のソート種別(省略可。省略された場合は、省略時はソート種別の設定を利用)
* 以下のいずれかを指定できます。
** ekispert  :駅すばあと探索順
** price     :料金順
** time      :時間順
** teiki     :定期券の料金順
** transfer  :乗換回数順
** co2       :CO2排出量順
** teiki1    :1ヶ月定期券の料金順
** teiki3    :3ヶ月定期券の料金順
** teiki6    :6ヶ月定期券の料金順
-->
<sort_teiki>teiki6</sort_teiki>
<!-- 最大回答数。最大20 (省略可。省略時は5となります) -->
<answerCount>5</answerCount>
<!-- 最大探索数。最大20 (省略可。省略時は5となります) -->
<searchCount>5</searchCount>
<!-- JR 予約サービス(省略可。省略された場合は、省略時はnoneを利用)
* 以下のいずれかを指定できます。
** exYoyaku      : E X 予約
** exETokkyu     : E X 予約( e 特急券)
** exHayatoku    : E X 予約( E X 早特)
** exHayatoku21  : E X 予約( E X 早特 2 1)
** exHayatoku28  : E X 予約( E X 早特 2 8)
** exGreenHayatoku : E X 予約( E X グリーン早特)
** smartEx       : スマート E X
** smartExHayatoku : スマート E X( E X 早特)
** smartExHayatoku21 : スマート E X( E X 早特 2 1)
** smartExHayatoku28 : スマート E X( E X 早特 2 8)
** smartExGreenHayatoku : スマート E X( E X グリーン早特)
** none          : 計算しない
-->
<jrreservation>none</jrreservation>
<!-- オフピーク定期(省略可。省略された場合は、省略時はfalseか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true      :計算する
** false     :計算しない
-->
<offpeakteiki>>false</offpeakteiki>
<!-- 探索種別(省略可。省略された場合は、省略時はplainになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** plain     :平均待ち時間探索
** dia       :ダイヤ探索

```

```

** departure :出発時刻探索
** arrival   :到着時刻探索
** firstTrain:始発電車探索
** lastTrain :最終電車探索
-->
<searchType>plain</searchType>
<!-- 優先乗車券(省略可。省略された場合は、省略時はnoneか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** none      :指定なし
** normal    :普通乗車券
** ic        :ICカード乗車券
** cheap     :安い乗車券
-->
<preferredTicketOrder>none</preferredTicketOrder>
<!-- 検索結果表示(省略可。省略時はfalseになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true      :一覧表示
** false     :経路表示
-->
<courseList>false</courseList>
<!-- 座席種別等変更可否(省略可。省略時はfalseになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true      :変更可
** false     :変更不可
-->
<priceChange>false</priceChange>
<!-- 座席種別等変更時再読込有無(省略可。省略時はfalseになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true      :再読込する
** false     :再読込しない
-->
<priceChangeRef>false</priceChangeRef>
<!-- オフピーク定期券利用時の計算モード(オフピーク定期として控除)(省略可。省略時は指定された定期券の種類に関わらず、通常の定期券利用時の
運賃計算となります(オフピーク定期券として扱われません)。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** offpeakTime :オフピーク定期として控除する オフピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
** peakTime    :オフピーク定期として控除しない ピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
-->
<offpeakTeikiMode>offpeakTime</offpeakTeikiMode>
</defaultSettings>

<!-- 会社毎の設定 -->
<!-- <companySettings>
<companySetting>
  <companyCd>%会社コード%</companyCd>
  <settings>
    <url></url>
    <key></key>
    <proxy>false</proxy>
    <proxy_host></proxy_host>
    <proxy_port></proxy_port>
    <proxy_user></proxy_user>
    <proxy_password></proxy_password>
    <detail></detail>
    <plane>normal</plane>
    <shinkansen>normal</shinkansen>
    <shinkansenNozomi>normal</shinkansenNozomi>
    <sleeperTrain>never</sleeperTrain>
    <limitedExpress>normal</limitedExpress>
    <highwayBus>normal</highwayBus>
    <connectionBus>normal</connectionBus>
    <localBus>normal</localBus>
    <midnightBus>normal</midnightBus>
    <ship>normal</ship>
    <liner>normal</liner>
    <walk>normal</walk>
    <useJR>normal</useJR>
    <transfer>normal</transfer>
    <waitAverageTime>true</waitAverageTime>
    <expressStartingStation>normal</expressStartingStation>
    <localBusOnly>false</localBusOnly>
    <transferTime>normal</transferTime>
    <fuzzyLine>false</fuzzyLine>
    <entryPathBehavior>false</entryPathBehavior>
    <surchargeKind>reserved</surchargeKind>

```

```
<teikiKind>bussiness</teikiKind>
<jrSeasonalRate>true</jrSeasonalRate>
<studentDiscount></studentDiscount>
<airFare>tokuwari</airFare>
<includeInsurance>true</includeInsurance>
<ticketSystemType>normal</ticketSystemType>
<nikukanteiki>false</nikukanteiki>
<sort>price</sort>
<sort_oneway>price</sort_oneway>
<sort_teiki>teiki6</sort_teiki>
<answerCount>5</answerCount>
<searchCount>5</searchCount>
<jrreservation>none</jrreservation>
<offpeakteiki>false</offpeakteiki>
<searchType>plain</searchType>
<preferredTicketOrder>none</preferredTicketOrder>
<courseList>false</courseList>
<priceChange>false</priceChange>
<priceChangeRef>false</priceChangeRef>
<offpeakTeikiMode>offpeakTime</offpeakTeikiMode>
</settings>
</companySetting>
</companySettings> -->
</ekispertWebSettings>
```

リファレンス

駅すばあと API URL

タグ名 url

駅すばあと APIのURLを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 駅すばあと API URL -->
    <url></url>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <url></url>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	駅すばあと APIのURL
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

駅すばあと API key

タグ名 key

駅すばあと APIの認証キーを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 駅すばあと API key -->
    <key></key>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	駅すばあと APIの認証キー
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxy利用有無

タグ名 proxy

駅すばあと API利用時のProxy利用有無を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy></proxy>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy></proxy>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
Proxyを利用します。
- **false**
Proxyを利用しません。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

Proxyのアドレス

タグ名	proxy_host
-----	------------

駅すばあと API利用時のProxyアドレスを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_host></proxy_host>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのアドレス
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのポート番号

タグ名 proxy_port

駅すばあと API利用時のProxyポートを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_port></proxy_port>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのポート番号
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザ

タグ名 proxy_user

駅すばあと API利用時のProxyに対する認証ユーザを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_user></proxy_user>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザ
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザのパスワード

タグ名 proxy_password

駅すばあと API利用時のProxyに対する認証ユーザのパスワードを設定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_password></proxy_password>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザのパスワード
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

リファレンス(駅すばあとの検索条件)

以降は駅すばあと APIの検索条件設定です。
 詳細は「[駅すばあと API Documents](#)」を参照してください。

詳細探索条件データ

タグ名 detail

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 詳細探索条件データ(省略可。省略された場合は特に考慮しません) -->
    <detail></detail>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

      <detail></detail>

      ... 略 ...

    </settings>
  </companySetting>
</companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	詳細探索条件データ
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

飛行機の探索条件

タグ名 plane

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 飛行機の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** light   : 気軽に利用
    ** normal  : 普通に利用
    ** bit     : 極力利用しない
    ** never   : 利用しない
    -->
    <plane>normal</plane>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <plane>normal</plane>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ light 気軽に利用する ■ normal 普通に利用する ■ bit 極力利用しない ■ never 利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

新幹線の探索条件

タグ名 shinkansen

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 新幹線の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal   :利用する
    ** never    :利用しない
    -->
    <shinkansen>normal</shinkansen>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <shinkansen>normal</shinkansen>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **normal**
新幹線を利用する
- **never**
新幹線を利用しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

新幹線のでみの探索条件

タグ名	shinkansenNozomi
-----	------------------

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 新幹線のぞみの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal :利用する
    ** never  :利用しない
    -->
    <shinkansenNozomi>normal</shinkansenNozomi>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <shinkansenNozomi>normal</shinkansenNozomi>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ normal 新幹線のぞみを利用する ■ never 新幹線のぞみを利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

寝台列車の探索条件

タグ名 sleeperTrain

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 寝台列車の探索条件(省略可。省略時はneverか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** possible :極力利用する
    ** normal   :普通に利用
    ** never    :利用しない
    -->
    <sleeperTrain>never</sleeperTrain>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <sleeperTrain>never</sleeperTrain>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **possible**
寝台列車を極力利用する
- **normal**
寝台列車を普通に利用する
- **never**
寝台列車を利用しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	neverか、detailの値
------------	-----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

有料特急の探索条件

タグ名	limitedExpress
-----	----------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 有料特急の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
         * 以下のいずれかを指定できます。
         ** normal   :利用する
         ** never    :利用しない
    -->
    <limitedExpress>normal</limitedExpress>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <limitedExpress>normal</limitedExpress>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **normal**
有料特急を利用する
- **never**
有料特急を利用しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

高速バスの探索条件

タグ名	highwayBus
-----	------------

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 高速バスの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** light   : 気軽に利用
    ** normal  : 普通に利用
    ** bit     : 極力利用しない
    ** never   : 利用しない
    -->
    <highwayBus>normal</highwayBus>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <highwayBus>normal</highwayBus>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ light 高速バスを気軽に利用する ■ normal 高速バスを普通に利用する ■ bit 高速バスを極力利用しない ■ never 高速バスを利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

連絡バスの探索条件

タグ名 connectionBus

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 連絡バスの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** light   :気軽に利用
    ** normal  :普通に利用
    ** bit     :極力利用しない
    ** never   :利用しない
    -->
    <connectionBus>normal</connectionBus>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <connectionBus>normal</connectionBus>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ light 連絡バスを気軽に利用する ■ normal 連絡バスを普通に利用する ■ bit 連絡バスを極力利用しない ■ never 連絡バスを利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

路線バスの探索条件

タグ名 localBus

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 路線バスの探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal   :利用する
    ** never    :利用しない
    -->
    <localBus>normal</localBus>
    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <localBus>normal</localBus>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ normal 路線バスを利用する ■ never 路線バスを利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

深夜急行バスの探索条件

タグ名 midnightBus

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 深夜急行バスの探索条件(探索種別がplainの場合は無効です。省略可。省略時はneverか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal   :利用する
    ** never    :利用しない
    -->
    <midnightBus>normal</midnightBus>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <midnightBus>normal</midnightBus>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ normal 深夜急行バスを利用する ■ never 深夜急行バスを利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	neverか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

船の探索条件

タグ名 ship

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 船の探索条件(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** light   :気軽に利用
    ** normal  :普通に利用
    ** bit     :極力利用しない
    ** never   :利用しない
    -->
    <ship>normal</ship>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <ship>normal</ship>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **light**
船を気軽に利用する
- **normal**
船を普通に利用する
- **bit**
船を極力利用しない
- **never**
船を利用しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

有料普通列車の探索条件

タグ名	liner
-----	-------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 有料普通列車の探索条件(探索種別がplainの場合は無効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** normal   :利用する
      ** never    :利用しない
    -->
    <liner>normal</liner>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <liner>normal</liner>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **normal**
有料普通列車を利用する
- **never**
有料普通列車を利用しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

駅間徒歩の探索条件

タグ名	walk
-----	------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 駅間徒歩の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** normal   : 気にならない
      ** little   : 少し気になる
      ** never    : 利用しない
    -->
    <walk>normal</walk>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <walk>normal</walk>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **normal**
駅間徒歩は気にならない
- **little**
駅間徒歩は少し気になる
- **never**
駅間徒歩は考慮しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

JR路線の探索条件

タグ名	useJR
-----	-------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- JR路線の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** light   : 気軽に利用
      ** normal  : 普通に利用
      ** bit     : 極力利用しない
    -->
    <useJR>normal</useJR>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <useJR>normal</useJR>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **light**
JR路線を気軽に利用する
- **normal**
JR路線を普通に利用する
- **bit**
JR路線を極力利用しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

乗換えの探索条件

タグ名	transfer
-----	----------

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 乗換えの探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** light   :少し気になる
    ** normal  :気にならない
    ** never   :利用しない
    -->
    <transfer>normal</transfer>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <transfer>normal</transfer>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **light**
乗換え時間は少し気になる
- **normal**
乗換え時間は気にならない
- **never**
乗換え時間は考慮しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

出発駅乗車待ち平均時間の利用の探索条件

タグ名	waitAverageTime
-----	-----------------

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 出発駅乗車待ち平均時間の利用の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はtrueか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます.
    ** true    :平均待ち時間を利用する
    ** false   :待ち時間なし
    -->
    <waitAverageTime>true</waitAverageTime>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <waitAverageTime>true</waitAverageTime>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 平均待ち時間を利用する ■ false 平均待ち時間なし
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	trueか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

特急始発駅の探索条件

タグ名 expressStartingStation

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 特急始発駅の探索条件(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます.
    ** possible :なるべく利用
    ** normal   :普通に利用
    -->
    <expressStartingStation>normal</expressStartingStation>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <expressStartingStation>normal</expressStartingStation>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **possible**
特急始発駅をなるべく利用する
- **normal**
特急始発駅を普通に利用する

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
------------	------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

路線バスのみ探索有無

タグ名	localBusOnly
-----	--------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 路線バスのみ探索有無(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true    :する
    ** false   :しない
    -->
    <localBusOnly>false</localBusOnly>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <localBusOnly>false</localBusOnly>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ▪ true 路線バスのみ探索を行う ▪ false 路線バスのみ探索を行わない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	falseか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

乗換え時間の探索条件

タグ名 transferTime

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 乗換え時間の探索条件(探索種別がplainの場合は無効です。省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます.
    ** normal : 駅すばあとの既定値
    ** moreMargin: 既定値より少し余裕をみる
    ** mostMargin: 既定値より余裕をみる
    ** lessMargin: 既定値より短い時間にする
    -->
    <transferTime>normal</transferTime>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <transferTime>normal</transferTime>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ normal 駅すばあとの既定値 ■ moreMargin 既定値より少し余裕をみる ■ mostMargin 既定値より余裕をみる ■ lessMargin 既定値より短い時間にする
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

路線名あいまい指定

タグ名 fuzzyLine

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 路線名あいまい指定(探索種別がplainの場合にのみ有効です。省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true    :あいまいに行う
    ** false   :厳格に行う
    -->
    <fuzzyLine>false</fuzzyLine>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <fuzzyLine>false</fuzzyLine>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
あいまいに行う
- **false**
厳格に行う

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	falseか、detailの値
------------	-----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

経由駅指定の継承

タグ名	entryPathBehavior
-----	-------------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 経由駅指定の継承(省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true    : する
    ** false   : しない
    -->
    <entryPathBehavior>false</entryPathBehavior>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <entryPathBehavior>false</entryPathBehavior>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
経由駅指定の継承を行う
- **false**
経由駅指定の継承を行わない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	falseか、detailの値
------------	-----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

特急料金種別希望初期値

タグ名	surchargeKind
-----	---------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 特急料金種別希望初期値(省略可。省略時はfreeか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** free      :自由席
    ** reserved  :指定席
    ** green     :グリーン
    -->
    <surchargeKind>reserved</surchargeKind>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <surchargeKind>reserved</surchargeKind>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **free**
自由席
- **reserved**
指定席
- **green**
グリーン

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	freeか、detailの値
------------	----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

定期種別初期値

タグ名	teikiKind
-----	-----------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 定期種別初期値(省略可。省略時はbussinessか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** bussiness :通勤
    ** highSchool:学割(高校)
    ** university:学割
    -->
    <teikiKind>bussiness</teikiKind>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <teikiKind>bussiness</teikiKind>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **bussiness**
通勤
- **highSchool**
学割 (高校)
- **university**
学割

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	bussinessか、detailの値
------------	---------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

JR季節料金の考慮有無

タグ名	jrSeasonalRate
-----	----------------

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- JR 季節料金の考慮有無(省略可。省略時はtrueか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true    :繁忙期・閑散期の季節料金を考慮する
    ** false   :無視する
    -->
    <jrSeasonalRate>true</jrSeasonalRate>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <jrSeasonalRate>true</jrSeasonalRate>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
繁忙期・閑散期の季節料金を考慮する
- **false**
繁忙期・閑散期の季節料金を考慮しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	trueか、detailの値
------------	----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

学割乗車券の計算有無

タグ名	studentDiscount
-----	-----------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 学割乗車券の計算有無(省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true    :計算する
    ** false   :計算しない
    -->
    <studentDiscount></studentDiscount>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

      </studentDiscount></studentDiscount>

      ... 略 ...

    </settings>
  </companySetting>
</companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 学割乗車券の計算を行う ■ false 学割乗車券の計算を行わない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	falseか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

航空運賃の指定

タグ名 airFare

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 航空運賃の指定(省略可。省略時はtokuwariか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal :常に普通運賃を採用
    ** tokuwari :特定便割引を極力採用
    -->
    <airFare>tokuwari</airFare>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <airFare>tokuwari</airFare>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ normal 常に普通運賃を採用 ■ tokuwari 特定便割引を極力採用
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	tokuwariか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)



注意

当項目は無効な項目です。
設定しても、駅すばあと APIで経路を検索する際の検索条件として使用されません。

航空保険特別料金を含むか否か

タグ名 includeInsurance

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 航空保険特別料金を含むか否か(省略可。省略時はtrueか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true    : 運賃を含む
    ** false   : 運賃に含まない
    -->
    <includeInsurance>true</includeInsurance>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <includeInsurance>true</includeInsurance>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 航空保険特別料金を運賃に含む ■ false 航空保険特別料金を運賃に含まない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	trueか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)



注意

当項目は無効な項目です。

設定しても、駅すばあと APIで経路を検索する際の検索条件として使用されません。

乗車券計算のシステムの指定

タグ名 ticketSystemType

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 乗車券計算のシステムの指定(省略可。省略時はnormalか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** normal   :普通乗車券として計算
    ** ic       :IC乗車券カードとして計算
    -->
    <ticketSystemType>normal</ticketSystemType>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <ticketSystemType>normal</ticketSystemType>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ normal 普通乗車券として計算する ■ ic IC乗車券カードとして計算する
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	normalか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

2 区間定期

タグ名 nikukanteiki

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 2区間定期(だぶるとJR 2区間定期)の利用有無(省略可。省略時はfalseか、detailの値となります。)
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** true    :利用する
      ** false   :利用しない
    -->
    <nikukanteiki>false</nikukanteiki>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <nikukanteiki>false</nikukanteiki>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ▪ true 2区間定期を利用する ▪ false 2区間定期を利用しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	falseか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ソート種別

タグ名	sort
-----	------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- ソート種別(省略可。省略された場合は、駅すばあと探索順となります)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** ekispert :駅すばあと探索順
    ** price :料金順
    ** time :時間順
    ** teiki :定期券の料金順
    ** transfer :乗換回数順
    ** co2 :CO2排出量順
    ** teiki1 :1ヶ月定期券の料金順
    ** teiki3 :3ヶ月定期券の料金順
    ** teiki6 :6ヶ月定期券の料金順
    -->
    <sort>price</sort>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <sort>price</sort>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **ekispert**
駅すばあと探索順
- **price**
料金順
- **time**
時間順
- **teiki**
定期券の料金順
- **transfer**
乗換回数順
- **co2**
CO2排出量順
- **teiki1**
1ヶ月定期券の料金順
- **teiki3**
3ヶ月定期券の料金順
- **teiki6**
6ヶ月定期券の料金順

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	駅すばあと探索順(ekispert)
------------	--------------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

片道運賃探索時のソート種別

タグ名	sort_oneway
-----	-------------

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 片道運賃探索時のソート種別(省略可。省略された場合は、省略時はソート種別の設定を利用)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** ekispert :駅すばあと探索順
    ** price   :料金順
    ** time    :時間順
    ** teiki   :定期券の料金順
    ** transfer :乗換回数順
    ** co2     :CO2排出量順
    ** teiki1  :1ヶ月定期券の料金順
    ** teiki3  :3ヶ月定期券の料金順
    ** teiki6  :6ヶ月定期券の料金順
    -->
    <sort_oneway>price</sort_oneway>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <sort_oneway>price</sort_oneway>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **ekispert**
駅すばあと探索順
- **price**
料金順
- **time**
時間順
- **teiki**
定期券の料金順
- **transfer**
乗換回数順
- **co2**
CO2排出量順
- **teiki1**
1ヶ月定期券の料金順
- **teiki3**
3ヶ月定期券の料金順
- **teiki6**
6ヶ月定期券の料金順

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	ソート種別の設定を利用
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

定期運賃探索時のソート種別

タグ名 sort_teiki

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 定期運賃探索時のソート種別(省略可。省略された場合は、省略時はソート種別の設定を利用)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** ekispert : 駅すばあと探索順
    ** price : 料金順
    ** time : 時間順
    ** teiki : 定期券の料金順
    ** transfer : 乗換回数順
    ** co2 : CO2排出量順
    ** teiki1 : 1ヶ月定期券の料金順
    ** teiki3 : 3ヶ月定期券の料金順
    ** teiki6 : 6ヶ月定期券の料金順
    -->
    <sort_teiki>teiki6</sort_teiki>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <sort_teiki>teiki6</sort_teiki>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **ekispert**
駅すばあと探索順
- **price**
料金順
- **time**
時間順
- **teiki**
定期券の料金順
- **transfer**
乗換回数順
- **co2**
CO2排出量順
- **teiki1**
1ヶ月定期券の料金順
- **teiki3**
3ヶ月定期券の料金順
- **teiki6**
6ヶ月定期券の料金順

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	ソート種別の設定を利用
------------	-------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

最大回答数

タグ名	answerCount
-----	-------------

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 最大回答数。最大20 (省略可。省略時は5となります) -->
    <answerCount>5</answerCount>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <answerCount>5</answerCount>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	1～20のいずれかを指定できます。
------------	-------------------

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	5
------------	---

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

最大探索数

タグ名	searchCount
-----	-------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 最大探索数。最大20 (省略可。省略時は5となります) -->
    <searchCount>5</searchCount>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <searchCount>5</searchCount>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	1～20のいずれかを指定できます。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	5
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

JR予約サービス

タグ名 jrreservation

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- JR 予約サービス(省略可。省略された場合は、省略時はnoneを利用)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** exYoyaku          : E X 予約
    ** exETokkyu         : E X 予約( e 特急券)
    ** exHayatoku        : E X 予約( E X 早特)
    ** exHayatoku1       : E X 予約( E X 早特 1)
    ** exHayatoku21      : E X 予約( E X 早特 2 1)
    ** exHayatoku28      : E X 予約( E X 早特 2 8)
    ** exGreenHayatoku   : E X 予約( E X グリーン早特)
    ** smartEx           : スマート E X
    ** smartExHayatoku   : スマート E X( E X 早特)
    ** smartExHayatoku1  : スマート E X( E X 早特 1)
    ** smartExHayatoku21 : スマート E X( E X 早特 2 1)
    ** smartExHayatoku28 : スマート E X( E X 早特 2 8)
    ** smartExGreenHayatoku : スマート E X( E X グリーン早特)
    ** none              : 計算しない
    -->
    <jrreservation>none</jrreservation>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <jrreservation>none</jrreservation>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目 ×

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **exYoyaku**
E X 予約
- **exETokkyu**
E X 予約(e 特急券)
- **exHayatoku**
E X 予約(E X 早特)
- **exHayatoku1**
E X 予約(E X 早特 1)
- **exHayatoku21**
E X 予約(E X 早特 2 1)
- **exHayatoku28**
E X 予約(E X 早特 2 8)
- **exGreenHayatoku**
E X 予約(E X グリーン早特)
- **smartEx**
スマート E X
- **smartExHayatoku**
スマート E X (E X 早特)
- **smartExHayatoku1**
スマート E X (E X 早特 1)
- **smartExHayatoku21**
スマート E X (E X 早特 2 1)
- **smartExHayatoku28**
スマート E X (E X 早特 2 8)
- **smartExGreenHayatoku**
スマート E X (E X グリーン早特)
- **none**
計算しない

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	計算しない(none)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

「学割乗車券」と「JR予約サービス」の同時指定はできません。
いずれかを設定なし、もしくは計算しない(false)に設定してください。

オフピーク定期

タグ名 offpeakteiki

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- オフピーク定期(省略可。省略された場合は、省略時はfalseか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true      :計算する
    ** false     :計算しない
    -->
    <offpeakteiki>false</offpeakteiki>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <offpeakteiki>false</waitAverageTime>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true オフピーク定期券として計算する ■ false オフピーク定期券として計算しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	falseか、detailの値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

探索種別

タグ名 searchType

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 探索種別(省略可。省略された場合は、省略時はplainになります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** plain      :平均待ち時間探索
    ** dia        :ダイヤ探索
    ** departure  :出発時刻探索
    ** arrival    :到着時刻探索
    ** firstTrain :始発電車探索
    ** lastTrain  :最終電車探索
    -->
    <searchType>plain</searchType>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <searchType>plain</searchType>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **plain**
平均待ち時間探索
- **dia**
ダイヤ探索
- **departure**
出発時刻探索
- **arrival**
到着時刻探索
- **firstTrain**
始発電車探索
- **lastTrain**
最終電車探索

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	plain
------------	-------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

コラム

定期券検索を使用する場合、「平均待ち時間探索」を設定してください。

「平均待ち時間探索」以外を設定して定期券を検索すると、定期区間控除に必要な情報を取得できません。

タグ名 preferredTicketOrder

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 優先乗車券(省略可。省略された場合は、省略時はnoneか、detailの値となります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** none      : 指定なし
    ** normal    : 普通乗車券
    ** ic        : ICカード乗車券
    ** cheap     : 安い乗車券
    -->
    <preferredTicketOrder>none</preferredTicketOrder>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <preferredTicketOrder>none</preferredTicketOrder>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目 ×

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **none**
指定なし
- **normal**
普通乗車券
- **ic**
ICカード乗車券
- **cheap**
安い乗車券

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

省略時のデフォルト値 noneか、detailの値

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

検索結果表示

タグ名 courseList

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 検索結果表示(省略可。省略時はfalseになります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true   :一覧表示
    ** false  :経路表示
    -->
    <courseList>false</courseList>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <courseList>false</courseList>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 一覧表示 ■ false 経路表示
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	false
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

「検索結果表示」は将来拡張用の項目です。

座席種別等変更可否

タグ名 priceChange

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 座席種別等変更可否(省略可。省略時はfalseになります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true   :変更可
    ** false  :変更不可
    -->
    <priceChange>false</priceChange>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <priceChange>false</priceChange>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
変更可
- **false**
変更不可

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	false
------------	-------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--



コラム

「座席種別等変更可否」は将来拡張用の項目です。

座席種別等変更時再読込有無

タグ名	priceChangeRef
-----	----------------

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 座席種別等変更時再読込有無(省略可。省略時はfalseになります。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** true   :再読込する
    ** false  :再読込しない
    -->
    <priceChangeRef>false</priceChangeRef>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <priceChangeRef>false</priceChangeRef>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 再読込する ■ false 再読込しない
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	false
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

「座席種別等変更時再読込有無」は将来拡張用の項目です。

オフピーク定期券利用時の計算モード

タグ名 offpeakTeikiMode

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<ekispertWebSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/ekispertWebSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- オフピーク定期券利用時の計算モード(オフピーク定期として控除)(省略可。省略時は指定された定期券の種類に関わらず、通常の定期券利用時の
    運賃計算となります(オフピーク定期券として扱われません)。)
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** offpeakTime :オフピーク定期として控除する オフピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
    ** peakTime   :オフピーク定期として控除しない ピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
    -->
    <offpeakTeikiMode>offpeakTime</offpeakTeikiMode>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <offpeakTeikiMode>offpeakTime</offpeakTeikiMode>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</ekispertWebSettings>
```

必須項目 ×

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **offpeakTime**
オフピーク定期として控除する
オフピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
- **peakTime**
オフピーク定期として控除しない
ピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

省略時のデフォルト値 offpeakTime

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

transit manager設定（ICカードデータ連携）

項目

- 概要
- リファレンス
 - お客様番号1
 - お客様番号2
 - 秘密鍵
 - 「transit manager」サーバーURL
 - Proxy利用有無
 - Proxyのアドレス
 - Proxyのポート番号
 - Proxyに対する認証ユーザ
 - Proxyに対する認証ユーザのパスワード

概要

「transit manager」の利用設定を行います。
ICカードデータを「intra-mart Accel Kaiden!」に取り込む場合、設定します。

TransitManagerSettings.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- お客様番号1 -->
    <saled_id></saled_id>
    <!-- お客様番号2 -->
    <customer_id></customer_id>
    <!-- 秘密鍵 -->
    <secret_key></secret_key>
    <!-- transit managerサーバーURL-->
    <url></url>
    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>
    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>
    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>
  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <saled_id></saled_id>
        <customer_id></customer_id>
        <secret_key></secret_key>
        <url></url>
        <proxy>false</proxy>
        <proxy_host></proxy_host>
        <proxy_port></proxy_port>
        <proxy_user></proxy_user>
        <proxy_password></proxy_password>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

リファレンス

お客様番号1

タグ名 saled_id

「transit manager」のお客様番号1を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- お客様番号1 -->
    <saled_id></saled_id>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <saled_id></saled_id>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	「transit manager」のお客様番号1
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

お客様番号2

タグ名 customer_id

「transit manager」のお客様番号2を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- お客様番号2 -->
    <customer_id></customer_id>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <customer_id></customer_id>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	「transit manager」のお客様番号2
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

秘密鍵

タグ名 secret_key

「transit manager」の秘密鍵を設定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 秘密鍵 -->
    <secret_key></secret_key>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <secret_key></secret_key>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	「transit manager」の秘密鍵
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

「transit manager」サーバーURL

タグ名 url

「transit manager」のサーバーURLを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- transit manager サーバーURL-->
    <url></url>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <url></url>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	transit managerのサーバーURL
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxy利用有無

タグ名 proxy

「transit manager」利用時のProxy利用有無を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy>false</proxy>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ▪ true Proxyを利用します。 ▪ false Proxyを利用しません。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのアドレス

タグ名 proxy_host

「transit manager」利用時のProxyアドレスを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_host></proxy_host>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのホスト
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのポート番号

タグ名 proxy_port

「transit manager」利用時のProxyポートを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_port></proxy_port>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのポート番号
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザ

タグ名 proxy_user

「transit manager」利用時のProxyに対する認証ユーザを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_user></proxy_user>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザ
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザのパスワード

タグ名 proxy_password

「transit manager」利用時のProxyに対する認証ユーザのパスワードを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<transitManagerSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/transitManagerSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_password></proxy_password>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</transitManagerSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザのパスワード
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）

項目

- 概要
- リファレンス
 - Proxy利用有無
 - Proxyのアドレス
 - Proxyのポート番号
 - Proxyに対する認証ユーザ
 - Proxyに対する認証ユーザのパスワード

概要

「J'sNAVI Jr.」の利用設定を行います。
出張手配サービス、法人カードデータと連携する場合、設定します。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/JnaviSettings.xml

JnaviSettings.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<jnaviSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/jnaviSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>
    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>
    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>
    <!-- Proxyに対する認証パスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>
  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <proxy>false</proxy>
        <proxy_host></proxy_host>
        <proxy_port></proxy_port>
        <proxy_user></proxy_user>
        <proxy_password></proxy_password>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</jnaviSettings>

```

リファレンス

Proxy利用有無

タグ名 proxy

「J'sNAVI Jr.」利用時のProxy利用有無を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<jnaviSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/jnaviSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy>false</proxy>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</jnaviSettings>

```


必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true Proxyを利用します。 ■ false Proxyを利用しません。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのアドレス

タグ名 proxy_host

「J'sNAVI Jr.」利用時のProxyアドレスを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<jnaviSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/jnaviSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_host></proxy_host>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</jnaviSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのホスト
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのポート番号

タグ名 proxy_port

「J'sNAVI Jr.」利用時のProxyポートを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<jnaviSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/jnaviSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_port></proxy_port>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</jnaviSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのポート番号
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザ

タグ名 proxy_user

「J'sNAVI Jr.」利用時のProxyに対する認証ユーザを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<jnaviSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/jnaviSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_user></proxy_user>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</jnaviSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザ
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザのパスワード

タグ名 proxy_password

「J'sNAVI Jr.」利用時のProxyに対する認証ユーザのパスワードを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<jnaviSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/jnaviSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <proxy_password></proxy_password>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</jnaviSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザのパスワード
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ログ設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 出力設定

コラム

バージョン 2.0.1でログパターン文字列にテナントIDを追加しています。
バージョン 2.0.1以前の環境からアップデートを行う場合は、[バージョン 2.0.0からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

コラム

バージョン 2.0.2でログの出力先(初期値)を修正しています。
バージョン 2.0.2以前の環境からアップデートを行う場合は、[バージョン 2.0.1からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

概要

intra-mart Accel Kaiden! のログ設定を行います。
設定方法の詳細は『[intra-mart Accel Platform ログ仕様書](#)』のシステムログを参照してください。

モジュール intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール

設定場所 WEB-INF/conf/log/kaiden_logger.xml

kaiden_logger.xml

```
<included>
<appender name="KAIDEN_LOG_FILE" class="ch.qos.logback.core.rolling.RollingFileAppender">
  <file>${im.log}/product/kaiden/kaiden.log</file>
  <append>true</append>
  <rollingPolicy class="ch.qos.logback.core.rolling.FixedWindowRollingPolicy">
    <fileNamePattern>${im.log}/product/kaiden/kaiden%i.log</fileNamePattern>
    <minIndex>1</minIndex>
    <maxIndex>5</maxIndex>
  </rollingPolicy>
  <triggeringPolicy class="ch.qos.logback.core.rolling.SizeBasedTriggeringPolicy">
    <maxFileSize>10MB</maxFileSize>
  </triggeringPolicy>
  <encoder class="ch.qos.logback.core.encoder.LayoutWrappingEncoder">
    <layout class="jp.co.intra_mart.common.platform.log.layout.OutputStackTracePatternLayout">
      <pattern>[%d{yyyy-MM-dd HH:mm:ss.SSS}] %-5level %logger{255} %X{tenant.id} %X{log.id} - %msg%n</pattern>
      <enableOutputStackTrace>true</enableOutputStackTrace>
      <stackTraceDir>${im.log}/product/kaiden/exception/</stackTraceDir>
      <stackTraceFilename>'exception_'yyyy-MM-dd_HH-mm-ss_'%logId.kaiden.log'</stackTraceFilename>
    </layout>
    <immediateFlush>true</immediateFlush>
  </encoder>
</appender>
<logger name="KAIDEN_LOG" additivity="false">
  <level value="info" />
  <appender-ref ref="KAIDEN_LOG_FILE" />
</logger>
</included>
```

リファレンス

出力設定

ログレベル(初期値) info

出力先(初期値) コンソール
ファイル - \${im.log}/product/kaiden/kaiden.log



コラム

\${im.log}の値はサーバコンテキスト設定のログディレクトリの設定値です。

intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール

モジュール設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 詳細画面の印刷ボタン表示有無
 - 詳細画面の台紙印刷ボタン表示有無
 - 申請画面等の入力履歴の差分表示ボタン表示有無
 - 申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログ表示有無



コラム

バージョン 2.0.17で 申請画面等の入力履歴の差分表示ボタン表示有無、申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログ表示有無を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール の基本設定を行います。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/ExtensionImwSettings.xml

ExtensionImwSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<extensionImwSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/extensionImwSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 詳細画面の印刷ボタンを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 詳細画面の印刷ボタンを非表示とする
    ** 1 : 詳細画面の印刷ボタンを表示する
    -->
    <printDispFlag>1</printDispFlag>
    <!-- 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 詳細画面の台紙印刷ボタンを非表示とする
    ** 1 : 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示し、ボタン押下時に台紙印刷画面を表示する
    ** 2 : 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示し、ボタン押下時にPDF出力画面を表示する
    -->
    <pasteBordDispFlag>1</pasteBordDispFlag>
    <!-- 申請画面等で入力した履歴の差分を表示ボタンを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 入力履歴差分表示ボタンを非表示とする
    ** 1 : 入力履歴差分表示ボタンを表示し、ボタン押下時に入力履歴の差分表示を行う
    -->
    <differenceDispFlag>0</differenceDispFlag>
    <!-- 申請画面等の戻るボタン押下時に確認ダイアログを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 戻る確認ダイアログを非表示とする
    ** 1 : 戻る確認ダイアログを表示する
    * 戻るボタン押下時に確認ダイアログが表示される画面は申請、一時保存、起票、再申請、承認（入力あり）です。
    -->
    <returnConfirmDispFlag>0</returnConfirmDispFlag>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <printDispFlag>1</printDispFlag>
            <pasteBordDispFlag>1</pasteBordDispFlag>
            <differenceDispFlag>0</differenceDispFlag>
            <returnConfirmDispFlag>0</returnConfirmDispFlag>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</extensionImwSettings>
```

リファレンス

詳細画面の印刷ボタン表示有無

タグ名 printDispFlag

詳細画面の印刷ボタンを表示するか否かを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<extensionImwSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/extensionImwSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 詳細画面の印刷ボタンを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 詳細画面の印刷ボタンを非表示とする
    ** 1 : 詳細画面の印刷ボタンを表示する
    -->
    <printDispFlag>1</printDispFlag>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <printDispFlag>1</printDispFlag>

            ... 略 ...

          </companySetting>
        </companySettings>
      </tenantSetting>
    </tenantSettings>
  -->

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 0 詳細画面の印刷ボタンを非表示にします。 ■ 1 詳細画面の印刷ボタンを表示します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

詳細画面の台紙印刷ボタン表示有無

タグ名 pasteBordDispFlag

詳細画面の台紙印刷ボタンを表示するか否かを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示するかどうかを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 詳細画面の台紙印刷ボタンを非表示とする
    ** 1 : 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示し、ボタン押下時に台紙印刷画面を表示する
    ** 2 : 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示し、ボタン押下時にPDF出力画面を表示する
    -->
    <pasteBordDispFlag>1</pasteBordDispFlag>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <pasteBordDispFlag>1</pasteBordDispFlag>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 0 詳細画面の台紙印刷ボタンを非表示にします。 ■ 1 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示し、ボタン押下時に台紙印刷画面を表示します。 ■ 2 詳細画面の台紙印刷ボタンを表示し、ボタン押下時にPDF出力画面を表示します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

申請画面等の入力履歴の差分表示ボタン表示有無

タグ名 pasteBordDispFlag

申請画面等で入力した履歴の差分表示ボタンを表示するかどうかを設定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 申請画面等で入力した履歴の差分を表示ボタンを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 :入力履歴差分表示ボタンを非表示とする
    ** 1 :入力履歴差分表示ボタンを表示し、 ボタン押下時に入力履歴の差分表示を行う
    -->
    <differenceDispFlag>0</differenceDispFlag>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <differenceDispFlag>0</differenceDispFlag>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 0 再申請や承認画面などの差分表示ボタンを非表示にします。 ■ 1 再申請や承認画面などの差分表示ボタンを表示します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログ表示有無

タグ名 pasteBordDispFlag

申請画面等の戻るボタン押下時に確認ダイアログを表示するか否かを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 申請画面等の戻るボタン押下時に確認ダイアログを表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    ** 0 : 戻る確認ダイアログを非表示とする
    ** 1 : 戻る確認ダイアログを表示する
    * 戻るボタン押下時に確認ダイアログが表示される画面は申請、一時保存、起票、再申請、承認（入力あり）です。
    -->
    <returnConfirmDispFlag>0</returnConfirmDispFlag>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <returnConfirmDispFlag>0</returnConfirmDispFlag>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 0 申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログを非表示にします。 1 申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログを表示します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

モジュール設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 日当を算定時に利用する組織セットコード
 - FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かの設定
 - 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（組織）の設定
 - 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（プロジェクト）の設定
 - 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定
 - 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定



コラム

バージョン 2.0.3で [FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かの設定](#) を追加しています。

バージョン 2.0.8で [仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（組織）の設定](#) を追加しています。

バージョン 2.0.11で [初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)、[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#) を追加しています。

バージョン 2.0.16で [仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（プロジェクト）の設定](#) を追加しています。

概要

intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール の基本設定を行います。

モジュール

intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

設定場所

WEB-INF/conf/kaiden2/ProductWorkflowSettings.xml

ProductWorkflowSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 日当を算定時に利用する組織セットコード（役職コードの導出元）
    * 省略できません
    * 設定した組織セットのみ利用します。
    * %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。
    -->
    <decisionAllowanceDepartmentSetCd>%company%</decisionAllowanceDepartmentSetCd>
    <!-- FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(主所属のみ)、false(副所属を含む)を設定します。
    -->
    <fbdataLumpExportDeptMainFlag>false</fbdataLumpExportDeptMainFlag>
    <!-- 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーに組織情報（組織セットコード・組織コード）を含めるか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(組織セットコード・組織コードを含む)、false(組織セットコード・組織コードを含めない)を設定します。
    -->
    <companyCdSetToAmountSummaryKey>true</companyCdSetToAmountSummaryKey>
    <!-- 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーにプロジェクト情報（プロジェクトコード）を含めるか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(プロジェクトコードを含む)、false(プロジェクトコードを含めない)を設定します。
    -->
    <projectCdSetToAmountSummaryKey>true</projectCdSetToAmountSummaryKey>
    <!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。
    * 省略できません
    * 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。
    * 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。
    -->
    <gadgetInitImportTargetVersion>2.0.17</gadgetInitImportTargetVersion>
    <!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。
    -->
    <contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <decisionAllowanceDepartmentSetCd>%company%</decisionAllowanceDepartmentSetCd>
            <fbdataLumpExportDeptMainFlag>false</fbdataLumpExportDeptMainFlag>
            <companyCdSetToAmountSummaryKey>true</companyCdSetToAmountSummaryKey>
            <projectCdSetToAmountSummaryKey>true</projectCdSetToAmountSummaryKey>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productWorkflowSettings>
```

リファレンス

日当を算定時に利用する組織セットコード

タグ名	decisionAllowanceDepartmentSetCd
-----	----------------------------------

日当を算定時に利用する組織セットコードを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 日当を算定時に利用する組織セットコード（役職コードの導出元）
    * 省略できません
    * 設定した組織セットのみ利用します。
    * %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。
    -->
    <decisionAllowanceDepartmentSetCd>%company%</decisionAllowanceDepartmentSetCd>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <decisionAllowanceDepartmentSetCd>%company%</decisionAllowanceDepartmentSetCd>
          </settings>

          ... 略 ...

        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 組織セットコード（IM-共通マスタ - 組織マスタ） 設定した組織セットに所属する組織のみを利用します。 ■ %company% 会社コードと同じ組織セットコードの組織セットを利用します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かの設定

タグ名	fbdataLumpExportDeptMainFlag
-----	------------------------------

FB一括出力画面の組織所属判断範囲が、主所属のみか否かを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(主所属のみ)、false(副所属を含む)を設定します。
    -->
    <fbdataLumpExportDeptMainFlag>false</fbdataLumpExportDeptMainFlag>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <fbdataLumpExportDeptMainFlag>false</fbdataLumpExportDeptMainFlag>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 主所属のみを所属判断範囲とする。 ■ false 副所属を含む範囲を所属判断範囲とする。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（組織）の設定

タグ名	companyCdSetToAmountSummaryKey
-----	--------------------------------

仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーに組織情報（組織セットコード・組織コード）を含めるか否かを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーに組織情報（組織セットコード・組織コード）を含めるか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(組織セットコード・組織コードを含む)、false(組織セットコード・組織コードを含めない)を設定します。
    -->
    <companyCdSetToAmountSummaryKey>true</companyCdSetToAmountSummaryKey>
  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <companyCdSetToAmountSummaryKey>true</companyCdSetToAmountSummaryKey>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ▪ true 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーに組織セットコード・組織コードを含む。 ▪ false 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーに組織セットコード・組織コードを含めない。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（プロジェクト）の設定

タグ名 projectCdSetToAmountSummaryKey

仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーにプロジェクト情報（プロジェクトコード）を含めるか否かを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーにプロジェクト情報（プロジェクトコード）を含めるか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(プロジェクトコードを含む)、false(プロジェクトコードを含めない)を設定します。
    -->
    <projectCdSetToAmountSummaryKey>true</projectCdSetToAmountSummaryKey>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <projectCdSetToAmountSummaryKey>true</projectCdSetToAmountSummaryKey>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ▪ true 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーにプロジェクトコードを含む。 ▪ false 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーにプロジェクトコードを含めない。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定

タグ名 gadgetInitImportTargetVersion

初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。



注意

初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定はデフォルト設定のみ読み込まれます。
会社毎の設定を行っても設定は反映されません。



注意

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットを利用する場合は当設定に空文字を設定してください。
当設定に対象バージョンを設定した場合、標準のGadgetBuilder版ガジェットへ置き換えられるため、利用中のガジェットの設定が変更されます。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。
      * 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。
      * 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。
    -->
    <gadgetInitImportTargetVersion>2.0.17</gadgetInitImportTargetVersion>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...
</productWorkflowSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	GadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting

初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定

タグ名 contentsInitImportReplaceMode

初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。



注意

初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定はデフォルト設定のみ読み込まれます。
会社毎の設定を行っても設定は反映されません。



注意

アーカイブモジュール(SAStruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットを利用する場合は当設定にfalseを設定してください。
当設定にtrueを設定した場合、標準のGadgetBuilder版コンテンツへ置き換えられるため、利用中のコンテンツの設定が変更されます。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productWorkflowSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productWorkflowSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。
      * 省略できません
      * true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。
    -->
    <contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>

  </defaultSettings>

  ... 略 ...
</productWorkflowSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する。
- **false**
GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール

モジュール設定

項目

- [概要](#)
- [リファレンス](#)
 - [所属組織を判定するために利用する組織セットコード](#)
 - [部下の所属判断範囲](#)
 - [勤務時刻/時間数の入力単位](#)
 - [作業実績時刻/時間数の入力単位](#)
 - [勤務表（共通）集計値表示パターン](#)
 - [時刻表現方法](#)
 - [時刻表現方法（作業実績用）](#)
 - [平均値算出時のスケール](#)
 - [振替出勤・振替休日の有効期限](#)
 - [休日出勤・代休の有効期限](#)
 - [組織ツリー表示階層数](#)
 - [作業実績/作業実績の年度開始月日](#)
 - [作業実績/作業実績の基準月](#)
 - [作業実績/対象年月の表示範囲\(過去\)](#)
 - [作業実績/対象年月の表示範囲\(未来\)](#)
 - [作業実績差分登録有無](#)
 - [勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターン](#)
 - [休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード](#)
 - [休暇種別設定](#)
 - [休暇種別区分](#)
 - [休暇種別項目ID](#)
 - [休暇付与除外設定](#)
 - [有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否か](#)
 - [複数承認者設定を使用するか否か](#)
 - [振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否か](#)
 - [代休時に休日出勤を必須入力にするか否か](#)
 - [未締めの組織のみ表示するか否か](#)
 - [36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲\(過去\)](#)
 - [36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲\(未来\)](#)
 - [36協定特別条項の適用年の表示範囲\(過去\)](#)
 - [36協定特別条項の適用年の表示範囲\(未来\)](#)
 - [在宅勤務時間必須チェック有無](#)

i コラム

バージョン 2.0.2で 所属組織を判定するために利用する組織セットコード、組織ツリー表示階層数を追加しています。

バージョン 2.0.4で 作業実績/作業実績の年度開始月日、作業実績/作業実績の基準月、作業実績/対象年月の表示範囲(過去)、作業実績/対象年月の表示範囲(未来)、作業実績差分登録有無を追加しています。

バージョン 2.0.5で 勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターンを追加しています。

バージョン 2.0.6で 作業実績時刻/時間数の入力単位、時刻表現方法（作業実績用）を追加しています。

バージョン 2.0.9で 休日出勤・代休の有効期限を追加しています。

バージョン 2.0.9-PATCH_001で 休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード、休暇種別設定を追加しています。

バージョン 2.0.10で 平均値算出時のスケールに設定可能な値を追加しています。

バージョン 2.0.11-PATCH_002で 有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否かを追加しています。

バージョン 2.0.15-PATCH_001で 複数承認者設定を使用するか否かを追加しています。

バージョン 2.0.16で 振替出勤・振替休日の有効期限に設定可能な値を追加しています。

バージョン 2.0.16で 休日出勤・代休の有効期限に設定可能な値を追加しています。

バージョン 2.0.16で 振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否かを追加しています。

バージョン 2.0.16で 代休時に休日出勤を必須入力にするか否かを追加しています。

バージョン 2.0.16-PATCH_001で 未締めの組織のみ表示するか否か、36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)、36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)、36協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)、36協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)を追加しています。

バージョン 2.0.17で 振替出勤・振替休日の有効期限、休日出勤・代休の有効期限に設定可能な値を追加しています。

バージョン 2.0.17で 在宅勤務時間必須チェック有無を追加しています。

概要

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールの基本設定を行います。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/ProductLabormgrSettings.xml

ProductLabormgrSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 所属組織を判定するために利用する組織セットコード
    * 省略できません
    * 設定した組織セットのみ利用します。
    * %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。
    -->
    <decisionAttachDepartmentSetCd>%company%</decisionAttachDepartmentSetCd>
    <!-- 部下の所属判断範囲が主所属のみか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(主所属のみ)、false(副所属を含む)を設定します。
    -->
    <deptMainOnlySubordinateFlag>true</deptMainOnlySubordinateFlag>
    <!-- 勤務時刻/時間数の入力単位
    * 省略できません
    * 1,5,10,15,30をサポート
    -->
    <workTimeInputUnit>1</workTimeInputUnit>
    <!-- 作業実績時刻/時間数の入力単位
    * 省略できません
    * 1,5,10,15,30をサポート
    -->
    <workTimeInputUnitForWorkPerformance>1</workTimeInputUnitForWorkPerformance>
    <!-- 勤務表（共通）集計値表示パターン（カスタマイズ用）
    * 省略できません
    * 1勤務表に複数勤務体系がある場合の共通集計値表示パターンを設定します。<br />
    * ※ガジェットクラス、ガジェットバリエーションを「_」で連結して設定します
    -->
    <workReportCommonSummaryPattern>workReportSummary_v01</workReportCommonSummaryPattern>
    <!-- 時刻表現方法 ※timestampの書式には影響しません
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
    ** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
    -->
    <timeFormat>H99</timeFormat>
    <!-- 時刻表現方法（作業実績用） ※timestampの書式には影響しません
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
    ** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
    -->
    <timeFormatForWorkPerformance>H99</timeFormatForWorkPerformance>
```

```

** "H99" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」と表現する
** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する

-->
<timeFormatForWorkPerformance>H99</timeFormatForWorkPerformance>
<!-- 集計処理で平均値を算出する際のスケールを指定します。
* 省略できません
* 0～3の整数を設定してください。
* 切り捨てを実施するスケールを設定します。
* 設定値1の場合：平均値のスケールを1で切り捨てます。

-->
<summaryUseScale>1</summaryUseScale>
<!-- 振替出勤・振替休日の有効期限
* (値が省略された場合には有効期限は無限になります。)
*
* expiredType には、有効期限の算出方法を指定します
** "01" : 発生当日を起算とした前日数または後日数
** "02" : 発生当日を起算とした前月数または後月数
** "10" : 発生した月（暦日）の前月数または後月数
** "11" : 発生した月（年度開始日を月初）の前月数または後月数
** "20" : 発生した締め期間の前締め期間数または後締め期間数
*
* 例（前後で同じ有効期限を設定する場合）
** expiredType ="01" 設定値:40
*** 取得当日の前後40日までが有効期間になります。
** expiredType ="02" 設定値:1
*** 取得当日の前後1ヶ月までが有効期間になります。
** expiredType ="10" 設定値:1
*** 取得当日の前月～翌月までが有効期間になります。（暦日で計算されます）
** expiredType ="11" 設定値:1
*** 取得当日の前月～翌月までが有効期間になります。（年度開始日を月初として計算されます）
*** ※ 年度開始が1日の場合は、expiredType ="10"と同様です。
** expiredType ="20" 設定値:1
*** 取得当日の前締め期間～翌締め期間までが有効期間になります。
*** ※ 締め期間が「月」の場合には、expiredType ="11"と同様です。
*
* 例（前後で異なる有効期限を設定する場合）
** expiredType ="01,02" 設定値:40,1
*** 取得当日の前40日までが有効期間になります。
*** 取得当日の後1ヶ月までが有効期間になります。
** expiredType ="20,11" 設定値:1
*** 取得当日の前締め期間が有効期間になります。
*** 取得当日の翌月までが有効期間になります。（年度開始日を月初として計算されます）
*** ※ 締め期間が「月」の場合には、expiredType ="11"と同様です。
** expiredType ="01" 設定値:40,60
*** 取得当日の前40日までが有効期間になります。
*** 取得当日の後60日までが有効期間になります。

-->
<substitutionWorkAndHolidayExpired expiredType="20" >1</substitutionWorkAndHolidayExpired>
<!-- 休日出勤・代休の有効期限
* 設定内容は振替出勤・振替休日の有効期限と同等です。
* 振替出勤・振替休日の有効期限を参照ください。

-->
<holidayWorkAndCompensationExpired expiredType="20">1</holidayWorkAndCompensationExpired>
<!-- 組織ツリー表示階層数
* 省略できません
*
* 組織ツリーを表示している一覧画面で、組織階層数の初期値として使用します。

-->
<showDepartmentDepth>1</showDepartmentDepth>
<!-- 作業実績/作業実績の年度開始月日
* 省略できません
* MM/DD形式で設定してください。
* 作業実績の年度開始月日を指定します。
* 締め単位は月締めのみ対応しています。
* 28日以降の日付を設定した場合、月の最終日が開始日となります。
* 設定値04/01の場合かつ基準月に0を指定した場合：4月1日～4月30日が4月度。
* 設定値03/28の場合かつ基準月に1を指定した場合：3月31日～4月29日が4月度。

-->
<cutOffDate>04/01</cutOffDate>
<!-- 作業実績/作業実績の基準月
* 省略できません
* 0か1を設定してください。
* 0を指定した場合、年度開始月日に設定した月を基準月とします。
* 1を指定した場合、年度開始月日に設定した翌月を基準月とします。
* 設定値0かつ年度開始月日に04/01を設定した場合：4月1日～4月30日が4月度。
* 設定値1かつ年度開始月日に03/28を設定した場合：3月31日～4月29日が4月度。

```

* 設定値1かつ年度開始月日に03/21を設定した場合：3月21日～4月20日が4月度。

-->

<defaultMonth>0</defaultMonth>

<!-- 作業実績/対象年月の表示範囲(過去)

- * 省略できません
- * 0以上の整数を設定してください。
- * 作業実績一覧にて表示できる期間(過去)を設定します。
- * 設定値1の場合：システム日付を含む月の過去1ヶ月を表示する。

-->

<targetYMBefore>3</targetYMBefore>

<!-- 作業実績/対象年月の表示範囲(未来)

- * 省略できません
- * 0以上の整数を設定してください。
- * 作業実績一覧にて表示できる期間(未来)を設定します。
- * 設定値1の場合：システム日付を含む月の未来1ヶ月を表示する。

-->

<targetYMAfter>3</targetYMAfter>

<!-- 作業実績差分登録有無

- * 省略できません
- * 0か1を設定してください。
- * 0を指定した場合、差分登録しない設定とします。
- * 1を指定した場合、差分登録する設定とします。

-->

<dailyWorkDataDiffOutput>1</dailyWorkDataDiffOutput>

<!-- 勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターン（カスタマイズ用）

- * 省略できません
- * 1勤務表に複数勤務体系がある場合の共通ヘッダー集計値表示パターンを設定します。

- * ※ガジェットクラス、ガジェットバリエーションを「_」で連結して設定します

-->

<workReportCommonHeaderSummaryPattern>workReportHeaderSummary_v01</workReportCommonHeaderSummaryPattern>

<!-- 休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード

- * 休暇管理マスタで調整後時間数を編集可能にしたい項目コードを指定します。
- * カンマ区切りで複数指定が可能です。

-->

<leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>1</leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>

<!-- 休暇種別設定

- * 省略できません
- * 子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
- * leaveType : 休暇種別ごとにタグを設定します。
- * division : 休暇種別区分を指定します。下記のいずれかのみ指定可能です。
- ** CHILD_NURSE : 子の看護等休暇
- ** CARE : 介護休暇
- * itemId : 子の看護等休暇、介護休暇に紐づく項目ID（項目種別コード + "-" + 項目コード）を指定します。
- * exclusion : 休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。true:除外する、false:除外しない
- * true:除外を指定した場合、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。

-->

<leaveTypeSettings>

<leaveTypeSetting>

<division>CHILD_NURSE</division>

<itemId></itemId>

<exclusion>>false</exclusion>

</leaveTypeSetting>

<leaveTypeSetting>

<division>CARE</division>

<itemId></itemId>

<exclusion>>false</exclusion>

</leaveTypeSetting>

</leaveTypeSettings>

<!-- 有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否かを設定します。

- * 省略できません
- * true(切り崩す)、false(切り崩さない)を設定します。

-->

<cutDownRemainingHalfDay>true</cutDownRemainingHalfDay>

<!-- 複数承認者設定を使用するか否かを設定します。

- * 省略できません
- * true(複数承認者設定を使用)、false(承認者設定を使用)を設定します。

-->

<useMultiAppRoute>>false</useMultiAppRoute>

<!-- 振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否かを設定します。

- * 省略できません
- *
- * true(振替休日を必須入力)、false(振替休日を任意入力)を設定します。

-->

```
<substituteWorkInputHolidayRequired>false</substituteWorkInputHolidayRequired>
<!-- 代休時に休日出勤を必須入力にするか否かを設定します。
  * 省略できません
  *
  * true(休日出勤を必須入力)、false(休日出勤を任意入力)を設定します。
-->
<compensationInputHolidayWorkRequired>false</compensationInputHolidayWorkRequired>
<!-- 未締めの組織のみ表示するか否かを設定します。
  * 省略できません
  *
  * true(未締め組織のみ表示)、false(すべての組織を表示)を設定します。
-->
<unclosedDepartmentFlag>false</unclosedDepartmentFlag>
<!-- 36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)
  * 省略できません
  * 0以上の整数を設定してください。
  * 36協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(過去)を設定します。
  * 設定値1の場合：基準日を含む締め期間の過去1ヶ月を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>
<!-- 36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)
  * 省略できません
  * 0以上の整数を設定してください。
  * 36協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(未来)を設定します。
  * 設定値1の場合：基準日を含む締め期間の未来1ヶ月を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>
<!-- 36協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)
  * 省略できません
  * 0以上の整数を設定してください。
  * 36協定特別条項の適用年にて選択できる期間(過去)を設定します。
  * 設定値1の場合：基準日を含む年の過去1年を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementStartYear>3</specialProvisions36AgreementStartYear>
<!-- 36協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)
  * 省略できません
  * 0以上の整数を設定してください。
  * 36協定特別条項の適用年にて選択できる期間(未来)を設定します。
  * 設定値1の場合：基準日を含む年の未来1年を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementEndYear>3</specialProvisions36AgreementEndYear>
<!-- 在宅勤務時間必須チェック有無
  * 省略できません
  *
  * 勤務表で在宅チェックONかつ在宅以外の内訳がチェックONの場合に在宅勤務時間の必須チェック有無を設定します。
  * true(必須チェック有り)、false(必須チェック無し)を設定します。
  * ※false(必須チェック無し)の場合の注意点
  ** 在宅勤務時間が未入力の場合、集計値「日次宅勤務時間」に「日次実労働時間(実態)」が設定されます。
  ** そのため、本設定をfalse(必須チェック無し)にした場合は在宅勤務時間や在宅勤務率を正確に把握できなくなります。
-->
<requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>true</requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>
</defaultSetting>

<!-- 会社毎の設定 -->
<!--
<tenantSettings>
<tenantSetting>
  <tenantId>%テナントID%</tenantId>
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <decisionAttachDepartmentSetCd>%company%</decisionAttachDepartmentSetCd>
        <deptMainOnlySubordinateFlag>true</deptMainOnlySubordinateFlag>
        <workTimeInputUnit>1</workTimeInputUnit>
        <workTimeInputUnitForWorkPerformance>1</workTimeInputUnitForWorkPerformance>
        <workReportCommonSummaryPattern>workReportSummary_v01</workReportCommonSummaryPattern>
        <timeFormat>H99</timeFormat>
        <timeFormatForWorkPerformance>H99</timeFormatForWorkPerformance>
        <summaryUseScale>1</summaryUseScale>
        <substitutionWorkAndHolidayExpired expiredType="20">1</substitutionWorkAndHolidayExpired>
        <holidayWorkAndCompensationExpired expiredType="20">1</holidayWorkAndCompensationExpired>
        <showDepartmentDepth>1</showDepartmentDepth>
        <cutOffDate>04/01</cutOffDate>
        <defaultMonth>0</defaultMonth>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
</tenantSetting>
-->
-->
```



```

<targetYMBefore>1</targetYMBefore>
<targetYMAfter>1</targetYMAfter>
<dailyWorkDataDiffOutput>1</dailyWorkDataDiffOutput>

<workReportCommonHeaderSummaryPattern>workReportHeaderSummary_v01</workReportCommonHeaderSummaryPattern>
<leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>1</leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>
<leaveTypeSettings>
  <leaveTypeSetting>
    <division>CHILD_NURSE</division>
    <itemId></itemId>
    <exclusion>>false</exclusion>
  </leaveTypeSetting>
  <leaveTypeSetting>
    <division>CARE</division>
    <itemId></itemId>
    <exclusion>>false</exclusion>
  </leaveTypeSetting>
</leaveTypeSettings>
<cutDownRemainingHalfDay>>true</cutDownRemainingHalfDay>
<useMultiAppRoute>>false</useMultiAppRoute>
<substituteWorkInputHolidayRequired>>false</substituteWorkInputHolidayRequired>
<compensationInputHolidayWorkRequired>>false</compensationInputHolidayWorkRequired>
<unclosedDepartmentFlag>>false</unclosedDepartmentFlag>
<specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>
<specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>
<specialProvisions36AgreementStartYear>3</specialProvisions36AgreementStartYear>
<specialProvisions36AgreementEndYear>3</specialProvisions36AgreementEndYear>
<requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>>true</requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>
</settings>
</companySetting>
</companySettings>
</tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</productLabormgrSettings>

```

リファレンス

所属組織を判定するために利用する組織セットコード

タグ名	decisionAttachDepartmentSetCd
-----	-------------------------------

所属組織を判定するために利用する組織セットコードを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 所属組織を判定するために利用する組織セットコード
    * 省略できません
    * 設定した組織セットのみ利用します。
    * %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。
    -->
    <decisionAttachDepartmentSetCd>%company%</decisionAttachDepartmentSetCd>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <decisionAttachDepartmentSetCd>%company%</decisionAttachDepartmentSetCd>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 組織セットコード（IM-共通マスタ - 組織マスタ） 設定した組織セットに所属する組織のみを利用します。 ■ %company% 会社コードと同じ組織セットコードの組織セットを利用します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

部下の所属判断範囲

タグ名	deptMainOnlySubordinateFlag
-----	-----------------------------

部下の所属判断範囲が主所属のみか否かを設定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 部下の所属判断範囲が主所属のみか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(主所属のみ)、false(副所属を含む)を設定します。
    -->
    <deptMainOnlySubordinateFlag>true</deptMainOnlySubordinateFlag>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <deptMainOnlySubordinateFlag>true</deptMainOnlySubordinateFlag>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 主所属のみを所属判断範囲とする。 ■ false 副所属を含む範囲を所属判断範囲とする。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

勤務時刻/時間数の入力単位

タグ名 workTimeInputUnit

勤務時刻/時間数の入力単位を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 勤務時刻/時間数の入力単位
      * 省略できません
      * 1,5,10,15,30をサポート
    -->
    <workTimeInputUnit>1</workTimeInputUnit>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <workTimeInputUnit>1</workTimeInputUnit>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **1**
「1」単位で勤務時刻/時間数の入力を可能とする。
- **5**
「5」単位で勤務時刻/時間数の入力を可能とする。
- **10**
「10」単位で勤務時刻/時間数の入力を可能とする。
- **15**
「15」単位で勤務時刻/時間数の入力を可能とする。
- **30**
「30」単位で勤務時刻/時間数の入力を可能とする。

単位・型	数値
------	----

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

作業実績時刻/時間数の入力単位

タグ名	workTimeInputUnitForWorkPerformance
-----	-------------------------------------

作業実績の時刻/時間数の入力単位を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 作業実績時刻/時間数の入力単位
    * 省略できません
    * 1,5,10,15,30をサポート
    -->
    <workTimeInputUnitForWorkPerformance>1</workTimeInputUnitForWorkPerformance>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <workTimeInputUnitForWorkPerformance>1</workTimeInputUnitForWorkPerformance>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **1**
「1」単位で作業実績時刻/時間数の入力を可能とする。
- **5**
「5」単位で作業実績時刻/時間数の入力を可能とする。
- **10**
「10」単位で作業実績時刻/時間数の入力を可能とする。
- **15**
「15」単位で作業実績時刻/時間数の入力を可能とする。
- **30**
「30」単位で作業実績時刻/時間数の入力を可能とする。

単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

勤務表（共通）集計値表示パターン

タグ名	workReportCommonSummaryPattern
-----	--------------------------------

一つの勤務表に複数勤務体系がある場合の共通集計値表示パターンを設定します。
本項目はカスタマイズなどで使用する項目です。
カスタマイズを行わない場合は変更不要です。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 勤務表（共通）集計値表示パターン（カスタマイズ用）
    * 省略できません
    * 1 勤務表に複数勤務体系がある場合の共通集計値表示パターンを設定します。<br />
    * ※ ガジェットクラス、ガジェットバリエーションを「_」で連結して設定します
    -->
    <workReportCommonSummaryPattern>workReportSummary_v01</workReportCommonSummaryPattern>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <workReportCommonSummaryPattern>workReportSummary_v01</workReportCommonSummaryPattern>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **workReportSummary_v01**
標準の勤務表（共通）集計値表示パターンを利用する。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

コラム

本設定は、カスタマイズに使用する項目です。
カスタマイズを行っていない場合は、設定変更の必要はありません。

時刻表現方法

タグ名	timeFormat
-----	------------

時刻表現方法を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 時刻表現方法 ※timestampの書式には影響しません
    * 以下のいずれかを指定できます.
    ** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
    ** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
    -->
    <timeFormat>H99</timeFormat>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <timeFormat>H99</timeFormat>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **H99**
24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
- **H24**
24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する

例) 時刻表現方法の違い

時刻	H99	H24
24:00	24:00	24:00
36:00 (翌日12:00)	36:00	+12:00
60:00 (翌々日12:00)	60:00	++12:00

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

時刻表現方法（作業実績用）

タグ名	timeFormatForWorkPerformance
-----	------------------------------

作業実績用の時刻表現方法を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 時刻表現方法（作業実績用）※timestampの書式には影響しません
    * 以下のいずれかを指定できます。
    ** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
    ** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
    -->
    <timeFormatForWorkPerformance>H99</timeFormatForWorkPerformance>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <timeFormatForWorkPerformance>H99</timeFormatForWorkPerformance>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○												
複数設定	×												
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ H99 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する ■ H24 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する 例) 時刻表現方法の違い <table><tr><th>時刻</th><th>H99</th><th>H24</th></tr><tr><td>24:00</td><td>24:00</td><td>24:00</td></tr><tr><td>36:00 (翌日12:00)</td><td>36:00</td><td>+12:00</td></tr><tr><td>60:00 (翌々日12:00)</td><td>60:00</td><td>++12:00</td></tr></table>	時刻	H99	H24	24:00	24:00	24:00	36:00 (翌日12:00)	36:00	+12:00	60:00 (翌々日12:00)	60:00	++12:00
時刻	H99	H24											
24:00	24:00	24:00											
36:00 (翌日12:00)	36:00	+12:00											
60:00 (翌々日12:00)	60:00	++12:00											
単位・型	文字列 (xxxxxxx)												
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)												

平均値算出時のスケール

タグ名 summaryUseScale

法定労働時間の総枠算出時等、集計処理の平均値を算出する際のスケールを設定します。
平均値のスケールを、指定した値で切り捨てます。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 集計処理で平均値を算出する際のスケールを指定します。
    * 省略できません
    * 0～3の整数を設定してください。
    * 切り捨てを実施するスケールを設定します。
    * 設定値1の場合：平均値のスケールを1で切り捨てます。
    -->
    <summaryUseScale>1</summaryUseScale>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <summaryUseScale>1</summaryUseScale>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	0から3の整数を指定します。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

振替出勤・振替休日の有効期限

タグ名	substitutionWorkAndHolidayExpired
-----	-----------------------------------

振替出勤・振替休日の有効期限を設定します。
また、「expiredType」には、有効期限の算出方法を指定します

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 振替出勤・振替休日の有効期限
    * (値が省略された場合には有効期限は無限になります。)
    *
    * expiredType には、有効期限の算出方法を指定します
    ** "01" : 発生当日を起算とした前日数または後日数
    ** "02" : 発生当日を起算とした前月数または後月数
    ** "10" : 発生した月（暦日）の前月数または後月数
    ** "11" : 発生した月（年度開始日を月初）の前月数または後月数
    ** "20" : 発生した締め期間の前締め期間数または後締め期間数
    *
    * 例（前後で同じ有効期限を設定する場合）
    ** expiredType ="01" 設定値:40
    *** 取得当日の前後40日までが有効期間になります。
    ** expiredType ="02" 設定値:1
    *** 取得当日の前後1ヶ月までが有効期間になります。
    ** expiredType ="10" 設定値:1
    *** 取得当日の前月～翌月までが有効期間になります。（暦日で計算されます）
    ** expiredType ="11" 設定値:1
    *** 取得当日の前月～翌月までが有効期間になります。（年度開始日を月初として計算されます）
    *** ※ 年度開始が1日の場合は、expiredType ="10"と同様です。
    ** expiredType ="20" 設定値:1
    *** 取得当日の前締め期間～翌締め期間までが有効期間になります。
    *** ※ 締め期間が「月」の場合には、expiredType ="11"と同様です。
    *
    * 例（前後で異なる有効期限を設定する場合）
    ** expiredType ="01,02" 設定値:40,1
    *** 取得当日の前40日までが有効期間になります。
    *** 取得当日の後1ヶ月までが有効期間になります。
    ** expiredType ="20,11" 設定値:1
    *** 取得当日の前締め期間が有効期間になります。
    *** 取得当日の翌月までが有効期間になります。（年度開始日を月初として計算されます）
    *** ※ 締め期間が「月」の場合には、expiredType ="11"と同様です。
    ** expiredType ="01" 設定値:40,60
    *** 取得当日の前40日までが有効期間になります。
    *** 取得当日の後60日までが有効期間になります。

    -->
  <substitutionWorkAndHolidayExpired expiredType="20" >1</substitutionWorkAndHolidayExpired>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
    <companySettings>
      <companySetting>
        <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <substitutionWorkAndHolidayExpired expiredType="20">1</substitutionWorkAndHolidayExpired>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</productLabormgrSettings>

```


複数設定	○
設定値・設定する内容	「expiredType」には以下のいずれかを指定できます。またカンマ区切りで前後で異なる有効期限が設定可能です。 ■ 01 発生当日を起算とした前後日数として算出します。 ■ 02 発生当日を起算とした前後月数として算出します。 ■ 10 発生した月（暦日）の前後月数として算出します。 ■ 11 発生した月（年度開始日を月初）の前後月数として算出します。 ■ 20 発生した締め期間の前後締め期間数として算出します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

設定例（前後で同じ有効期限を設定する場合）

- expiredType = "01" 設定値:40
取得当日の前後40日までが有効期間です。
- expiredType = "02" 設定値:1
取得当日の前後1ヶ月までが有効期間です。
- expiredType = "10" 設定値:1
取得当日の前月～翌月までが有効期間です。（暦日で計算されます）
- expiredType = "11" 設定値:1
取得当日の前月～翌月までが有効期間です。（年度開始日を月初として計算されます）
※年度開始が1日の場合は、expiredType = "10"と同様です。
- expiredType = "20" 設定値:1
取得当日の前締め期間～翌締め期間までが有効期間です。

コラム

設定例（前後で異なる有効期限を設定する場合）

- expiredType = "01,02" 設定値:40,1
取得当日の前40日までが有効期間です。
取得当日の後1ヶ月までが有効期間です。
- expiredType = "20,11" 設定値:1
取得当日の前締め期間が有効期間です。
取得当日の翌月までが有効期間です。（年度開始日を月初として計算されます）
※締め期間が「月」の場合には、expiredType = "11"と同様です。
- expiredType = "01" 設定値:40,60
取得当日の前40日までが有効期間です。
取得当日の後60日までが有効期間です。

コラム

振替出勤・振替休日の有効期限を無限に設定する場合、

「<substitutionWorkAndHolidayExpired>1</substitutionWorkAndHolidayExpired>」のように「expiredType」を省略してください。

休日出勤・代休の有効期限

タグ名 holidayWorkAndCompensationExpired

休日出勤・代休の有効期限を設定します。

また、「expiredType」には、有効期限の算出方法を指定します

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 休日出勤・代休の有効期限
    * 設定内容は振替出勤・振替休日の有効期限と同等です。
    * 振替出勤・振替休日の有効期限を参照ください。
    -->
    <holidayWorkAndCompensationExpired expiredType="20">1</holidayWorkAndCompensationExpired>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <holidayWorkAndCompensationExpired expiredType="20">1</holidayWorkAndCompensationExpired>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
複数設定	○
設定値・設定する内容	振替出勤・振替休日の有効期限を参照してください。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

設定例（前後で同じ有効期限を設定する場合）

- 振替出勤・振替休日の有効期限を参照してください

コラム

設定例（前後で異なる有効期限を設定する場合）

- 振替出勤・振替休日の有効期限を参照してください

コラム

休日出勤・代休の有効期限の設定値を無限に設定する場合、
「<holidayWorkAndCompensationExpired>1</holidayWorkAndCompensationExpired>」のように「expiredType」を省略してください。

組織ツリー表示階層数

タグ名 showDepartmentDepth

組織ツリーを表示している一覧画面で、組織階層数の初期値を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 組織ツリー表示階層数
         * 省略できません
         *
         * 組織ツリーを表示している一覧画面で、組織階層数の初期値として使用します。
    -->
    <showDepartmentDepth>1</showDepartmentDepth>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <showDepartmentDepth>1</showDepartmentDepth>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	組織階層数の初期値
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

作業実績/作業実績の年度開始月日

タグ名 cutOffDate

作業実績の年度開始日を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 作業実績/作業実績の年度開始月日
    * 省略できません
    * MM/DD形式で設定してください。
    * 作業実績の年度開始月日を指定します。
    * 締め単位は月締めのみ対応しています。
    * 28日以降の日付を設定した場合、月の最終日が開始日となります。
    * 設定値04/01の場合かつ基準月に0を指定した場合：4月1日～4月30日が4月度。
    * 設定値03/28の場合かつ基準月に1を指定した場合：3月31日～4月29日が4月度。
    -->
    <cutOffDate>04/01</cutOffDate>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <cutOffDate>04/01</cutOffDate>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	作業実績の年度開始月日を「MM/DD」形式で指定できます。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

作業実績/作業実績の基準月

タグ名 defaultMonth

作業実績の基準月を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 作業実績/作業実績の基準月
    * 省略できません
    * 0か1を設定してください。
    * 0を指定した場合、年度開始月日に設定した月を基準月とします。
    * 1を指定した場合、年度開始月日に設定した翌月を基準月とします。
    * 設定値0かつ年度開始月日に04/01を設定した場合：4月1日～4月30日が4月度。
    * 設定値1かつ年度開始月日に03/21を設定した場合：3月21日～4月20日が4月度。
    -->
    <defaultMonth>0</defaultMonth>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <defaultMonth>1</defaultMonth>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **0**
年度開始月日に設定した月を基準月とします。
- **1**
年度開始月日に設定した翌月を基準月とします。

単位・型	数値
------	----

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

コラム

設定例

- cutOffDate = "04/01" defaultMonth = "0"
4月1日～4月30日が4月度の作業実績の締め期間です。
- cutOffDate = "03/21" defaultMonth = "1"
3月21日～4月20日が4月度の作業実績の締め期間です。
- cutOffDate = "03/28" defaultMonth = "1"
3月31日～4月29日が4月度の作業実績の締め期間です。
- cutOffDate = "03/30" defaultMonth = "1"
3月31日～4月29日が4月度の作業実績の締め期間です。

作業実績/対象年月の表示範囲(過去)

タグ名 targetYMBefore

作業実績一覧の対象年月の表示範囲（過去）を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 作業実績/対象年月の表示範囲(過去)
    * 省略できません
    * 0以上の整数を設定してください。
    * 作業実績一覧にて表示できる期間(過去)を設定します。
    * 設定値1の場合：システム日付を含む月の過去1ヶ月を表示する。
    -->
    <targetYMBefore>3</targetYMBefore>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <targetYMBefore>3</targetYMBefore>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 対象年月の表示範囲(過去)を0以上の数値で指定できます。

単位・型 数値

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

作業実績/対象年月の表示範囲(未来)

タグ名 targetYMAfter

作業実績一覧の対象年月の表示範囲（未来）を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 作業実績/対象年月の表示範囲(未来)
    * 省略できません
    * 0以上の整数を設定してください。
    * 作業実績一覧にて表示できる期間(未来)を設定します。
    * 設定値1の場合：システム日付を含む月の未来1ヶ月を表示する。
    -->
    <targetYMAfter>3</targetYMAfter>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <targetYMAfter>3</targetYMAfter>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	対象年月の表示範囲(未来)を0以上の数値で指定できます。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

作業実績差分登録有無

タグ名 dailyWorkDataDiffOutput

作業実績差分登録有無を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 作業実績差分登録有無
    * 省略できません
    * 0か1を設定してください。
    * 0を指定した場合、差分登録しない設定とします。
    * 1を指定した場合、差分登録する設定とします。
    -->
    <dailyWorkDataDiffOutput>1</dailyWorkDataDiffOutput>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <dailyWorkDataDiffOutput>1</dailyWorkDataDiffOutput>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 0 作業実績を登録する際、最新の作業実績データのみを登録します。 1 作業実績を登録する際、履歴を含む作業実績データを登録します。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)



コラム

詳細は『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』の「作業実績エクスポート」を参照してください。

勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターン

タグ名	workReportCommonHeaderSummaryPattern
-----	--------------------------------------

一つの勤務表に複数勤務体系がある場合のヘッダーの共通集計値表示パターンを設定します。
 スマートフォン用の画面の勤務表で表示されます。
 本項目はカスタマイズなどで使用する項目です。
 カスタマイズを行わない場合は変更不要です。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターン（カスタマイズ用）
    * 省略できません
    * 1 勤務表に複数勤務体系がある場合の共通ヘッダー集計値表示パターンを設定します。<br />
    * ※ ガジェットクラス、ガジェットバリエーションを「_」で連結して設定します
    -->

  <workReportCommonHeaderSummaryPattern>workReportHeaderSummary_v01</workReportCommonHeaderSummaryPattern>

</defaultSetting>

<!-- 会社毎の設定 -->
<!--
<tenantSettings>
  <tenantSetting>
    <tenantId>%テナントID%</tenantId>
    <companySettings>
      <companySetting>
        <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>

          ... 略 ...

        </settings>
      </companySetting>
    </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ workReportHeaderSummary_v01 標準の勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターンを利用する。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

本設定は、カスタマイズに使用する項目です。
カスタマイズを行っていない場合は、設定変更の必要はありません。

休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード

タグ名	leaveManagementAdjustHoursAuthEdit
-----	------------------------------------

休暇管理マスタで調整後時間数を編集可能にしたい項目コードを指定します。
設定値は、項目マスタ（項目区分コード「310001」）に設定した項目コードである必要があります。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード
    * 休暇管理マスタで調整後時間数を編集可能にしたい項目コードを指定します。
    * カンマ区切りで複数指定が可能です。
    -->
    <leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>1</leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>1</leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	○
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 項目コード（Kaiden! - 項目マスタ） 設定した項目コードの休暇種別のみ、休暇管理マスタで調整後時間数を編集できません。 カンマ区切りで複数指定が可能です。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

コラム

1は有給休暇の時間調整を編集できるように設定しています。
時間年休の取得を認めている場合は必ず設定してください。

休暇種別設定

タグ名 leaveTypeSettings

子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
休暇種別毎に「leaveTypeSetting」タグに設定を行います。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 休暇種別設定
    * 省略できません
    * 子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
    * leaveType    : 休暇種別ごとにタグを設定します。
    * division     : 休暇種別区分を指定します。下記のいずれかのみ指定可能です。
    ** CHILD_NURSE : 子の看護等休暇
    ** CARE        : 介護休暇
    * itemId       : 子の看護等休暇、介護休暇に紐づく項目ID（項目区分コード + "-" + 項目コード）を指定します。
    * exclusion    : 休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。true:除外する、false:除外しない
    *              true:除外を指定した場合、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。
    -->
    <leaveTypeSettings>
      <leaveTypeSetting>
        <division>CHILD_NURSE</division>
        <itemId></itemId>
        <exclusion>>false</exclusion>
      </leaveTypeSetting>
      <leaveTypeSetting>
        <division>CARE</division>
        <itemId></itemId>
        <exclusion>>false</exclusion>
      </leaveTypeSetting>
    </leaveTypeSettings>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>

  ... 略 ...

  <leaveTypeSettings>
    <leaveTypeSetting>
      <division>CHILD_NURSE</division>
      <itemId></itemId>
      <exclusion>>false</exclusion>
    </leaveTypeSetting>
    <leaveTypeSetting>
      <division>CARE</division>
      <itemId></itemId>
      <exclusion>>false</exclusion>
    </leaveTypeSetting>
  </leaveTypeSettings>
</settings>
</companySetting>
</companySettings>
</tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下の項目を設定します。

- **休暇種別区分**
休暇種別区分を指定します。
- **休暇種別項目ID**
休暇種別毎の項目IDを指定します。
- **休暇付与除外設定**
休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。

単位・型	leaveTypeSetting (leaveTypeSettings)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

休暇種別区分

タグ名 division

休暇種別区分を指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 休暇種別設定
    * 省略できません
    * 子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
    * leaveType    : 休暇種別ごとにタグを設定します。
    * division     : 休暇種別区分を指定します。下記のいずれかのみ指定可能です。
    ** CHILD_NURSE : 子の看護等休暇
    ** CARE        : 介護休暇
    * itemId       : 子の看護等休暇、介護休暇に紐づく項目ID（項目区分コード + "-" + 項目コード）を指定します。
    * exclusion    : 休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。true:除外する、false:除外しない
    *              true:除外を指定した場合、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。
    -->
    <leaveTypeSettings>
      <leaveTypeSetting>
        <division>CHILD_NURSE</division>

        ... 略 ...

      </leaveTypeSetting>
      <leaveTypeSetting>
        <division>CARE</division>

        ... 略 ...

      </leaveTypeSetting>
    </leaveTypeSettings>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <leaveTypeSettings>
              <leaveTypeSetting>
                <division>CHILD_NURSE</division>

                ... 略 ...

              </leaveTypeSetting>
              <leaveTypeSetting>
                <division>CARE</division>

                ... 略 ...

              </leaveTypeSetting>
            </leaveTypeSettings>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **CHILD_NURSE**
設定した項目IDを子の看護等休暇として使用します。
- **CARE**
設定した項目IDを介護休暇として使用します。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	leaveTypeSetting

休暇種別項目ID

タグ名 itemId

休暇種別毎の項目IDを指定します。

設定値は、項目マスタに設定した項目ID（項目区分コード(310001) + “-” + 項目コード）である必要があります。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 休暇種別設定
    * 省略できません
    * 子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
    * leaveType    : 休暇種別ごとにタグを設定します。
    * division     : 休暇種別区分を指定します。下記のいずれかのみ指定可能です。
    ** CHILD_NURSE : 子の看護等休暇
    ** CARE        : 介護休暇
    * itemId       : 子の看護等休暇、介護休暇に紐づく項目ID（項目区分コード + "-" + 項目コード）を指定します。
    * exclusion    : 休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。true:除外する、false:除外しない
    *              true:除外を指定した場合、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。
    -->
    <leaveTypeSettings>
      <leaveTypeSetting>

        ... 略 ...

        <itemId></itemId>

        ... 略 ...

      </leaveTypeSetting>
    </leaveTypeSetting>

    ... 略 ...

    <itemId></itemId>

    ... 略 ...

  </leaveTypeSetting>
</defaultSetting>

<!-- 会社毎の設定 -->
<!--
<tenantSettings>
  <tenantSetting>
    <tenantId>%テナントID%</tenantId>
    <companySettings>
      <companySetting>
        <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      </companySetting>
    </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>

... 略 ...

</leaveTypeSettings>
</productLabormgrSettings>
```

```
... 略 ...

<itemId></itemId>

... 略 ...

</leaveTypeSetting>
<leaveTypeSetting>

... 略 ...

<itemId></itemId>

... 略 ...

</leaveTypeSetting>
</leaveTypeSettings>
</settings>
</companySetting>
</companySettings>
</tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ 項目ID（項目マスタ） 設定した項目ID（項目区分コード(310001) + “-” + 項目コード）を休暇種別区分で設定した休暇として使用します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	leaveTypeSetting

休暇付与除外設定

タグ名 exclusion

休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。
除外に設定した休暇は、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 休暇種別設定
    * 省略できません
    * 子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
    * leaveType    : 休暇種別ごとにタグを設定します。
    * division     : 休暇種別区分を指定します。下記のいずれかのみ指定可能です。
    ** CHILD_NURSE : 子の看護等休暇
    ** CARE        : 介護休暇
    * itemId       : 子の看護等休暇、介護休暇に紐づく項目ID（項目区分コード + "-" + 項目コード）を指定します。
    * exclusion    : 休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。true:除外する、false:除外しない
    *              true:除外を指定した場合、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。
    -->
  <leaveTypeSettings>
    <leaveTypeSetting>

      ... 略 ...

      <exclusion>false</exclusion>
    </leaveTypeSetting>
  </leaveTypeSetting>

  ... 略 ...

  <exclusion>false</exclusion>
</leaveTypeSetting>
</leaveTypeSettings>
</defaultSetting>

<!-- 会社毎の設定 -->
<!--
<tenantSettings>
  <tenantSetting>
    <tenantId>%テナントID%</tenantId>
    <companySettings>
      <companySetting>
        <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>

          ... 略 ...

          <leaveTypeSettings>
            <leaveTypeSetting>

              ... 略 ...

              <exclusion>false</exclusion>
            </leaveTypeSetting>
          </leaveTypeSetting>

          ... 略 ...

          <exclusion>false</exclusion>
        </leaveTypeSetting>
      </leaveTypeSettings>
    </settings>
  </companySetting>
</companySettings>
</tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容

以下のいずれかを指定できます。

- **true**
休暇の付与対象から除外する。休暇管理マスタで対象の休暇日数の付与は行えません。
- **false**
休暇の付与対象から除外しない。休暇管理マスタで対象の休暇日数の付与が行えます。

単位・型

文字列 (xxxxxxx)

親タグ

leaveTypeSetting

有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否か

タグ名 cutDownRemainingHalfDay

有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否かを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否かを設定します。
         * 省略できません
         * true(切り崩す)、false(切り崩さない)を設定します。
    -->
    <cutDownRemainingHalfDay>true</cutDownRemainingHalfDay>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <cutDownRemainingHalfDay>true</cutDownRemainingHalfDay>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目

○

複数設定

×

設定値・設定する内容

以下のいずれかを指定できます。

- **true**
有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩す。
- **false**
有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩さない。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

複数承認者設定を使用するか否か

タグ名 useMultiAppRoute

複数承認者設定を使用するか否かを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 複数承認者設定を使用するか否かを設定します。
    * 省略できません
    * true(複数承認者設定を使用)、false(承認者設定を使用)を設定します。
    -->
    <useMultiAppRoute>false</useMultiAppRoute>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <useMultiAppRoute>false</useMultiAppRoute>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
複数承認者設定を使用する。
- **false**
承認者設定を使用する。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否か

タグ名 substituteWorkInputHolidayRequired

振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否かを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否かを設定します。
    * 省略できません
    *
    * true(振替休日を必須入力)、false(振替休日を任意入力)を設定します。
    -->
    <substituteWorkInputHolidayRequired>false</substituteWorkInputHolidayRequired>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <substituteWorkInputHolidayRequired>false</substituteWorkInputHolidayRequired>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
振替休日の入力が必須。
- **false**
振替休日の入力が任意。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

代休時に休日出勤を必須入力にするか否か

タグ名	compensationInputHolidayWorkRequired
-----	--------------------------------------

代休時に休日出勤を必須入力にするか否かを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 代休時に休日出勤を必須入力にするか否かを設定します。
    * 省略できません
    *
    * true(休日出勤を必須入力)、false(休日出勤を任意入力)を設定します。
    -->
    <compensationInputHolidayWorkRequired>false</compensationInputHolidayWorkRequired>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <compensationInputHolidayWorkRequired>false</compensationInputHolidayWorkRequired>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 休日出勤の入力が必須。 ■ false 休日出勤の入力が任意。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

未締め組織のみ表示するか否か

タグ名 unclosedDepartmentFlag

未締め組織のみ表示するか否かを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 未締め組織のみ表示するか否かを設定します。
    * 省略できません
    *
    * true(未締め組織のみ表示)、false(すべての組織を表示)を設定します。
    -->
    <unclosedDepartmentFlag>false</unclosedDepartmentFlag>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <unclosedDepartmentFlag>false</unclosedDepartmentFlag>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 未締め組織のみ表示。 ■ false すべての組織を表示。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)

タグ名	specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth
-----	--

36協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(過去)を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)
    * 省略できません
    * 0以上の整数を設定してください。
    * 36 協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(過去)を設定します。
    * 設定値1の場合：基準日を含む締め期間の過去1ヶ月を表示する。
    -->
    <specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)を0以上の数値で指定できます。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)

タグ名	specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth
-----	--

36協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(未来)を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)
    * 省略できません
    * 0以上の整数を設定してください。
    * 36 協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(未来)を設定します。
    * 設定値1の場合：基準日を含む締め期間の未来1ヶ月を表示する。
    -->
    <specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	36協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)を0以上の数値で指定できます。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

36協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)

タグ名	specialProvisions36AgreementStartYear
-----	---------------------------------------

36協定特別条項の適用年にて選択できる期間(過去)を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 36 協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)
    * 省略できません
    * 0以上の整数を設定してください。
    * 36協定特別条項の適用年にて選択できる期間(過去)を設定します。
    * 設定値1の場合：基準日を含む年の過去1年を表示する。
    -->
    <specialProvisions36AgreementStartYear>3</specialProvisions36AgreementStartYear>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <specialProvisions36AgreementStartYear>3</specialProvisions36AgreementStartYear>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	36協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)を0以上の数値で指定できます。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

36協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)

タグ名	specialProvisions36AgreementEndYear
-----	-------------------------------------

36協定特別条項の適用年にて選択できる期間(未来)を設定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 36 協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)
    * 省略できません
    * 0以上の整数を設定してください。
    * 36協定特別条項の適用年にて選択できる期間(未来)を設定します。
    * 設定値1の場合：基準日を含む年の未来1年を表示する。
    -->
    <specialProvisions36AgreementEndYear>3</specialProvisions36AgreementEndYear>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <specialProvisions36AgreementEndYear>3</specialProvisions36AgreementEndYear>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	36協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)を0以上の数値で指定できます。
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

在宅勤務時間必須チェック有無

タグ名	requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin
-----	-------------------------------------

勤務表で在宅チェックONかつ在宅以外の内訳がチェックONの場合に在宅勤務時間の必須チェック有無を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<productLabormgrSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/productLabormgrSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 在宅勤務時間必須チェック有無
    * 省略できません
    *
    * 勤務表で在宅チェックONかつ在宅以外の内訳がチェックONの場合に在宅勤務時間の必須チェック有無を設定します。
    * true(必須チェック有り)、false(必須チェック無し)を設定します。
    * ※false(必須チェック無し)の場合の注意点
    ** 在宅勤務時間が未入力の場合、集計値「日次宅勤務時間」に「日次実労働時間(実態)」が設定されます。
    ** そのため、本設定をfalse(必須チェック無し)にした場合は在宅勤務時間や在宅勤務率を正確に把握できなくなります。
    -->
    <requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>true</requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>true</requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</productLabormgrSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true 必須チェック有り。 ■ false 必須チェック無し。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

オプションモジュール

intra-mart Accel Kaiden! DataDelivery連携モジュール

タイムスタンプ設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - タイムスタンプ付与利用有無
 - パブリックストレージまでの絶対パス
 - タイムスタンプを付与したファイルの出力パス
 - PDFファイルの作成日時チェック有無
 - PDFファイルの有効期限
 - 画像データの最低解像度
 - 画像データの最低階調
 - タイムスタンプ付与前のファイルチェック有無
 - 画像データの最低画素数

コラム

バージョン 2.0.9-PATCH_001で [画像データの最低画素数](#)を追加しています。

概要

タイムスタンプの利用設定を行います。

DataDeliveryと連携する場合、設定します。

尚、当該設定ファイルを用いて申請書に添付したファイルにタイムスタンプを付与する場合は弊社が提供するTimestampHelperの組み込みが必要です。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / 管理者操作ガイド](#)』-「オプションモジュールの操作」-「DataDelivery連携モジュールの操作」-「DataDeliveryと連携してKaiden!の精算を実施する」を参照してください。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! DataDelivery連携モジュール
-------	--

設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/TimestampSettings.xml
------	--

TimestampSettings.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- タイムスタンプ付与利用有無 -->
    <use>false</use>
    <!-- パブリックストレージまでの絶対パス -->
    <absolute_pass></absolute_pass>
    <!-- タイムスタンプを付与したファイルの出力パス -->
    <timestamp_pass>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{SYSTEM_MATTER_ID}/{USER_DATA_ID}</timestamp_pass>
    <!-- PDF ファイルの作成日時チェック有無 -->
    <check_creation_date>true</check_creation_date>
    <!-- PDF ファイルの有効期限 -->
    <expiration_date>24</expiration_date>
    <!-- 画像データの最低解像度 -->
    <image_resolution>200</image_resolution>
    <!-- 画像データの最低階調 -->
    <image_gradation>256</image_gradation>
    <!-- タイムスタンプ付与前のファイルチェック有無 -->
    <is_check>true</is_check>
    <!-- 画像データの最低画素数 -->
    <image_pixel>3867052</image_pixel>
  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <use>false</use>
        <absolute_pass></absolute_pass>
        <timestamp_pass></timestamp_pass>
        <check_creation_date></check_creation_date>
        <expiration_date></expiration_date>
        <image_resolution></image_resolution>
        <image_gradation></image_gradation>
        <is_check></is_check>
        <image_pixel></image_pixel>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>

```

リファレンス

タイムスタンプ付与利用有無

タグ名 use

申請書に添付したファイルにタイムスタンプを付与するかを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- タイムスタンプ付与利用有無 -->
    <use>false</use>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

      <use>false</use>

      ... 略 ...

    </settings>
  </companySetting>
</companySettings>
-->
</timestampSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
タイムスタンプ付与機能を利用します。
- **false**
タイムスタンプ付与機能を利用しません。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

パブリックストレージまでの絶対パス

タグ名	absolute_pass
-----	---------------

パブリックストレージまでの絶対パスを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- パブリックストレージまでの絶対パス -->
    <absolute_pass></absolute_pass>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <absolute_pass></absolute_pass>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>
```

必須項目	× (タイムスタンプを付与する場合必須です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	パブリックストレージまでの絶対パス 「storage-config.xml」の<root-path-name>に設定したパスから/public/storage/%テナントID%/を指定してください。 「storage-config.xml」の<root-path-name>にD:/storageを設定し、テナントIDがimartの場合、パブリックストレージまでの絶対パスは以下となります。 <absolute_pass>D:/storage/public/storage/imart/</absolute_pass>
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

タイムスタンプを付与したファイルの出力パス

タグ名 timestamp_pass

タイムスタンプを付与したファイルの出力パスを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- タイムスタンプを付与したファイルの出力パス -->
    <timestamp_pass>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{SYSTEM_MATTER_ID}/{USER_DATA_ID}/</timestamp_pass>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <timestamp_pass>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{SYSTEM_MATTER_ID}/{USER_DATA_ID}/</timestamp_pass>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>
```

必須項目	× (タイムスタンプを付与する場合必須です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	タイムスタンプを付与したファイルの出力パス
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

PDFファイルの作成日時チェック有無

タグ名 check_creation_date

タイムスタンプ付与前のPDFファイルの作成日時チェック有無を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- PDF ファイルの作成日時チェック有無 -->
    <check_creation_date>true</check_creation_date>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <check_creation_date>true</check_creation_date>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>

```

必須項目	× (タイムスタンプを付与する場合必須です)
------	------------------------

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
作成日時チェックを実施します。
- **false**
作成日時チェックを実施しません。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	なし
------------	----

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

PDFファイルの有効期限

タグ名	expiration_date
-----	-----------------

PDFファイルの作成日時をチェックする際の有効期限を設定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- PDF ファイルの有効期限 -->
    <expiration_date>24</expiration_date>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <expiration_date>24</expiration_date>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	ファイルの作成日時の期限(時間) 「0」より大きい数値を設定してください。 「0」以下を設定した場合、デフォルト値が設定されます。
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	24
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

画像データの最低解像度

タグ名 image_resolution

画像データをチェックする際の最低解像度を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 画像データの最低解像度 -->
    <image_resolution>200</image_resolution>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <image_resolution>200</image_resolution>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	画像データの最低解像度 「200」以上の数値を設定してください。 「200」未満を設定した場合、デフォルト値が設定されます。
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	200
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

画像データの最低階調

タグ名 image_gradation

画像データ(PDF)をチェックする際の最低階調を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 画像データの最低階調 -->
    <image_gradation>256</image_gradation>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <image_gradation>256</image_gradation>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	画像データの最低階調 「256」以上の数値を設定してください。 「256」未満を設定した場合、デフォルト値が設定されます。
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	256
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

タイムスタンプ付与前のファイルチェック有無

タグ名 is_check

タイムスタンプ付与直前のファイルチェック有無を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- タイムスタンプ付与前のファイルチェック有無 -->
    <is_check>true</is_check>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <is_check>true</is_check>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>
```

必須項目 × (タイムスタンプを付与する場合必須です)

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
ファイルチェックを実施します。
- **false**
ファイルチェックを実施しません。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

省略時のデフォルト値 なし

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

画像データの最低画素数

タグ名 image_gradation

画像データ(JPEG)をチェックする際の最低画素数を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <!-- 画像データの最低画素数 -->
    <image_pixel>3867052</image_pixel>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ... 略 ...

        <image_pixel></image_pixel>

        ... 略 ...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</timestampSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	画像データの最低画素数 「3867052」以上の数値を設定してください。 「3867052」未満を設定した場合、デフォルト値が設定されます。
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	3867052
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

intra-mart Accel Kaiden! Bio-IDiom Services連携モジュール

Bio-IDiom Services for GPS連携設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 接続先サブドメイン
 - 契約番号
 - 契約名
 - 認証用ライセンスキー
 - 管理者ユーザ名
 - 管理者パスワード
 - Bio-IDiom Services for GPS連携ベースURL
 - Proxy利用有無
 - Proxyのアドレス
 - Proxyのポート番号
 - Proxyに対する認証ユーザ
 - Proxyに対する認証ユーザのパスワード
 - 入退記録アプリの運用モード
 - 入退記録アプリの設定メニュー表示モード
 - 連続認証失敗時に設定情報を削除する連続失敗回数のしきい値
 - 顔認証時に撮影した顔画像の確認画面の表示モード
 - まばたきによるシャッター操作の可否
 - 顔認証後トップ画面に自動遷移する秒数
 - iOSシャッター音設定の可否
 - 入退記録アプリの設定情報QRコード出力ファイル名

概要

Bio-IDiom Services for GPS連携との接続設定を行います。

モジュール

intra-mart Accel Kaiden! Bio-IDiom Services連携モジュール

設定場所

WEB-INF/conf/kaiden2/BioIDiomServicesSettings.xml

BioIDiomServicesSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 接続先サブドメイン -->
    <host></host>
    <!-- 契約番号 -->
    <contract_id></contract_id>
    <!-- 契約名 -->
    <contract_name></contract_name>
    <!-- 認証用ライセンスキー -->
    <license_key></license_key>
    <!-- 管理者ユーザ名 -->
    <mgmt_user_name></mgmt_user_name>
    <!-- 管理者パスワード -->
    <mgmt_password></mgmt_password>
    <!-- Bio-IDiom ServicesベースURL -->
    <url></url>
    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>
    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>
    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>
    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>
    <!-- 入退記録アプリの運用モード (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
    * 場所名モード(A):101 (初期設定)
    * 緯度経度モード:102
    * 場所名モード(R):103
    -->
```

```

<app_mode></app_mode>
<!-- 入退記録アプリの設定メニュー表示モード(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
* 設定画面表示あり:0
* 設定画面表示なし:2 (初期設定)
-->
<settings_mode></settings_mode>
<!-- 連続認証失敗時に設定情報を削除する連続失敗回数のしきい値(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
* 初期設定は0回 (※無制限 設定情報を削除しない設定)
-->
<fail_count_threshold></fail_count_threshold>
<!-- 顔認証時に撮影した顔画像の確認画面の表示モード(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
* プレビュー画面表示なし:0 (初期設定)
* プレビュー画面表示あり:1
-->
<face_preview_mode></face_preview_mode>
<!-- まばたきによるシャッター操作の可否(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
* OFFにする:0 (初期設定)
* ONにする:1
-->
<shutter_ope></shutter_ope>
<!-- 顔認証後トップ画面に自動遷移する秒数(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
* 初期設定は0秒 (「戻る」ボタンで「トップ」画面に戻る)
-->
<result_view_timer></result_view_timer>
<!-- iOSシャッター音設定の可否(iOSのみ Android端末では無効)(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
* ONにする:0 (初期設定)
* OFFにする:1
-->
<shutter_sound></shutter_sound>
<!-- 入退記録アプリの設定情報QRコード出力ファイル名(省略可)
* ファイル名を指定してください。
* 省略した場合は「BiolDiomServicesSettings.png」となります。
* 置換文字列「{COMPANY_CD}」を指定すると「会社コード」に置き換えます。
* 置換文字列「{YMD}」を指定すると「出力日(当日)」に置き換えます。
* 置換文字列「{YMDHMSN}」を指定すると「出力時刻(ミリ秒)」に置き換えます。
* 置換文字列「{PLACE_NAME}」を指定すると「場所名」に置き換えます。
* 置換文字列「{PLACE_ID}」を指定すると「場所ID」に置き換えます。
-->
<settings_qr_code_file></settings_qr_code_file>
</defaultSettings>
<!-- 会社毎の設定 -->
<!--
<companySettings>
  <companySetting>
    <companyCd>%会社コード%</companyCd>
    <settings>
      <host></host>
      <contract_id></contract_id>
      <contract_name></contract_name>
      <license_key></license_key>
      <mgmt_user_name></mgmt_user_name>
      <mgmt_password></mgmt_password>
      <url></url>
      <proxy>false</proxy>
      <proxy_host></proxy_host>
      <proxy_port></proxy_port>
      <proxy_user></proxy_user>
      <proxy_password></proxy_password>
      <app_mode></app_mode>
      <settings_mode></settings_mode>
      <fail_count_threshold></fail_count_threshold>
      <face_preview_mode></face_preview_mode>
      <shutter_ope></shutter_ope>
      <result_view_timer></result_view_timer>
      <shutter_sound></shutter_sound>
      <settings_qr_code_file></settings_qr_code_file>
    </settings>
  </companySetting>
</companySettings>
-->
</biolDiomServicesSettings>

```

タグ名 host

Bio-IDiom Services for GPS連携の接続先サブドメインを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 接続先サブドメイン -->
    <host></host>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <host></host>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	Bio-IDiom Services for GPS連携の接続先サブドメイン
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

契約番号

タグ名 contract_id

Bio-IDiom Services for GPS連携の契約番号を設定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 契約番号 -->
    <contract_id></contract_id>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <contract_id></contract_id>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIDiomServicesSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	Bio-IDiom Services for GPS連携の契約番号
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

契約名

タグ名 contract_name

入退記録アプリのトップ画面で表示するBio-IDiom Services for GPS連携の契約を識別する名称を設定します。
 契約・場所情報QRコード作成／確認マスタを使用してQRコードを作成する場合、任意の名称を設定してください。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 契約名-->
    <contract_name></contract_name>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <contract_name></contract_name>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>

```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	任意のBio-IDiom Services for GPS連携の契約名称を512文字以内で指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

認証用ライセンスキー

タグ名 license_key

Bio-IDiom Services for GPS連携の認証用ライセンスキーを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 認証用ライセンスキー-->
    <license_key></license_key>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <license_key></license_key>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	Bio-IDiom Services for GPS連携の認証用ライセンスキー
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

管理者ユーザ名

タグ名 mgmt_user_name

Bio-IDiom Services for GPS連携の管理者ユーザ名を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 管理者ユーザ名 -->
    <mgmt_user_name></mgmt_user_name>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <mgmt_user_name></mgmt_user_name>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	Bio-IDiom Services for GPS連携の管理者ユーザ名
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

管理者パスワード

タグ名 mgmt_password

Bio-IDiom Services for GPS連携の管理者パスワードを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 管理者パスワード -->
    <mgmt_password></mgmt_password>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <mgmt_password></mgmt_password>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	Bio-IDiom Services for GPS連携の管理者パスワード
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Bio-IDiom Services for GPS連携ベースURL

タグ名 url

Bio-IDiom Services for GPS連携のベースURLを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Bio-IDiom Services ベースURL -->
    <url></url>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <url></url>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIDiomServicesSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	Bio-IDiom Services for GPS連携のベースURL
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxy利用有無

タグ名 proxy

Bio-IDiom Services for GPS連携利用時のProxy利用有無を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy>false</proxy>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **true**
Proxyを利用します。
- **false**
Proxyを利用しません。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

Proxyのアドレス

タグ名	proxy_host
-----	------------

Bio-IDiom Services for GPS連携利用時のProxyアドレスを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_host></proxy_host>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのアドレス
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのポート番号

タグ名 proxy_port

Bio-IDiom Services for GPS連携利用時のProxyポートを設定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_port></proxy_port>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのポート番号
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザ

タグ名 proxy_user

Bio-IDiom Services for GPS連携利用時のProxyに対する認証ユーザを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_user></proxy_user>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</bioIdiomServicesSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザ
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザのパスワード

タグ名 proxy_password

Bio-IDiom Services for GPS連携利用時のProxyに対する認証ユーザのパスワードを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>
  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_password></proxy_password>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザのパスワード
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

入退記録アプリの運用モード

タグ名 app_mode

入退記録アプリの運用モードを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 入退記録アプリの運用モード (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
      * 場所名モード(A):101 (初期設定)
      * 緯度経度モード:102
      * 場所名モード(R):103
    -->
    <app_mode></app_mode>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <app_mode></app_mode>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>

```

必須項目	× (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)
------	---------------------------------

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **101**
場所名モード(A)
- **102**
緯度経度モード
- **103**
場所名モード(R)

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	101(場所名モード(A))
------------	----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

入退記録アプリの設定メニュー表示モード

タグ名	settings_mode
-----	---------------

入退記録アプリの設定メニュー表示モードを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 入退記録アプリの設定メニュー表示モード(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
      * 設定画面表示あり:0
      * 設定画面を表示なし:2 (初期設定)
    -->
    <settings_mode></settings_mode>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <settings_mode></settings_mode>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>

```

必須項目	× (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)
------	---------------------------------

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。
------------	-----------------

- **0**
設定画面を表示します。
- **2**
設定画面を表示しません。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

省略時のデフォルト値	2(設定画面を表示しません)
------------	----------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

連続認証失敗時に設定情報を削除する連続失敗回数のしきい値

タグ名	fail_count_threshold
-----	----------------------

連続認証失敗時に設定情報を削除する連続失敗回数のしきい値を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 連続認証失敗時に設定情報を削除する連続失敗回数のしきい値 (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
         * 初期設定は0回 (※無制限 設定情報を削除しない設定)
    -->
    <fail_count_threshold></fail_count_threshold>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <fail_count_threshold></fail_count_threshold>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>
```

必須項目	× (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	しきい値
単位・型	数値
省略時のデフォルト値	なし(0回(無制限)が設定され、設定情報は削除しません。)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

顔認証時に撮影した顔画像の確認画面の表示モード

タグ名 face_preview_mode

顔認証時に撮影した顔画像の確認画面の表示モードを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 顔認証時に撮影した顔画像の確認画面の表示モード(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
      * プレビュー画面表示なし:0 (初期設定)
      * プレビュー画面表示あり:1
    -->
    <face_preview_mode></face_preview_mode>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <face_preview_mode></face_preview_mode>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>
```

必須項目 × (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **0**
プレビュー画面を表示しません。
- **1**
プレビュー画面を表示します。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

省略時のデフォルト値 0(プレビュー画面を表示しません)

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

まばたきによるシャッター操作の要否

タグ名 shutter_ope

まばたきによるシャッター操作の要否を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- まばたきによるシャッター操作の可否(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
      * OFFにする:0 (初期設定)
      * ONにする:1
    -->
    <shutter_ope></shutter_ope>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <shutter_ope></shutter_ope>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>
```

必須項目 × (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **0**
OFFにします。
- **1**
ONにします。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

省略時のデフォルト値 0(OFFにします)

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

顔認証後トップ画面に自動遷移する秒数

タグ名 result_view_timer

顔認証後トップ画面に自動遷移する秒数を設定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 顔認証後トップ画面に自動遷移する秒数(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
         * 初期設定は0秒 (「戻る」ボタンで「トップ」画面に戻る)
    -->
    <result_view_timer></result_view_timer>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <result_view_timer></result_view_timer>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>
```

必須項目	× (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	しきい値
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし(0秒が設定され、「戻る」ボタンで「トップ」画面に戻る)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

iOSシャッター音設定の要否

タグ名 shutter_sound

iOSシャッター音設定の要否を設定します。

※Android端末では無効

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<biolDiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/biolDiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- iOSシャッター音設定の可否(Android端末では無効)(エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可)
      * ONにする:0 (初期設定)
      * OFFにする:1
    -->
    <shutter_sound></shutter_sound>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <shutter_sound></shutter_sound>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</biolDiomServicesSettings>
```

必須項目 × (エッジ端末設定を初期設定のままとする場合は省略可能です)

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **0**
ONにします。
- **1**
OFFにします。

単位・型 数値

省略時のデフォルト値 0(ONにします)

親タグ defaultSetting, settings(companySetting)

入退記録アプリの設定情報QRコード出力ファイル名

タグ名 settings_qr_code_file

入退記録アプリの設定情報QRコードの出力ファイル名を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<bioIdiomServicesSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/bioIdiomServicesSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- 入退記録アプリの設定情報QRコード出力ファイル名(省略可)
      * ファイル名を指定してください。
      * 省略した場合は「BioIdiomServicesSettings.png」となります。
      * 置換文字列「{COMPANY_CD}」を指定すると「会社コード」に置き換えます。
      * 置換文字列「{YMD}」を指定すると「出力日（当日）」に置き換えます。
      * 置換文字列「{YMDHMSN}」を指定すると「出力時刻（ミリ秒）」に置き換えます。
      * 置換文字列「{PLACE_NAME}」を指定すると「場所名」に置き換えます。
      * 置換文字列「{PLACE_ID}」を指定すると「場所ID」に置き換えます。
    -->
    <settings_qr_code_file></settings_qr_code_file>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
    <settings>

      ...略...

      <shutter_ope></shutter_ope>

      ...略...

    </settings>
  </companySetting>
</companySettings>
-->
</bioIdiomServicesSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	出力ファイル名 以下のいずれかを指定した場合、文字列を置き換えます。 ■ {COMPANY_CD} 会社コード ■ {YMD} 出力日（当日） ■ {YMDHMSN} 出力時刻（ミリ秒） ■ {PLACE_NAME} 場所名 ■ {PLACE_ID} 場所ID
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	BioIdiomServicesSettings.png
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

intra-mart Accel Kaiden! ALLIGATE連携モジュール

ALLIGATE設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - ALLIGATEベースURL
 - Proxy利用有無
 - Proxyのアドレス
 - Proxyのポート番号
 - Proxyに対する認証ユーザ
 - Proxyに対する認証ユーザのパスワード

概要

ALLIGATEとの接続設定を行います。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! ALLIGATE連携モジュール
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/AlligateSettings.xml

AlligateSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- ALLIGATE ベースURL -->
    <url></url>
    <!-- Proxy 利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>
    <!-- Proxy のアドレス(Proxy を利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>
    <!-- Proxy のポート番号(Proxy を利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>
    <!-- Proxy に対する認証ユーザ(Proxy を利用しない、Proxy が認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>
    <!-- Proxy に対する認証ユーザのパスワード(Proxy を利用しない、Proxy が認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>
  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <url></url>
        <proxy>false</proxy>
        <proxy_host></proxy_host>
        <proxy_port></proxy_port>
        <proxy_user></proxy_user>
        <proxy_password></proxy_password>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>
```

リファレンス

ALLIGATEベースURL

タグ名 url

ALLIGATEのベースURLを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- ALLIGATE ベースURL -->
    <url></url>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        <url></url>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	ALLIGATEのベースURL
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxy利用有無

タグ名 proxy

ALLIGATE利用時のProxy利用有無を設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>
    ...略...

    <!-- Proxy利用有無 -->
    <proxy>false</proxy>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>
        ...略...

        <proxy>false</proxy>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true Proxyを利用します。 ■ false Proxyを利用しません。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのアドレス

タグ名 proxy_host

ALLIGATE利用時のProxyアドレスを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyのアドレス(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_host></proxy_host>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_host></proxy_host>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのアドレス
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyのポート番号

タグ名 proxy_port

ALLIGATE利用時のProxyポートを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyのポート番号(Proxyを利用しない場合は省略可) -->
    <proxy_port></proxy_port>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_port></proxy_port>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyのポート番号
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザ

タグ名 proxy_user

ALLIGATE利用時のProxyに対する認証ユーザを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザ(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_user></proxy_user>

    ...略...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_user></proxy_user>

        ...略...

      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>

```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザ
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

Proxyに対する認証ユーザのパスワード

タグ名 proxy_password

ALLIGATE利用時のProxyに対する認証ユーザのパスワードを設定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<alligateSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/alligateSettings">
  <defaultSettings>

    ...略...

    <!-- Proxyに対する認証ユーザのパスワード(Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可) -->
    <proxy_password></proxy_password>
  </defaultSettings>
  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <companySettings>
    <companySetting>
      <companyCd>%会社コード%</companyCd>
      <settings>

        ...略...

        <proxy_password></proxy_password>
      </settings>
    </companySetting>
  </companySettings>
  -->
</alligateSettings>
```

必須項目	× (Proxyを利用しない、Proxyが認証を必要としない場合は省略可能です)
複数設定	×
設定値・設定する内容	Proxyに対する認証ユーザのパスワード
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
省略時のデフォルト値	なし
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール)

モジュール設定

項目

- [概要](#)
- [リファレンス](#)
 - [キャビネットID](#)
 - [ルートオブジェクトID](#)
 - [格納先パス](#)
 - [クラスID](#)
 - [属性ID 文書管理番号](#)
 - [属性ID 精算済みフラグ](#)
 - [属性ID 取引者](#)
 - [属性ID 取引日](#)
 - [属性ID 取引先名](#)
 - [属性ID 金額](#)
 - [属性ID 伝票番号](#)
 - [属性ID 摘要](#)
 - [属性ID 承認済みフラグ](#)

概要

SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール) の基本設定を行います。

モジュール	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール)
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/RelationIadTsSettings.xml

RelationIadTsSettings.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- キャビネットID
      * 省略できません
      * 文書登録申請で文書を格納するAccel DocumentsのキャビネットIDを設定します。
    -->
    <cabinetId>1000000</cabinetId>
    <!-- ルートオブジェクトID
      * 省略できません
      * 文書登録申請で文書を格納するAccel Documentsのキャビネット配下のオブジェクトIDを設定します。
      * ドロワまたはフォルダのオブジェクトIDを設定します。
    -->
    <rootObjectId>kn:publicDrawer-6</rootObjectId>
    <!-- 格納先パス
      * 省略できません
      * 以下の設定を含めると、申請の内容で置換が行われます。
      ** "{COMPANY_CD}"      : 会社コードに変換します。
      ** "{APPLY_YEAR}"      : 申請基準日の「年」に変換します。
      ** "{APPLY_MONTH}"     : 申請基準日の「月」に変換します。
      ** "{APPLY_DAY}"       : 申請基準日の「日」に変換します。
      ** "{APPLY_BASE_DATE}" : 申請基準日に変換します。
      ** "{MATTER_NUMBER}"   : 案件番号に変換します。
    -->
    <targetDirPath>{APPLY_YEAR}/{APPLY_MONTH}/{MATTER_NUMBER}</targetDirPath>
    <!-- クラスID
      * 省略できません。
      * 文書登録で使用するAccel DocumentsのクラスIDを設定します。
    -->
    <classId>knc_doc:t_evidence</classId>
    <!-- 属性ID 文書管理番号
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdManaged>knc_attr:t_managed</attributeIdManaged>
    <!-- 属性ID 精算済みフラグ
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdSettledFlg>knc_attr:t_settledFlg</attributeIdSettledFlg>
    <!-- 属性ID 取引者
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdTradeUser>knc_attr:t_tradeUser</attributeIdTradeUser>
    <!-- 属性ID 取引日
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdTradeDate>knc_attr:t_tradeDate</attributeIdTradeDate>
    <!-- 属性ID 取引先名
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdClient>knc_attr:t_client</attributeIdClient>
    <!-- 属性ID 金額
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdAmount>knc_attr:t_amount</attributeIdAmount>
    <!-- 属性ID 伝票番号
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdSlipNum>knc_attr:t_slipNum</attributeIdSlipNum>
    <!-- 属性ID 摘要
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdSummary>knc_attr:t_summary</attributeIdSummary>
    <!-- 属性ID 承認済みフラグ
      * 省略できません

```

目次

* Accel Documentsの属性IDを設定します。

-->

```
<attributeIdApprovedFlg>knc_attr:t_approvedFlg</attributeIdApprovedFlg>
</defaultSetting>
```

<!-- 会社毎の設定 -->

<!--

<tenantSettings>

<tenantSetting>

<tenantId>%テナントID%</tenantId>

<companySettings>

<companySetting>

<companyCd>%会社コード%</companyCd>

<settings>

<cabinetId>1000000</cabinetId>

<rootObjectId>kn:publicDrawer-6</rootObjectId>

<targetDirPath>{APPLY_YEAR}/{APPLY_MONTH}/{MATTER_NUMBER}</targetDirPath>

<classId>knc_doc:t_evidence</classId>

<attributeIdManageld>knc_attr:t_manageld</attributeIdManageld>

<attributeIdSettledFlg>knc_attr:t_settledFlg</attributeIdSettledFlg>

<attributeIdTradeUser>knc_attr:t_tradeUser</attributeIdTradeUser>

<attributeIdTradeDate>knc_attr:t_tradeDate</attributeIdTradeDate>

<attributeIdClient>knc_attr:t_client</attributeIdClient>

<attributeIdAmount>knc_attr:t_amount</attributeIdAmount>

<attributeIdSlipNum>knc_attr:t_slipNum</attributeIdSlipNum>

<attributeIdSummary>knc_attr:t_summary</attributeIdSummary>

<attributeIdApprovedFlg>knc_attr:t_approvedFlg</attributeIdApprovedFlg>

</settings>

</companySetting>

</companySettings>

</tenantSetting>

</tenantSettings>

-->

</relationIdTsSettings>

リファレンス

キャビネットID

タグ名 cabinetId

文書登録申請で文書を格納するAccel DocumentsのキャビネットIDを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationladTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationladTsSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- キャビネットID
      * 省略できません
      * 文書登録申請で文書を格納するAccel DocumentsのキャビネットIDを設定します。
    -->
    <cabinetId>1000000</cabinetId>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <cabinetId>1000000</cabinetId>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationladTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	キャビネットID（intra-mart Accel Documents）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ルートオブジェクトID

タグ名 rootObjectId

文書登録申請で文書を格納する intra-mart Accel Documents のキャビネット配下のオブジェクトIDを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- ルートオブジェクトID
    * 省略できません
    * 文書登録申請で文書を格納するAccel Documentsのキャビネット配下のオブジェクトIDを設定します。
    * ドロワまたはフォルダのオブジェクトIDを設定します。
    -->
    <rootObjectId>kn:publicDrawer-6</rootObjectId>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <rootObjectId>kn:publicDrawer-6</rootObjectId>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	ルートオブジェクトID（intra-mart Accel Documents）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

格納先パス

タグ名 targetDirPath

文書登録申請で文書を格納する intra-mart Accel Documents のパスを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 格納先パス
    * 省略できません
    * 以下の設定を含めると、申請の内容で置換が行われます。
    ** "{COMPANY_CD}"      : 会社コードに変換します。
    ** "{APPLY_YEAR}"      : 申請基準日の「年」に変換します。
    ** "{APPLY_MONTH}"     : 申請基準日の「月」に変換します。
    ** "{APPLY_DAY}"       : 申請基準日の「日」に変換します。
    ** "{APPLY_BASE_DATE}" : 申請基準日に変換します。
    ** "{MATTER_NUMBER}"  : 案件番号に変換します。
    -->
    <targetDirPath>{APPLY_YEAR}/{APPLY_MONTH}/{MATTER_NUMBER}</targetDirPath>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <targetDirPath>{APPLY_YEAR}/{APPLY_MONTH}/{MATTER_NUMBER}</targetDirPath>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	格納先パス（intra-mart Accel Documents） 以下のいずれかを含めると、申請の内容で置換が行われます。 ■ {COMPANY_CD} 会社コードで置換が行われます。 ■ {APPLY_YEAR} 申請年で置換が行われます。 ■ {APPLY_MONTH} 申請月で置換が行われます。 ■ {APPLY_DAY} 申請日で置換が行われます。 ■ {APPLY_BASE_DATE} 申請基準日で置換が行われます。 ■ {MATTER_NUMBER} 案件番号で置換が行われます。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

クラスID

タグ名 classId

文書登録で使用する intra-mart Accel Documents のクラスIDを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- クラスID
      * 省略できません。
      * 文書登録で使用するAccel DocumentsのクラスIDを設定します。
    -->
    <classId>knc_doc:t_evidence</classId>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <classId>knc_doc:t_evidence</classId>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	クラスID（intra-mart Accel Documents）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 文書管理番号

タグ名 attributeldManageld

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の文書管理番号の属性IDを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 文書管理番号
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdManageld>knc_attr:t_manageld</attributeIdManageld>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>

          ... 略 ...

          <attributeIdManageld>knc_attr:t_manageld</attributeIdManageld>

          ... 略 ...

        </settings>
      </companySetting>
    </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID（intra-mart Accel Documents - 文書管理番号）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 精算済みフラグ

タグ名 attributeIdSettledFlg

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の精算済みフラグの属性IDを設定します。

【設定項目】


```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 精算済みフラグ
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdSettledFlg>knc_attr:t_settledFlg</attributeIdSettledFlg>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <attributeIdSettledFlg>knc_attr:t_settledFlg</attributeIdSettledFlg>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID (intra-mart Accel Documents - 精算済みフラグ)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 取引者

タグ名 attributeIdTradeUser

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の取引者の属性IDを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 取引者
         * 省略できません。
         * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdTradeUser>knc_attr:t_tradeUser</attributeIdTradeUser>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>

          ... 略 ...

          <attributeIdTradeUser>knc_attr:t_tradeUser</attributeIdTradeUser>

          ... 略 ...

        </settings>
      </companySetting>
    </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID（intra-mart Accel Documents - 取引者）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 取引日

タグ名 attributeIdTradeDate

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の取引日の属性IDを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 取引日
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdTradeDate>knc_attr:t_tradeDate</attributeIdTradeDate>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <attributeIdTradeDate>knc_attr:t_tradeDate</attributeIdTradeDate>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
</relationIadTsSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID (intra-mart Accel Documents - 取引日)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 取引先名

タグ名 attributeldClient

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の取引先名の属性IDを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 取引先名
         * 省略できません。
         * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdClient>knc_attr:t_client</attributeIdClient>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>

          ... 略 ...

          <attributeIdClient>knc_attr:t_client</attributeIdClient>

          ... 略 ...

        </settings>
      </companySetting>
    </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</relationIadTsSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID（intra-mart Accel Documents - 取引先名）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 金額

タグ名 attributeIdAmount

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の金額の属性IDを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 金額
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdAmount>knc_attr:t_amount</attributeIdAmount>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <attributeIdAmount>knc_attr:t_amount</attributeIdAmount>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID（intra-mart Accel Documents - 金額）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 伝票番号

タグ名 attributeIdSlipNum

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の伝票番号の属性IDを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 伝票番号
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdSlipNum>knc_attr:t_slipNum</attributeIdSlipNum>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <attributeIdSlipNum>knc_attr:t_slipNum</attributeIdSlipNum>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID (intra-mart Accel Documents - 伝票番号)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 摘要

タグ名 attributeIdSummary

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の摘要の属性IDを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 摘要
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdSummary>knc_attr:t_summary</attributeIdSummary>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <attributeIdSummary>knc_attr:t_summary</attributeIdSummary>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID (intra-mart Accel Documents - 摘要)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

属性ID 承認済みフラグ

タグ名 attributeldApprovedFlg

Kaiden! と連携する intra-mart Accel Documents の承認済みフラグの属性IDを設定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<relationIadTsSettings
  xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/relationIadTsSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- 属性ID 承認済みフラグ
      * 省略できません。
      * Accel Documentsの属性IDを設定します。
    -->
    <attributeIdApprovedFlg>knc_attr:t_approvedFlg</attributeIdApprovedFlg>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <attributeIdApprovedFlg>knc_attr:t_approvedFlg</attributeIdApprovedFlg>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</relationIadTsSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	属性ID (intra-mart Accel Documents - 承認済みフラグ)
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)

モジュール設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - 鍵生成時の最低ビット長
 - ワンタイム鍵生成時のビット長
 - キーファイルの作成有無
 - キー変更推奨月数
 - マイナンバー出力使用可否
 - マイナンバー（収集）モジュール有無

概要

SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール) の基本設定を行います。

モジュール	SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)
設定場所	WEB-INF/conf/kaiden2/SolutionIdentnbnrStgSettings.xml

SolutionIdentnbrStgSettings.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrStgSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 鍵生成時の最低ビット長 -->
    <minBitLength>2048</minBitLength>
    <!-- ワンタイム鍵生成時のビット長 -->
    <oneTimeBitLength>1024</oneTimeBitLength>
    <!-- キーファイルの作成有無 -->
    * キーファイルを作成する場合は、ストレージ/データベースのセキュリティ対策を導入する必要があります。
    <createKeyFile>false</createKeyFile>
    <!-- キー変更推奨月数 -->
    * 最終キー変更日時が指定した月を経過したとき、警告を表示します。
    * 0以下を指定すると警告は表示されません。
    <shouldChangeKeyMonth>3</shouldChangeKeyMonth>
    <!-- マイナンバー出力使用可否 -->
    * 以下のいずれかを指定できます。
    * true : 使用可
    * false : 使用不可
    <numberExportPermit>false</numberExportPermit>
    <!-- マイナンバー（収集）モジュール有無 -->
    * 以下のいずれかを指定できます。
    * 0 : モジュール無し
    * 1 : モジュール有り
    <identnbrColExists>0</identnbrColExists>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <minBitLength>2048</minBitLength>
            <oneTimeBitLength>1024</oneTimeBitLength>
            <createKeyFile>false</createKeyFile>
            <shouldChangeKeyMonth>1</shouldChangeKeyMonth>
            <numberExportPermit>false</numberExportPermit>
            <identnbrColExists>0</identnbrColExists>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbrStgSettings>

```

リファレンス

鍵生成時の最低ビット長

タグ名 minBitLength

鍵生成時の最低ビット長を設定します。

本設定の最低ビット長を低く設定することで、鍵作成時間（マイナンバー管理キー変更）が短縮されますが、同時にセキュリティ強度（暗号化したマイナンバーの解読難易度）が低下します。

2025年6月時点では、「2048」ビットを推奨します。

鍵生成時間は、利用されるクライアント端末の処理能力に依存するため、主に利用するクライアント端末を考慮し、設定してください。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrStgSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- 鍵生成時の最低ビット長 -->
    <minBitLength>2048</minBitLength>

    ... 略 ...

    <!-- 会社毎の設定 -->
    <!--
    <tenantSettings>
      <tenantSetting>
        <tenantId>%テナントID%</tenantId>
        <companySettings>
          <companySetting>
            <companyCd>%会社コード%</companyCd>
            <settings>
              <minBitLength>2048</minBitLength>

              ... 略 ...

            </settings>
          </companySetting>
        </companySettings>
      </tenantSetting>
    </tenantSettings>

    -->
  </solutionIdentnbrStgSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	鍵生成時の最低ビット長（1024、2048、4096など）
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ワンタイム鍵生成時のビット長

タグ名 oneTimeBitLength

ワンタイム鍵生成時のビット長を設定します。
 ワンタイム鍵は主にサーバ・クライアント間の通信で使用します。
 2025年6月時点では、「1024」ビットを推奨します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrStgSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- ワンタイム鍵生成時のビット長 -->
    <oneTimeBitLength>1024</oneTimeBitLength>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <oneTimeBitLength>1024</oneTimeBitLength>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbrStgSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	ワンタイム鍵生成時のビット長（512、1024、2048など）
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

キーファイルの作成有無

タグ名 createKeyFile

キーファイルの作成有無を設定します。

本設定を「true」に設定することで、キーファイルを利用することができます。

標準機能では、マイナンバー管理キー変更時の変更前のキーとして利用可能です。



注意

キーファイル作成時には、マイナンバー復号化用の鍵がストレージ/データベースに保管されます。
 本設定を「true」に設定する場合は、ストレージ/データベースのセキュリティ対策（安全管理措置）を導入する必要があります。
 （ストレージ/データベースへのアクセス権設定、アクセス監視、不正アクセスの防止など）

本設定を「false」に設定する場合は、設定した鍵情報（パスフレーズ、鍵長）の失念に注意してください。
 鍵情報（パスフレーズ、鍵長）を失念した場合、マイナンバーの復号化や、管理キー変更ができません。
 復旧には、保管中のマイナンバー・鍵情報の削除、マイナンバーの再収集が必要です。
 （安全管理措置として、鍵情報の復元はできませんのでご注意ください。）

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrStgSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- キーファイルの作成有無
      * キーファイルを作成する場合は、ストレージ/データベースのセキュリティ対策を導入する必要があります。
    -->
    <createKeyFile>>false</createKeyFile>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <createKeyFile>>false</createKeyFile>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbrStgSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true キーファイルを作成します。 ■ false キーファイルを作成しない。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

キー変更推奨月数

タグ名 shouldChangeKeyMonth

キー変更推奨月数を設定します。
キー変更から設定した月数を経過した場合、メッセージを表示します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrStgSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- キー変更推奨月数
      最終キー変更日時が指定した月を経過したとき、警告を表示します。
      0以下を指定すると警告は表示されません。
    -->
    <shouldChangeKeyMonth>3</shouldChangeKeyMonth>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <shouldChangeKeyMonth>3</shouldChangeKeyMonth>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbrStgSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	キー変更推奨月数
単位・型	数値
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

マイナンバー出力使用可否

タグ名 numberExportPermit

マイナンバー出力（ファイル）機能の使用可否を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrStgSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- マイナンバー出力使用可否
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** true : 使用可
      ** false : 使用不可
    -->
    <numberExportPermit>false</numberExportPermit>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <numberExportPermit>false</numberExportPermit>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbrStgSettings>

```

必須項目	○
------	---

複数設定	×
------	---

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
マイナンバー出力（ファイル）機能を利用可能にします。
- **false**
マイナンバー出力（ファイル）機能を利用不可にします。

単位・型	文字列 (xxxxxxx)
------	---------------

親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)
-----	--

マイナンバー（収集）モジュール有無

タグ名	identnbrColExists
-----	-------------------

マイナンバー（収集）モジュールのインストール有無を設定します。

本設定を「true」に設定した場合、マイナンバー一覧／情報（従業員）機能に、マイナンバー提出（従業員）の起票ボタンが表示されます。ただし、マイナンバー（収集）モジュールがインストールされていない場合はエラーが発生しますので、ご注意ください。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnбрStgSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnбрStgSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- マイナンバー（収集）モジュール有無
      * 以下のいずれかを指定できます。
      ** 0 :モジュール無し
      ** 1 :モジュール有り
    -->
    <identnбрColExists>0</identnбрColExists>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>

            ... 略 ...

            <identnбрColExists>0</identnбрColExists>

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnбрStgSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	以下のいずれかを指定できます。 ■ true マイナンバー（収集）モジュールがインストールされている（起票ボタンを表示します。） ■ false マイナンバー（収集）モジュールがインストールされていない（起票ボタンを表示しません。）
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

SASruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール)

モジュール設定

項目

- 概要
- リファレンス
 - マイナンバーの利用目的表示用URL
 - マイナンバーの利用目的表示用ファイル

概要

SASruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール) の基本設定を行います。

モジュール SASruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（収集）モジュール)

SolutionIdentnbrColSettings.xml

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrColSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrColSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- マイナンバーの利用目的表示用URL
      * 利用目的が記載されたページを表示するURLを設定してください。
    -->
    <purposeOfUseUrl></purposeOfUseUrl>
    <!-- マイナンバーの利用目的表示用ファイル
      * 省略できません
      * 設定値には利用目的が記載されたファイル（.pdf形式）を設定してください。
      * ストレージ以降のディレクトリパスから指定してください。
    -->
    <purposeOfUseFile>kaiden/purpose_of_use/sample.pdf</purposeOfUseFile>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <purposeOfUseUrl></purposeOfUseUrl>
            <purposeOfUseFile>kaiden/purpose_of_use/sample.pdf</purposeOfUseFile>
          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbrColSettings>

```

リファレンス

マイナンバーの利用目的表示用URL

タグ名 purposeOfUseUrl

マイナンバー提出（従業員）で利用するマイナンバーの利用目的を表示するURLを設定します。
省略すると、[マイナンバーの利用目的表示用ファイル](#)の設定を利用します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbnrColSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbnrColSettings">
  <defaultSetting>
    <!-- マイナンバーの利用目的表示用URL
      * 利用目的が記載されたページを表示するURLを設定してください。
    -->
    <purposeOfUseUrl></purposeOfUseUrl>

    ... 略 ...

  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
          <settings>
            <purposeOfUseUrl></purposeOfUseUrl>

            ... 略 ...

          </settings>
        </companySetting>
      </companySettings>
    </tenantSetting>
  </tenantSettings>
  -->
</solutionIdentnbnrColSettings>
```

必須項目	×
複数設定	×
設定値・設定する内容	URL
単位・型	URL
省略時のデフォルト値	マイナンバーの利用目的表示用ファイルの設定を利用します。
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

マイナンバーの利用目的表示用ファイル

タグ名 purposeOfUseFile

マイナンバー提出（従業員）で利用するマイナンバーの利用目的を表示するPDFのパス（パブリックストレージからの相対パス）を設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<solutionIdentnbrColSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/solutionIdentnbrColSettings">
  <defaultSetting>

    ... 略 ...

    <!-- マイナンバーの利用目的表示用ファイル
      * 省略できません
      * character には、ファイルの文字コードを指定してください。
      * 設定値には利用目的が記載されたファイル（.pdf形式）を設定してください。
      * ストレージ以降のディレクトリパスから指定してください。
    -->
    <purposeOfUseFile>kaiden/purpose_of_use/sample.pdf</purposeOfUseFile>
  </defaultSetting>

  <!-- 会社毎の設定 -->
  <!--
  <tenantSettings>
    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>
        <companySetting>
          <companyCd>%会社コード%</companyCd>
        <settings>

          ... 略 ...

          <purposeOfUseFile>kaiden/purpose_of_use/sample.pdf</purposeOfUseFile>

          ... 略 ...

        </settings>
      </companySetting>
    </companySettings>
  </tenantSetting>
</tenantSettings>
-->
</solutionIdentnbrColSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	ファイルパス
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

i コラム

intra-mart Accel Kaiden! では次の形式でモジュール、およびモジュールパックを提供しています。

モジュールパック	区分	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module		基盤モジュール
		IM-Workflow連携モジュール
	オプション	Microsoft 365 連携モジュール
		LINE WORKS連携モジュール
	アーカイブ	SAStruts版 アーカイブ(基盤モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(IM-Workflow連携モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費		ワークフローモジュール
	オプション	DataDelivery連携モジュール
		Bill One連携モジュール
		LINE WORKS OCR連携モジュール
		invoiceAgent 文書管理連携モジュール
		マルチバリューチャージサービス連携モジュール
		生成AI連携モジュール
	アーカイブ	SAStruts版 アーカイブ(ワークフローモジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(文書管理 (iAD) 連携モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(DataDelivery連携モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(Bill One連携モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(LINE WORKS OCR連携モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(invoiceAgent 文書管理連携モジュール)
intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理		勤務管理モジュール
	オプション	Bio-IDiom Services連携モジュール
		ALLIGATE連携モジュール
		Microsoft 365 勤務管理向け連携モジュール
	アーカイブ	SAStruts版 アーカイブ(勤務管理モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(Bio-IDiom Services連携モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(ALLIGATE連携モジュール)
intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー		マイナンバー (保管・削除) モジュール
		マイナンバー (収集) モジュール
		マイナンバー (WebService) モジュール
	アーカイブ	SAStruts版 アーカイブ(マイナンバー (保管・削除) モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(マイナンバー (収集) モジュール)
		SAStruts版 アーカイブ(マイナンバー (WebService) モジュール)

コラム

IM-Juggling 上で、設定ファイルを編集するには、

1. <（プロジェクト名）/juggling.im> ファイルをダブルクリックします。
2. 「設定ファイル」タブをクリックします。
3. 対象の設定ファイルを選択し、右側にある「出力」をクリックします。
4. 「ProjectNavigator」内のツリー上に表示されたファイルをダブルクリックして編集を行います。

注意

intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイルを運用開始後に変更しないでください。
設定ファイルを運用開始後に変更した場合、データの不整合が発生する可能性があります。

ただし、運用後新たに会社を追加する場合の会社個別の設定は例外です。

ミドルウェア製品の起動・停止

- ミドルウェア製品の起動・停止を行います。
詳細は、[Web Application Server の起動・停止](#)を参照してください。

デプロイ

- デプロイを行います。
詳細は、[WARファイルのデプロイ](#)を参照してください。

テナント環境セットアップ

- テナント環境セットアップについては、[テナント環境セットアップ](#)を参照してください。



注意

WARファイルに含まれているモジュールにより、
テナント環境セットアップにて表示されるウィザードの順序が変わります。

intra-mart Accel Kaiden!の各モジュール個別の設定を行います。
各設定が不要な場合や、対象のモジュールをインストールしていない場合は、スキップしてください。

- [SAstruts版 アーカイブ\(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール）](#)
 - [ドキュメントマスタのセットアップ](#)

SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)

SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)の設定を行います。

ドキュメントマスタのセットアップ

SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー（保管・削除）モジュール)で使用するドキュメント（法定帳票）の定義を追加します。

1. 「サイトマップ」→「TableMaintenance」→「テーブル・インポート」をクリックします。
2. テーブル・インポート画面表示後、「ストレージ」に「kaiden/document_data/master/master_data_203_001.zip」を入力します。

テーブル・インポート

imart ▼

+ ファイル追加... ✕ 中断 言 削除

ストレージ kaiden/document_data/master/master_data_203_001.zip

メイン import-option.xml

▼ オプション設定

ファイルエンコーディング MS932 ▼

最大エラーサイズ 50

中途コミット件数間隔(件) 0

日付フォーマット yyyy/MM/ddHH:mm:ss

数値フォーマット #

Null値として扱う文字列

Null値として扱う文字列 (文字列型用)

インサート・モード ☐ 有効 ☒ 無効

洗い替えモード ☐ 有効 ☒ 無効

エラーデータ存在時のコミット ☐ 有効 ☒ 無効

実行

3. 「実行」をクリックし、ドキュメントマスタデータをインポートします。

テーブル・インポート

imart ▼

+ ファイル追加... ✕ 中断 言 削除

ストレージ kaiden/document_data/master/master_data_203_001.zip

メイン import-option.xml

▼ オプション設定

ファイルエンコーディング MS932 ▼

最大エラーサイズ 50

中途コミット件数間隔(件) 0

日付フォーマット yyyy/MM/ddHH:mm:ss

数値フォーマット #

Null値として扱う文字列

Null値として扱う文字列 (文字列型用)

インサート・モード ☐ 有効 ☒ 無効

洗い替えモード ☐ 有効 ☒ 無効

エラーデータ存在時のコミット ☐ 有効 ☒ 無効

インポート処理結果

テーブル名	失敗数	新規	更新	削除
✓ k10m_document	0	51	0	0
✓ k10m_document_detail	0	102	0	0

OK

実行

ライセンス

- ライセンスの登録を行います。
詳細は、[ライセンスの登録](#)を参照してください。

アップデート・パッチの適用

- IM-Juggling を利用して最新モジュールを適用する事ができます。
詳細は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデート パッチの適用](#)」を参照してください。

！ 注意

アップデート・パッチの適用でメニューのURL、ジョブの実行プログラムが変更になる場合があります。
初期データでインポートされるメニュー・ジョブはアップデート・パッチの適用後のセットアップ時に変更後の情報に更新されます。
独自にKaiden!の標準機能を利用したメニュー・ジョブを追加している場合、初期データでインポートされるメニュー・ジョブを参考に設定を変更してください。

アップデート

- アップデートの適用は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデートの適用](#)」を参照してください。
- アップデート版を適用前に環境を構築している場合、次の個別作業が必要です。

アップデート

- アップデートの適用は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[アップデートの適用](#)」を参照してください。
- アップデート版を適用前に環境を構築している場合、個別作業が必要です。

！ 注意

アップデート前のバージョンが、バージョン 2.0.0の場合、

- [バージョン 2.0.0からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.1からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.2からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.3からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.4からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.5からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.7からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.9からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.12からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.13からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.14からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.15からアップデートを行う際の個別作業](#)
- [バージョン 2.0.16からアップデートを行う際の個別作業](#)

の最新までのバージョンの作業が必要です。

バージョン 2.0.0からアップデートを行う際の個別作業

BaseSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.1で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、時刻表現方法の設定を追加しています。

以下を参考にBaseSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- 時刻表現方法 ※timestampの書式には影響しません
* 以下のいずれかを指定できます.
** "H99" : 25:00 など24時以降も表現する。(HH:MM/H:MMの表記が各機能による) </li>
** "H24" : 24:00以降は"+" (デフォルト) を付与する (+01:00 = 25:00 = 翌01:00) </li>
-->
<timeFormat>H99</timeFormat>
</defaultSetting>
```

kaiden_logger.xmlの編集

バージョン 2.0.1でログ設定のログパターン文字列にテナントIDを追加しています。

以下を参考にkaiden_logger.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[ログ設定](#)』を参照してください。)

```
<layout class="jp.co.intra_mart.common.platform.log.layout.OutputStackTracePatternLayout">
  <pattern>[%d{yyyy-MM-dd HH:mm:ss.SSS}] %-5level %logger{255} %X{tenant.id} %X{log.id} - %msg%n</pattern>
... 略 ...
</layout>
```

バージョン 2.0.1からアップデートを行う際の個別作業

kaiden_logger.xmlの編集

バージョン 2.0.2でログの出力先(初期値) を修正しています。

以下を参考にkaiden_logger.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[ログ設定](#)』を参照してください。)

```
<included>
  <appender name="KAIDEN_LOG_FILE" class="ch.qos.logback.core.rolling.RollingFileAppender">
    <file>${im.log}/product/kaiden/kaiden.log</file>
    <append>true</append>
    <rollingPolicy class="ch.qos.logback.core.rolling.FixedWindowRollingPolicy">
      <fileNamePattern>${im.log}/product/kaiden/kaiden%i.log</fileNamePattern>
      <minIndex>1</minIndex>
      <maxIndex>5</maxIndex>
    </rollingPolicy>
    <triggeringPolicy class="ch.qos.logback.core.rolling.SizeBasedTriggeringPolicy">
      <maxFileSize>10MB</maxFileSize>
    </triggeringPolicy>
    <encoder class="ch.qos.logback.core.encoder.LayoutWrappingEncoder">
      <layout class="jp.co.intra_mart.common.platform.log.layout.OutputStackTracePatternLayout">
        <pattern>[%d{yyyy-MM-dd HH:mm:ss.SSS}] %-5level %logger{255} %X{tenant.id} %X{log.id} - %msg%n</pattern>
        <enableOutputStackTrace>true</enableOutputStackTrace>
        <stackTraceDir>${im.log}/product/kaiden/exception/</stackTraceDir>
        <stackTraceFilename>'exception_'yyyy-MM-dd_HH-mm-ss'_%logId.kaiden.log'</stackTraceFilename>
      </layout>
      <immediateFlush>true</immediateFlush>
    </encoder>
  </appender>
  <logger name="KAIDEN_LOG" additivity="false">
    <level value="info" />
    <appender-ref ref="KAIDEN_LOG_FILE" />
  </logger>
</included>
```

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.2で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[所属組織を判定するために利用する組織セットコード](#)、[組織ツリー表示階層数](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

<defaultSetting>

<!-- 所属組織を判定するために利用する組織セットコード

* 省略できません

* 設定した組織セットのみ利用します。

* %company%を指定すると、会社コードと同じ組織セットのみを利用します。

-->

<decisionAttachDepartmentSetCd>%company%</decisionAttachDepartmentSetCd>

... 略 ...

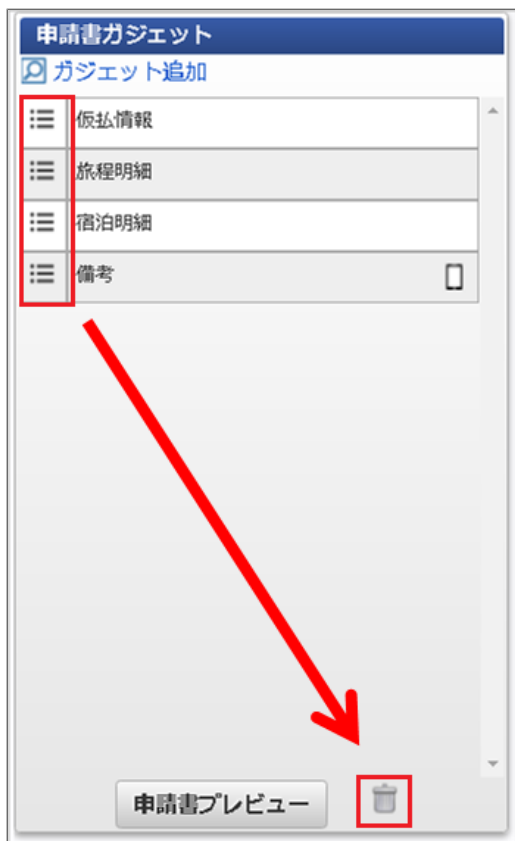
<showDepartmentDepth>1</showDepartmentDepth>

</defaultSetting>

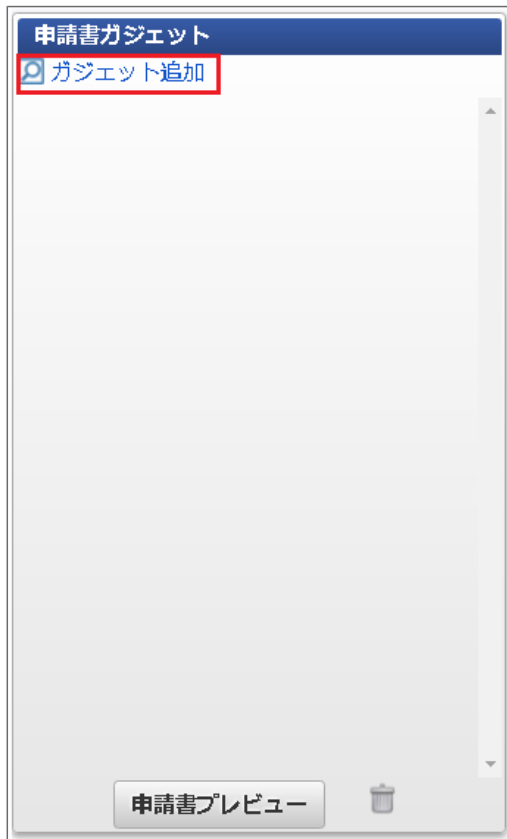
申請書マスタメンテナンスの再設定

申請書マスタ（コンテンツ定義）メンテナンス画面で、追加済みのガジェットを再設定します。

1. 各コンテンツの申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録／更新画面を表示します。
登録／更新画面の表示方法は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / 管理者操作ガイド](#)』 - 「ワークフロー設定」 - 「コンテンツ定義」 - 「更新」 - 「コンテンツバージョン更新」を参照してください。
2. 「申請書ガジェット」欄に設定しているガジェットをすべて削除します。



3. 「ガジェット追加」リンクをクリックします。



4. 再度、「選択可能なガジェット」から「追加するガジェット」欄に追加するガジェットを設定して「決定」ボタンをクリックします。



5. ガジェットの追加後、「更新」ボタンをクリックします。

申請書ガジェット

ガジェット追加

振込情報
旅程明細
宿泊明細
備考

申請書プレビュー

更新

削除

一覧に戻る



コラム

更新の際に、各ガジェットの必須／任意設定等がリセットされますので、再度設定を行ってください。

バージョン 2.0.2からアップデートを行う際の個別作業

BaseSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.3で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[続柄\[本人\]](#)を特定するコード、システムメッセージの配信元となるユーザのコード、[セレクトボックスの表示最大数](#)を追加しています。

以下を参考にBaseSettings.xmlの設定を修正してください。
(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```

<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- 続柄
* 続柄[本人]を特定するコード
-->
<relationshipOwnPerson>100004-10</relationshipOwnPerson>
<!-- システムメッセージの配信元となるユーザのコード
* ジョブの完了メッセージなど、個人が特定できない場合の配信元です。
* 本設定に合わせて、ユーザ作成及びメールアドレスの設定をお願いします。
-->
<deliverUserCd></deliverUserCd>
<!-- セレクトボックスの表示最大数
* セレクトボックスの表示最大数です。
* 最大数を超えたセレクト内容はモーダルで検索、設定します。
* 未設定の場合は全件表示します。
-->
<showSelectOptionMaxCount>20</showSelectOptionMaxCount>
</defaultSetting>
    
```

ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.3で intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール モジュール設定に、[FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かの設定](#)を追加しています。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。
(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- FB一括出力画面の組織所属判断範囲が主所属のみか否かを設定します。

* 省略できません

* true(主所属のみ)、false(副所属を含む)を設定します。

-->

<fbdataLumpExportDeptMainFlag>false</fbdataLumpExportDeptMainFlag>**</defaultSettings>**

app.diconの編集

バージョン 2.0.3で、app.diconの設定方法が変更になりました。

[app.dicon](#)を参照し、再度設定を行ってください。

バージョン 2.0.3からアップデートを行う際の個別作業

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.4で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[作業実績/作業実績の年度開始月日](#)、[作業実績/作業実績の基準月](#)、[作業実績/対象年月の表示範囲\(過去\)](#)、[作業実績/対象年月の表示範囲\(未来\)](#)、[作業実績差分登録有無](#)を追加しています。

以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)**<defaultSetting>**

... 略 ...

<!-- 作業実績/作業実績の年度開始月日

* 省略できません

* MM/DD形式で設定してください。

* 作業実績の年度開始月日を指定します。

* 締め単位は月締めのみ対応しています。

* 28日以降の日付を設定した場合、月の最終日が開始日です。

* 設定値04/01の場合かつ基準月に0を指定した場合：4月1日～4月30日が4月度。

* 設定値03/28の場合かつ基準月に1を指定した場合：3月31日～4月29日が4月度。

-->

<cutOffDate>04/01</cutOffDate>

<!-- 作業実績/作業実績の基準月

* 省略できません

* 0か1を設定してください。

* 0を指定した場合、年度開始月日に設定した月を基準月とします。

* 1を指定した場合、年度開始月日に設定した翌月を基準月とします。

* 設定値0かつ年度開始月日に04/01を設定した場合：4月1日～4月30日が4月度。

* 設定値1かつ年度開始月日に03/21を設定した場合：3月21日～4月20日が4月度。

-->

<defaultMonth>0</defaultMonth>

<!-- 作業実績/対象年月の表示範囲(過去)

* 省略できません

* 0以上の整数を設定してください。

* 作業実績一覧にて表示できる期間(過去)を設定します。

* 設定値1の場合：システム日付を含む月の過去1ヶ月を表示する。

-->

<targetYMBefore>3</targetYMBefore>

<!-- 作業実績/対象年月の表示範囲(未来)

* 省略できません

* 0以上の整数を設定してください。

* 作業実績一覧にて表示できる期間(未来)を設定します。

* 設定値1の場合：システム日付を含む月の未来1ヶ月を表示する。

-->

<targetYMAfter>3</targetYMAfter>

<!-- 作業実績差分登録有無

* 省略できません

* 0か1を設定してください。

* 0を指定した場合、差分登録しない設定とします。

* 1を指定した場合、差分登録する設定とします。

-->

<dailyWorkDataDiffOutput>1</dailyWorkDataDiffOutput>**</defaultSetting>**

バージョン 2.0.4からアップデートを行う際の個別作業

設定ファイルの編集

バージョン 2.0.5で 会社個別の設定方法を変更しています。

会社個別の設定をしている場合は、以下を参考に設定ファイルの会社個別の設定を修正してください。
(詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイルについて](#)』を参照してください。)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<xxxSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/xxx">

  <defaultSetting>
    %全体の設定%
  </defaultSetting>

  <tenantSettings>

    <tenantSetting>
      <tenantId>%テナントID%</tenantId>
      <companySettings>

        <companySetting>
          <companyCd>%会社Aのコード値%</companyCd>
          <settings>
            %会社Aの設定%
          </settings>
        </companySetting>

        <companySetting>
          <companyCd>%会社Bのコード値%</companyCd>
          <settings>
            %会社Bの設定%
          </settings>
        </companySetting>

      </companySettings>

    </tenantSetting>

  </tenantSettings>
</xxxSettings>
```

BaseSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.5で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[ファイルタグの1 ファイルサイズ上限](#)を追加しています。

以下を参考にBaseSettings.xmlの設定を修正してください。
(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- ファイルタグの1 ファイルサイズ上限(KB)
0が指定された場合は上限なし。-->
<maxFileSize>0</maxFileSize>
</defaultSetting>
```

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.5で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターン](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。
(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)


```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- 勤務表（共通）ヘッダー集計値表示パターン（カスタマイズ用）
* 省略できません
* 1 勤務表に複数勤務体系がある場合の共通ヘッダー集計値表示パターンを設定します。<br />
* ※ガジェットクラス、ガジェットバリエーションを「_」で連結して設定します
-->

<workReportCommonHeaderSummaryPattern>workReportHeaderSummary_v01</workReportCommonHeaderSummaryPattern>

</defaultSetting>
```

ImwNumberingSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.5で案件番号採番処理の設定ファイルの配置場所を
「WEB-INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/product_workflow/ImwNumberingSettings.xml」から
「WEB-INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/extension_imw/ImwNumberingSettings.xml」に変更しました。

案件番号採番処理の設定を追加している場合は、
「WEB-INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/extension_imw/ImwNumberingSettings.xml」に設定を追加してください。

バージョン 2.0.5からアップデートを行う際の個別作業

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.6で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[作業実績時刻/時間数の入力単位](#)、[時刻表現方法（作業実績用）](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。
(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- 作業実績時刻/時間数の入力単位
* 省略できません
* 1,5,10,15,30をサポート
-->
<workTimeInputUnitForWorkPerformance>1</workTimeInputUnitForWorkPerformance>
... 略 ...
<!-- 時刻表現方法（作業実績用）※timestampの書式には影響しません
* 以下のいずれかを指定できます。
** "H99" : 24:00以降も「HH:MM」または「H:MM」と表現する
** "H24" : 24:00以降は「HH:MM」または「H:MM」に「+」を付与して表現する
-->
<timeFormatForWorkPerformance>H99</timeFormatForWorkPerformance>
</defaultSetting>
```

バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.7でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加しています。

GadgetBuilderで作成したガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートを実施してください。
詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)」-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照してください。

1. インポートするガジェットの定義ファイルを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置します。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。
2. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
3. ジョブネット一覧（画面左部）の「ガジェット」をクリックします。

ジョブネット管理

カテゴリ新規作成 ジョブネット新規作成 ジョブ管理 ジョブネットモニター

ジョブネット一覧

- ジョブ管理
- IM共通マスタ
- IM-Workflow
- Kaiden!
 - マスタ
 - エクスポート
 - インポート
 - 申請書マスタ
 - 権限設定
 - 金融機関
 - 従業員家族
 - ガジェット**
 - プロジェクト
 - 支払先
 - その他
 - レポート
 - 法人カード
 - ドキュメントデータ削除
 - ドキュメントデータインポート
- 勤務管理
- 経費精算・旅費精算
- テナントマスタ

ジョブネット情報

基本情報

ジョブネットカテゴリ	インポート	
ジョブネットID	kaiden-jobnet-master-import-gadget	
ジョブネット名	日本語	ガジェット
	英語	Gadget
	中国語 (中華人民共和国)	小工具
ジョブネットの説明		

実行時の情報

並列実行 ☒ 並列実行を許可する

実行ジョブ

ジョブID	ジョブ名
kaiden-job-master-import-gadget	ガジェット

実行パラメータ

キー	値
----	---

4. 「即時実行」をクリックします。

- 権限設定
- 金融機関
- 従業員家族
- ガジェット**
- プロジェクト
- 支払先
- その他
- レポート
- 法人カード
- ドキュメントデータ削除
- ドキュメントデータインポート
- 勤務管理
- 経費精算・旅費精算
- テナントマスタ

ジョブネットの説明

実行時の情報

並列実行 ☒ 並列実行を許可する

実行ジョブ

ジョブID	ジョブ名
kaiden-job-master-import-gadget	ガジェット

実行パラメータ

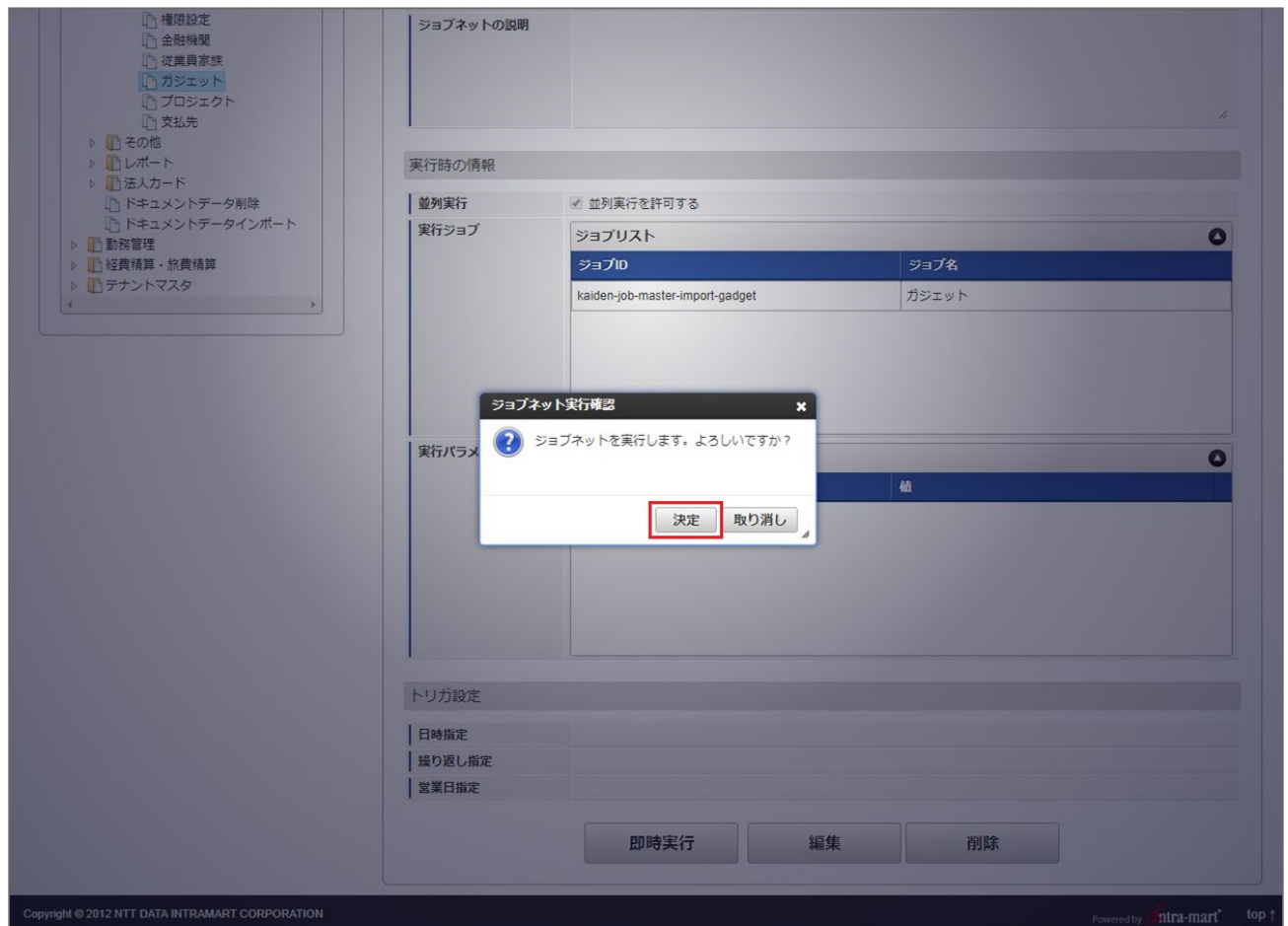
キー	値
----	---

トリガ設定

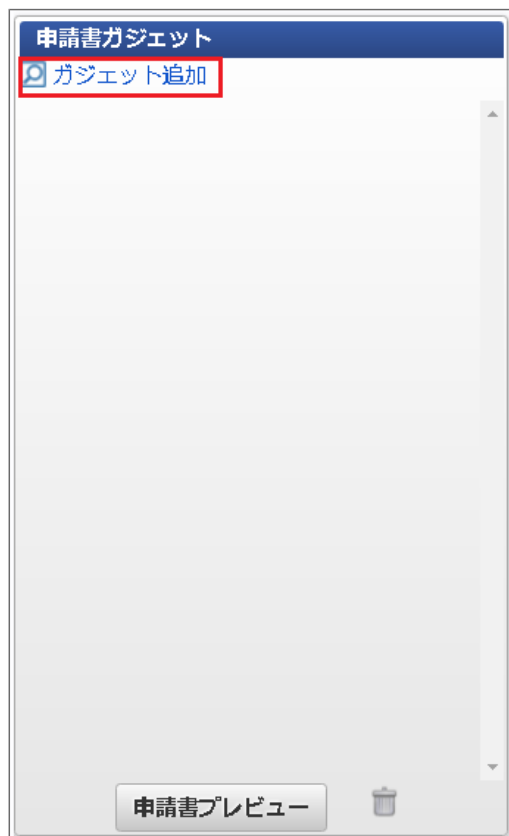
日時指定	
繰り返し指定	
営業日指定	

即時実行 編集 削除

5. 確認ポップアップの「決定」をクリックしてジョブネットを実行します。



6. 各コンテンツの申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録／更新画面の「ガジェット追加」リンクをクリックすると、インポートしたガジェットが表示されるので、必要なガジェットを追加してください。
- ガジェットクラス、ガジェットバリエーションが同一のガジェットが既に追加されている場合、ガジェットを削除して再度追加してください。
- 登録／更新画面の操作方法の詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / 管理者操作ガイド](#)』-「ワークフロー設定」-「コンテンツ定義」-「コンテンツバージョン設定時の操作方法」-「ガジェット設定」-「利用ガジェット設定」を参照してください。



！ 注意

インポートしたガジェットと、ガジェットクラス、ガジェットバリエーションが同一のガジェットが存在する場合、申請書マスタでガジェットを削除して再度追加すると、インポートしたガジェットがインポート前に存在したガジェットを上書きします。インポート前のガジェットを使用することができなくなりますので、注意してください。

i コラム

申請書マスタでガジェットを削除して再度追加すると、ガジェットの必須／任意設定等に初期値が登録されます。設定を変更している場合は、再度設定を行ってください。

i コラム

ファイル名が「master_」から始まるXMLは、インポート用のファイルではありません。インポートするファイルのみ、「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置してください。

バージョン 2.0.7からアップデートを行う際の個別作業

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.8でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加しています。
ガジェットを使用する場合、**ガジェットのインポート**を実施してください。

i コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

！ 注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

EkispertWebSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.8で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[JR 予約サービス](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールを利用している場合は、以下を参考にEkispertWebSettings.xmlの設定を修正してください。
(詳細は『[駅すばあと API設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- JR 予約サービス(省略可。省略された場合は、省略時はnoneを利用)
* 以下のいずれかを指定できます。
** exYoyaku          : E X 予約
** exETokkyu         : E X 予約( e 特急券)
** exHayatoku        : E X 予約( E X 早特)
** exHayatoku21      : E X 予約( E X 早特 2 1)
** exGreenHayatoku   : E X 予約( E X グリーン早特)
** smartEx           : スマート E X
** smartExHayatoku    : スマート E X( E X 早特)
** smartExHayatoku21  : スマート E X( E X 早特 2 1)
** smartExGreenHayatoku : スマート E X( E X グリーン早特)
** none              : 計算しない
-->
<jrreservation>none</jrreservation>
... 略 ...
</defaultSetting>
```

ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.8でintra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール設定に、[仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（組織）の設定](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールを利用している場合は、以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーに組織情報（組織セットコード・組織コード）を含めるか否かを設定します。
* 省略できません
* true(組織セットコード・組織コードを含む)、false(組織セットコード・組織コードを含めない)を設定します。
-->
<companyCdSetToAmountSummaryKey>true</companyCdSetToAmountSummaryKey>
... 略 ...
</defaultSetting>
```

バージョン 2.0.8からアップデートを行う際の個別作業

バージョン 2.0.8 ～ 2.0.8-PATCH_004からアップデートを行う際の個別作業

1. ガジェットのリポート

バージョン 2.0.9でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加しています。
ガジェットを使用する場合、**ガジェットのリポート**を実施してください。



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのリポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義リポート」を参照し、ガジェットをリポートしてください。



注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

2. ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.9で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[休日出勤](#)・[代休の有効期限](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
<!-- 休日出勤・代休の有効期限
* (値が省略された場合には有効期限は無限になります。)
*
* expiredType には、有効期限の算出方法を指定します
** "01": 発生当日を起算とした前後日数
** "02": 発生当日を起算とした前後月数
** "10": 発生した月（暦日）の前後月数
** "11": 発生した月（年度開始日を月初）の前後月数
** "20": 発生した締め期間の前後締め期間数
* 例
** expiredType ="01" 設定値:40
*** 取得当日の前後40日までが有効期間になります。
** expiredType ="02" 設定値:1
*** 取得当日の前後1ヶ月までが有効期間になります。
** expiredType ="10" 設定値:1
*** 取得当日の前月～翌月までが有効期間になります。（暦日で計算されます）
** expiredType ="11" 設定値:1
*** 取得当日の前月～翌月までが有効期間になります。（年度開始日を月初として計算されます）
*** ※ 年度開始が1日の場合は、expiredType ="10"と同様です。
** expiredType ="20" 設定値:1
*** 取得当日の前締め期間～翌締め期間までが有効期間になります。
*** ※ 締め期間が「月」の場合には、expiredType ="11"と同様です。
-->
<holidayWorkAndCompensationExpired expiredType="20">1</holidayWorkAndCompensationExpired>
</defaultSetting>
```

バージョン 2.0.9-PATCH_001で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード](#)、[休暇種別設定](#)を追加しています。



コラム

バージョン2.0.9へアップデートする場合、当手順は不要です。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

（詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。）

```
<defaultSetting>
<!-- 休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード
* 休暇管理マスタで調整後時間数を編集可能にしたい項目コードを指定します。
* カンマ区切りで複数指定が可能です。
-->
<leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>1</leaveManagementAdjustHoursAuthEdit>

<!-- 休暇種別設定
* 省略できません
* 子の看護等休暇と介護休暇に紐づく項目マスタの項目IDと休暇付与対象を設定します。
* leaveType : 休暇種別ごとにタグを設定します。
* division : 休暇種別区分を指定します。下記のいずれかのみ指定可能です。
** CHILD_NURSE : 子の看護等休暇
** CARE : 介護休暇
* itemId : 子の看護等休暇、介護休暇に紐づく項目ID（項目区分コード + "-" + 項目コード）を指定します。
* exclusion : 休暇の付与対象から除外するかどうかを指定します。true:除外する、false:除外しない
* true:除外を指定した場合、休暇管理マスタにおける休暇日数の付与は行えません。
-->
<leaveTypeSettings>
<leaveTypeSetting>
<division>CHILD_NURSE</division>
<itemId></itemId>
<exclusion>>false</exclusion>
</leaveTypeSetting>
<leaveTypeSetting>
<division>CARE</division>
<itemId></itemId>
<exclusion>>false</exclusion>
</leaveTypeSetting>
</leaveTypeSettings>
</defaultSetting>
```

バージョン 2.0.9-PATCH_001で タイムスタンプ設定に、[画像データの最低画素数](#)を追加しています。



コラム

バージョン2.0.9へアップデートする場合、当手順は不要です。

intra-mart Accel Kaiden! DataDelivery連携モジュール を利用している場合は、以下を参考にTimestampSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[タイムスタンプ設定](#)』を参照してください。)

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no" ?>
<timestampSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/timestampSettings">
  <defaultSettings>
    <!-- 画像データの最低画素数 -->
    <image_pixel>3867052</image_pixel>
  </defaultSettings>
</timestampSettings>
```

バージョン 2.0.8-PATCH_004からアップデートを行う際の必須作業



注意

当作業はバージョン 2.0.8-PATCH_004からアップデートを行う際に必ず行う必要があります。
またテナント環境セットアップを行う前に実施してください。



注意

2.0.8-PATCH_004以外のバージョンからアップデートを行う場合、当手順は不要です。

1. 初期データインポート用SQLの編集

利用するデータベースに合わせて、次のいずれかのDDLを編集します。

編集対象のSQLファイルは以下の2箇所に格納しています

格納先パス

%Warファイル展開先%/WEB-INF/storage/system/products/import/basic/kaiden_product_labormgr/209

%システムストレージ%/products/import/basic/kaiden_product_labormgr/209



注意

当作業でファイルの削除は行わないでください。

■ PostgreSQL

ファイル名 ddl_postgre.sql

SQLファイルから下記のSQL文を削除します。

(4行目～8行目)

```
... 略 ...

alter table k31m_ws_agreement_att add work_status_default_flag varchar(1) not null default 0;

alter table k31t_work_record add compensation_date timestamp without time zone;

alter table k31t_work_record add holiday_work_date timestamp without time zone;

... 略 ...
```

(341行目～395行目)

... 略 ...

```
create table k31m_ws_mapping (
  company_cd varchar(100) not null,
  ws_agreement_cd varchar(100) not null,
  compensation_ws_cd varchar(20) not null,
  term_cd varchar(50) not null,
  start_date timestamp without time zone not null,
  end_date timestamp without time zone not null,
  sort_key numeric(15,0) not null,
  delete_flag varchar(1) not null,
  extension_a varchar(1000),
  extension_b varchar(1000),
  extension_c varchar(1000),
  extension_d varchar(1000),
  extension_e varchar(1000),
  extension_f varchar(1000),
  extension_g varchar(1000),
  extension_h varchar(1000),
  extension_i varchar(1000),
  extension_j varchar(1000),
  entry_ts timestamp without time zone not null,
  entry_user_cd varchar(100) not null,
  renew_cnt numeric(18,0) not null,
  renew_ts timestamp without time zone not null,
  renew_user_cd varchar(100) not null
);

alter table k31m_ws_mapping add constraint pk_k31m_ws_mapping primary key
(company_cd,ws_agreement_cd,compensation_ws_cd,term_cd);
```

```
create table k31m_ws_mapping_dtl (
  company_cd varchar(100) not null,
  ws_agreement_cd varchar(100) not null,
  compensation_ws_cd varchar(20) not null,
  term_cd varchar(50) not null,
  tuple_id numeric(18,0) not null,
  row_number numeric(18,0) not null,
  holiday_ws_cd varchar(20) not null,
  extension_a varchar(1000),
  extension_b varchar(1000),
  extension_c varchar(1000),
  extension_d varchar(1000),
  extension_e varchar(1000),
  extension_f varchar(1000),
  extension_g varchar(1000),
  extension_h varchar(1000),
  extension_i varchar(1000),
  extension_j varchar(1000),
  entry_ts timestamp without time zone not null,
  entry_user_cd varchar(100) not null,
  renew_cnt numeric(18,0) not null,
  renew_ts timestamp without time zone not null,
  renew_user_cd varchar(100) not null
);

alter table k31m_ws_mapping_dtl add constraint pk_k31m_ws_mapping_dtl primary key
(company_cd,ws_agreement_cd,compensation_ws_cd,term_cd,tuple_id);
```

▪ Oracle Database

ファイル名 ddl_oracle.sql

SQLファイルから下記のSQL文を削除します。
(4行目～8行目)

... 略 ...

```
alter table k31m_ws_agreement_att add (work_status_default_flag varchar2(1) default 0 not null);
```

```
alter table k31t_work_record add (compensation_date timestamp);
```

```
alter table k31t_work_record add (holiday_work_date timestamp);
```

... 略 ...

(342行目～396行目)

... 略 ...

```
create table k31m_ws_mapping (
  company_cd varchar2(100) not null,
  ws_agreement_cd varchar2(100) not null,
  compensation_ws_cd varchar2(20) not null,
  term_cd varchar2(50) not null,
  start_date timestamp not null,
  end_date timestamp not null,
  sort_key numeric(15,0) not null,
  delete_flag varchar2(1) not null,
  extension_a varchar2(1000),
  extension_b varchar2(1000),
  extension_c varchar2(1000),
  extension_d varchar2(1000),
  extension_e varchar2(1000),
  extension_f varchar2(1000),
  extension_g varchar2(1000),
  extension_h varchar2(1000),
  extension_i varchar2(1000),
  extension_j varchar2(1000),
  entry_ts timestamp not null,
  entry_user_cd varchar2(100) not null,
  renew_cnt numeric(18,0) not null,
  renew_ts timestamp not null,
  renew_user_cd varchar2(100) not null
);
```

```
alter table k31m_ws_mapping add constraint pk_k31m_ws_mapping primary key
(company_cd,ws_agreement_cd,compensation_ws_cd,term_cd);
```

```
create table k31m_ws_mapping_dtl (
  company_cd varchar2(100) not null,
  ws_agreement_cd varchar2(100) not null,
  compensation_ws_cd varchar2(20) not null,
  term_cd varchar2(50) not null,
  tuple_id numeric(18,0) not null,
  row_number numeric(18,0) not null,
  holiday_ws_cd varchar2(20) not null,
  extension_a varchar2(1000),
  extension_b varchar2(1000),
  extension_c varchar2(1000),
  extension_d varchar2(1000),
  extension_e varchar2(1000),
  extension_f varchar2(1000),
  extension_g varchar2(1000),
  extension_h varchar2(1000),
  extension_i varchar2(1000),
  extension_j varchar2(1000),
  entry_ts timestamp not null,
  entry_user_cd varchar2(100) not null,
  renew_cnt numeric(18,0) not null,
  renew_ts timestamp not null,
  renew_user_cd varchar2(100) not null
);
```

```
alter table k31m_ws_mapping_dtl add constraint pk_k31m_ws_mapping_dtl primary key
(company_cd,ws_agreement_cd,compensation_ws_cd,term_cd,tuple_id);
```

- **Microsoft SQL Server**

ファイル名 ddl_sqlserver.sql

SQLファイルから下記のSQL文を削除します。
(4行目～8行目)

```
... 略 ...  
  
alter table k31m_ws_agreement_att add work_status_default_flag nvarchar(1) not null default 0;  
  
alter table k31t_work_record add compensation_date datetime2;  
  
alter table k31t_work_record add holiday_work_date datetime2;  
  
... 略 ...
```

(341行目～395行目)

... 略 ...

```
create table k31m_ws_mapping (
  company_cd nvarchar(100) not null,
  ws_agreement_cd nvarchar(100) not null,
  compensation_ws_cd nvarchar(20) not null,
  term_cd nvarchar(50) not null,
  start_date datetime2 not null,
  end_date datetime2 not null,
  sort_key numeric(15,0) not null,
  delete_flag nvarchar(1) not null,
  extension_a nvarchar(1000),
  extension_b nvarchar(1000),
  extension_c nvarchar(1000),
  extension_d nvarchar(1000),
  extension_e nvarchar(1000),
  extension_f nvarchar(1000),
  extension_g nvarchar(1000),
  extension_h nvarchar(1000),
  extension_i nvarchar(1000),
  extension_j nvarchar(1000),
  entry_ts datetime2 not null,
  entry_user_cd nvarchar(100) not null,
  renew_cnt numeric(18,0) not null,
  renew_ts datetime2 not null,
  renew_user_cd nvarchar(100) not null
);

alter table k31m_ws_mapping add constraint pk_k31m_ws_mapping primary key
(company_cd,ws_agreement_cd,compensation_ws_cd,term_cd);
```

```
create table k31m_ws_mapping_dtl (
  company_cd nvarchar(100) not null,
  ws_agreement_cd nvarchar(100) not null,
  compensation_ws_cd nvarchar(20) not null,
  term_cd nvarchar(50) not null,
  tuple_id numeric(18,0) not null,
  row_number numeric(18,0) not null,
  holiday_ws_cd nvarchar(20) not null,
  extension_a nvarchar(1000),
  extension_b nvarchar(1000),
  extension_c nvarchar(1000),
  extension_d nvarchar(1000),
  extension_e nvarchar(1000),
  extension_f nvarchar(1000),
  extension_g nvarchar(1000),
  extension_h nvarchar(1000),
  extension_i nvarchar(1000),
  extension_j nvarchar(1000),
  entry_ts datetime2 not null,
  entry_user_cd nvarchar(100) not null,
  renew_cnt numeric(18,0) not null,
  renew_ts datetime2 not null,
  renew_user_cd nvarchar(100) not null
);

alter table k31m_ws_mapping_dtl add constraint pk_k31m_ws_mapping_dtl primary key
(company_cd,ws_agreement_cd,compensation_ws_cd,term_cd,tuple_id);
```

2. intra-mart スキーマバージョンの更新

利用するデータベースにUpdate文を実行します。

```
update im_schema_update set schema_version = 12 where module_id = 'kaiden_product_labormgr';
```

バージョン 2.0.9からアップデートを行う際の個別作業

1. ガジェットの入ポート

バージョン 2.0.10でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加しています。

ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートを実施してください。



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。



注意

注意点は [バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#) を参照してください。

2. ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.10で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定の、[平均値算出時のスケール](#)に設定可能な値を追加しています。

必要に応じて設定値を変更してください。

作業手順は「[平均値算出時のスケール](#)」の「ProductLabormgrSettings.xmlの編集」を参照ください。

バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業

1. ガジェットのインポート

バージョン 2.0.11でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加しています。

GadgetBuilderで作成したガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートを実施してください。

詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照してください。

また、注意点は [バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#) を参照してください。



コラム

ProductWorkflowSettings.xmlの編集で「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」に対象バージョンを設定した場合はインポート不要です。

ProductWorkflowSettings.xmlを上記のとおり編集した場合でも、パブリックストレージに配置したGadgetBuilder定義は自動的に更新されません。

パブリックストレージにGadgetBuilder定義を配置している場合、システムストレージからアップデート後に展開されたファイルを取得し、パブリックストレージに上書きしてください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」に空文字を設定した場合は個別にインポートを実施してください。

2. ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.11で intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール モジュール設定に、[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)、[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)を追加しています。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。

* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。

* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。

-->

<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.11</gadgetInitImportTargetVersion>

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。

* 省略できません

* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。

-->

<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>

</defaultSettings>



注意

初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定、初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定はテナント環境セットアップを行う前に実施してください。



注意

標準のJSP版ガジェットまたはGadgetBuilder版ガジェットを既に利用している場合は初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定に空文字を設定してください。

初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定に対象バージョンを設定した場合、標準のGadgetBuilder版ガジェットへ置き換えられるため、利用中のガジェットの設定が変更されます。



注意

標準のJSP版ガジェットまたはGadgetBuilder版ガジェットを既に利用している場合は初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定にfalseを設定してください。

初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定にtrueを設定した場合、標準のGadgetBuilder版コンテンツへ置き換えられるため、利用中のコンテンツの設定が変更されます。



コラム

ProductWorkflowSettings.xmlを上記のとおり編集した場合でも、パブリックストレージに配置したGadgetBuilder定義は自動的に更新されません。

パブリックストレージにGadgetBuilder定義を配置している場合、システムストレージからパッチ適用後に展開されたファイルを取得し、パブリックストレージに上書きしてください。

「初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定」に空文字を設定した場合は個別にインポートを実施してください。

3. JournalExportSettings.xmlの移動

バージョン 2.0.11で仕訳出力設定ファイルをパブリックストレージにコピーしています。

仕訳出力ジョブを実行時にコピー先に設定ファイルが存在しない場合、コピー元の設定ファイルが読み込まれます。

コピー元パス

```
%Warファイル展開先%/WEB-INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/product_workflow/foundation/model/xml_schema/journal_export_settings
```

コピー先パス

```
%パブリックストレージ%/kaiden/settings/default/JournalExportSettings
```



コラム

仕訳出力設定ファイルは会社毎に設定ファイルを指定することができます。

会社毎に設定ファイルを指定する場合、パブリックストレージに以下の通り設定ファイルを配置してください。

格納先

```
%パブリックストレージ%/kaiden/settings/%会社コード%/JournalExportSettings
```

4. SalaryDataExportSettings.xmlの移動

バージョン 2.0.11で給与計算基礎データ出力設定ファイルをパブリックストレージにコピーしています。

給与計算基礎データ出力を実行時にコピー先に設定ファイルが存在しない場合、コピー元の設定ファイルが読み込まれます。

コピー元パス

```
%Warファイル展開先%/WEB-INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/product_labormgr/foundation/model/xml_schema/salary_data_export
```

コピー先パス

```
%パブリックストレージ%/kaiden/settings/default/SalaryDataExportSettings
```



コラム

給与計算基礎データ出力設定ファイルは会社毎に設定ファイルを指定することができます。
会社毎に設定ファイルを指定する場合、パブリックストレージに以下の通り設定ファイルを配置してください。

格納先

%パブリックストレージ%/kaiden/settings/%会社コード%/salary_data_export

5. ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.11-PATCH_002で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否か](#)を追加しています。



コラム

バージョン2.0.11へアップデートする場合、手順は不要です。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否かを設定します。

* 省略できません

* true(切り崩す)、false(切り崩さない)を設定します。

-->

<cutDownRemainingHalfDay>true</cutDownRemainingHalfDay>

</defaultSetting>

バージョン 2.0.12からアップデートを行う際の個別作業



注意

アーカイブモジュールを使用する場合、「[アーカイブモジュール利用時の注意](#)」も併せて参照ください。
intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー を使用する場合、アーカイブモジュールの選択が必要です。



注意

アーカイブモジュールを使用しない場合、下記モジュールの選択を解除してください。

また、アーカイブモジュールの選択を解除してください。

下記モジュールを解除するとエラーメッセージが表示される場合、Kaiden!以外のモジュールが解除したモジュールに依存しています。

エラーメッセージをクリックして、「依存関係の解決」画面で「OK」をクリックし必要なモジュールを追加してください。

- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > ANTLR
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > AOP Alliance
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > Apache Commons Digester
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > Apache Commons Validator
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > Apache POI - 3.2.0
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > Seasar2
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > Apache Struts
- ライブラリ > サードパーティー製ライブラリ > SAStruts
- ライブラリ > intra-mart製ライブラリ > Seasar2連携モジュール
- 開発フレームワーク > SAStruts Framework on Accel Platform

アーカイブモジュールを使用しないがSAStruts+S2JDBCフレームワークを利用する場合、「app.dicon」から「kaiden.dicon」または「kaiden_module.dicon」の include を削除してください。
「app.dicon」については、「[app.dicon](#)」を参照してください。

1. ミドルウェアの設定

『[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)』 - 「ミドルウェアのセットアップ」 - 「Web Application Server」 - 「Resinの設

定」を参照してResinにTERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)を使用する場合の設定を実施してください。

2. 追加リソースの追加

「プロジェクトの作成とモジュールの選択」を参照してTERASOLUNA Server Framework for Java (5.x)の追加リソースを追加してください。

3. applicationContext-kaiden_common.xml

「applicationContext-kaiden_common.xml」を参照してapplicationContext-kaiden_common.xmlを作成してください。

4. ProductWorkflowSettings.xmlの編集

「初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定」の設定を「2.0.13」に変更してください。

「初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『モジュール設定』を参照してください。)

また、注意点はバージョン 2.0.10 からアップデートを行う際の個別作業の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。

* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。

* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。

-->

<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.13</gadgetInitImportTargetVersion>

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するかどうかを設定します。

* 省略できません

* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。

-->

<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>

</defaultSettings>

5. RouteSearchSettings.xmlの編集（※経路検索を利用している場合のみ）

経路検索を利用している場合「経路検索用アクションクラス」の設定を「kaiden/v2/route/ekispertWeb」に変更してください。

以下を参考にRouteSearchSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『経路検索設定』を参照してください。)

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 経路検索用アクションクラス -->

<actionClass>kaiden/v2/route/ekispertWeb</actionClass>



コラム

アーカイブモジュールに含まれる経路検索用アクションクラスを使用する場合は変更不要です。

6. ジョブの再設定

独自に作成したジョブで、標準機能の実行プログラムを定義している場合、実行プログラムを変更してください。

初期データでインポートされるジョブはセットアップ時に更新します。

独自に初期データでインポートされるジョブの実行プログラムを設定したジョブを追加している場合、左記ジョブの実行プログラムを確認してください。

または、「jp.co.slcs.kaiden2.」の部分を「jp.co.slcs.kaiden.v2」に変更してください。

7. メニューの再設定

独自に作成したメニューで、標準機能のURLを定義している場合、URLを変更してください。

初期データでインポートされるメニューはセットアップ時に更新します。

独自に初期データでインポートされるメニューのURLを設定したメニューを追加している場合、左記メニューのURLを確認してください。

または、「kaiden/」の部分を「kaiden/v2/」に変更してください。

8. ポートレットの再設定

独自に作成したポートレットで、標準機能のページパスを定義している場合、ページパスを変更してください。

初期データでインポートされるポートレットはセットアップ時に更新します。

独自に初期データでインポートされるポートレットのページパスを設定したポートレットを設定している場合、左記ポートレットのページパスを確認してください。

または、「kaiden/」の部分を「kaiden/v2/」に変更してください。

9. 申請書マスタメンテナンスの再設定

バージョン2.0.13でガジェットの定義を変更しています。

初期データとしてインポートされるコンテンツ定義は、セットアップ時に変更済みの定義に更新します。

独自に作成したコンテンツ定義は、申請書マスタ（コンテンツ定義）メンテナンス画面で、更新してください。

更新方法は、「[申請書マスタメンテナンスの再設定](#)」を参照してください。



コラム

更新の際に、各ガジェットの必須／任意設定等がリセットされますので、再度設定を行ってください。



注意

アップデート前に作成したコンテンツをバージョン2.0.13(SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデル)に入れ替える場合、IM-Workflowのコンテンツ定義編集画面で、コンテンツ定義のユーザプログラムの「jp.co.slcs.kaiden2」の箇所を「jp.co.slcs.kaiden.v2」に変更してください。
申請書マスタから、ユーザプログラムをSpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルに更新することはできません。

10. intra-mart スキーマバージョンの更新

バージョン2.0.12-PATCH_005以降の環境からアップデートする場合、実施してください。

バージョン2.0.12-PATCH_004以前の環境からアップデートする場合、不要です。

利用するデータベースにUpdate文を実行します。

```
update im_schema_update set schema_version = 21 where module_id = 'kaiden_product_workflow';
```

バージョン 2.0.13からアップデートを行う際の個別作業

1. ProductWorkflowSettings.xmlの編集

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」の設定を「2.0.14」に変更してください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

（詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。）

また、注意点は[バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業](#)の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。

* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。

* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。

-->

<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.14</gadgetInitImportTargetVersion>

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。

* 省略できません

* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。

-->

<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>

</defaultSettings>

2. intra-mart スキーマバージョンの更新

バージョン2.0.13-PATCH_003以降の環境からアップデートする場合、実施してください。

バージョン2.0.13-PATCH_002以前の環境からアップデートする場合、不要です。

利用するデータベースにUpdate文を実行します。


```
update im_schema_update set schema_version = 20 where module_id = 'kaiden_base';
update im_schema_update set schema_version = 23 where module_id = 'kaiden_product_workflow';
```

バージョン 2.0.14からアップデートを行う際の個別作業

1. RouteSearchSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.15で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[経路検索用コントローラークラス](#)を追加しています。

また、intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定の、[経路検索用アクションクラス](#)の初期値を変更しました。

以下を参考にRouteSearchSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[経路検索設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 経路検索用アクションクラス -->
<actionClass>kaiden/route/ekispertWeb</actionClass>
<!-- 経路検索用コントローラークラス -->
<controllerClass>kaiden/v2/route/ekispertWeb</controllerClass>
</defaultSettings>
```

2. EkispertWebSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.15で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[探索種別](#)、[優先乗車券](#)、[検索結果表示](#)、[座席種別等変更可否](#)、[座席種別等変更時再読み込み有無](#)を追加しています。

以下を参考にEkispertWebSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[駅すばあと API設定](#)』を参照してください。)

```

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 探索種別(省略可。省略された場合は、省略時はplainになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** plain    : 平均待ち時間探索
** dia      : ダイア探索
** departure : 出発時刻探索
** arrival  : 到着時刻探索
** firstTrain : 始発電車探索
** lastTrain : 最終電車探索
-->

<searchType>plain</searchType>
<!-- 優先乗車券(省略可。省略された場合は、省略時はnoneか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** none     : 指定なし
** normal   : 普通乗車券
** ic       : ICカード乗車券
** cheap    : 安い乗車券
-->

<preferredTicketOrder>none</preferredTicketOrder>
<!-- 検索結果表示(省略可。省略時はfalseになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true     : 一覧表示
** false    : 経路表示
-->

<courseList>false</courseList>
<!-- 座席種別等変更可否(省略可。省略時はfalseになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true     : 変更可
** false    : 変更不可
-->

<priceChange>false</priceChange>
<!-- 座席種別等変更時再読み込み有無(省略可。省略時はfalseになります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true     : 再読み込み
** false    : 再読み込みしない
-->

<priceChangeRef>false</priceChangeRef>
</defaultSettings>

```

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.15でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加・変更しています。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポート後に**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 日当明細
- 事前・精算書検索
- 添付ファイルチェック
- ファイル明細
- ファイル明細(汎用)



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「設定の流れ」-「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。



注意

注意点はバージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業を参照してください。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートは不要ですが、**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 経費明細
- 宿泊明細
- 旅程明細
- 費用振替明細



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の再配置

「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」にガジェットの定義ファイルを配置している場合、「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置されているファイルを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置します。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。

バージョン 2.0.15からアップデートを行う際の個別作業

1. ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.16で intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール モジュール設定に、[仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キー（プロジェクト）の設定](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールを利用している場合は、以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

（詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。）

<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 仕訳出力時の未払金集約（金額相殺）キーにプロジェクト情報（プロジェクトコード）を含めるか否かを設定します。

*** 省略できません**

*** true(プロジェクトコードを含む)、false(プロジェクトコードを含めない)を設定します。**

-->

<projectCdSetToAmountSummaryKey>true</projectCdSetToAmountSummaryKey>

... 略 ...

</defaultSetting>

2. ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.16で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[振替出勤時に振替休日を必須入力にするか否か、代休時に休日出勤を必須入力にするか否か](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

（詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。）

```
<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 振替出勤時に振替休日必須入力にするか否かを設定します。
* 省略できません
*
* true(振替休日を必須入力)、false(振替休日を任意入力)を設定します。
-->
<substituteWorkInputHolidayRequired>>false</substituteWorkInputHolidayRequired>
<!-- 代休時に休日出勤を必須入力にするか否かを設定します。
* 省略できません
*
* true(休日出勤を必須入力)、false(休日出勤を任意入力)を設定します。
-->
<compensationInputHolidayWorkRequired>>false</compensationInputHolidayWorkRequired>
</defaultSetting>
```

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.16でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加・変更しています。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポート後に**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 旅程明細（簡易, 連携）（カード形式）
- 経費明細（カード形式）
- 請求書払情報（源泉徴収額あり）
- 請求書払明細（源泉徴収額なし）
- カレンダー検索(Microsoft 365)
- ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2：GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。



注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートは不要ですが、**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 旅程明細
- 旅程明細（複数通貨）
- 旅程明細（簡易）
- 旅程明細（複数通貨, 簡易）
- 旅程明細（連携）
- 旅程明細（複数通貨, 連携）
- 旅程明細（予算）自動引当
- 旅程明細（予算）手動引当
- 旅程明細（簡易, 連携）
- 旅程明細（複数通貨, 簡易, 連携）
- 経費明細
- 経費明細（複数通貨）
- 経費明細（簡易）
- 経費明細（複数通貨, 簡易）
- 経費明細（連携）

- 経費明細（複数通貨, 連携）
- 経費明細（予算）自動引当
- 経費明細（予算）手動引当
- 宿泊明細
- 宿泊明細（複数通貨）
- 宿泊明細（簡易）
- 宿泊明細（複数通貨, 簡易）
- 宿泊明細（連携）
- 宿泊明細（複数通貨, 連携）
- 宿泊明細（予算）自動引当
- 宿泊明細（予算）手動引当
- 請求書払明細
- 請求書払明細（予算）自動引当
- 請求書払明細（予算）手動引当
- 請求書払明細（外貨支払）
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当
- ファイル明細
- ファイル明細（汎用）



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の再配置

「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」にガジェットの定義ファイルを配置している場合、「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置されているファイルを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置します。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。

バージョン 2.0.16からアップデートを行う際の個別作業

1. ExtensionImwSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.17で intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール モジュール設定に、[申請画面等の入力履歴の差分表示ボタン表示有無](#)、[申請画面等の戻るボタン押下時の確認ダイアログ表示有無](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュールを利用している場合は、以下を参考にExtensionImwSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 申請画面等で入力した履歴の差分を表示ボタンを表示するか否かを設定します。

* 省略できません

** 0 : 入力履歴差分表示ボタンを非表示とする

** 1 : 入力履歴差分表示ボタンを表示し、ボタン押下時に入力履歴の差分表示を行う

-->

<differenceDispFlag>0</differenceDispFlag>

<!-- 申請画面等の戻るボタン押下時に確認ダイアログを表示するか否かを設定します。

* 省略できません

** 0 : 戻る確認ダイアログを非表示とする

** 1 : 戻る確認ダイアログを表示する

* 戻るボタン押下時に確認ダイアログが表示される画面は申請、一時保存、起票、再申請、承認（入力あり）です。

-->

<returnConfirmDispFlag>0</returnConfirmDispFlag>

</defaultSetting>

2. ProductWorkflowSettings.xmlの編集

「初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定」の設定を「2.0.17」に変更してください。

「初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

また、注意点はバージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

```
<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。
* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。
* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。
-->
<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.17</gadgetInitImportTargetVersion>
<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。
* 省略できません
* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。
-->
<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>
</defaultSettings>
```

3. ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.17で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[在宅勤務時間必須チェック有無](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 在宅勤務時間必須チェック有無
* 省略できません
*
* 勤務表で在宅チェックONかつ在宅以外の内訳がチェックONの場合に在宅勤務時間の必須チェック有無を設定します。
* true(必須チェック有り)、false(必須チェック無し)を設定します。
* ※false(必須チェック無し)の場合の注意点
** 在宅勤務時間が未入力の場合、集計値「日次宅勤務時間」に「日次実労働時間(実態)」が設定されます。
** そのため、本設定をfalse(必須チェック無し)にした場合は在宅勤務時間や在宅勤務率を正確に把握できなくなります。
-->
<requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>true</requiredCheckOnWorkHoursFromHomeMin>
</defaultSetting>
```

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.17でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加・変更しています。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポート後に**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 請求書払情報（予算連携）
- 請求書払情報（外貨支払, 予算連携）
- 請求書払情報（予算連携（単一選択））
- 請求書払情報（外貨支払, 予算連携（単一選択））
- 予算連携（単一選択）
- 予算実績連携（単一選択）
- 予算手動引当ロック解除
- 費用振替明細
- 費用振替明細（予算）自動引当
- 費用振替明細（予算）手動引当
- 費用振替明細（予算一括）
- ファイル検索
- 経路検索（個人設定）



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。



注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートは不要ですが、**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 旅程明細
- 旅程明細（複数通貨）
- 旅程明細（簡易）
- 旅程明細（複数通貨, 簡易）
- 旅程明細（連携）
- 旅程明細（複数通貨, 連携）
- 旅程明細（予算）自動引当
- 旅程明細（予算）手動引当
- 旅程明細（簡易, 連携）
- 旅程明細（複数通貨, 簡易, 連携）
- 旅程明細（簡易, 連携）（カード形式）
- 経費明細
- 経費明細（複数通貨）
- 経費明細（簡易）
- 経費明細（複数通貨, 簡易）
- 経費明細（連携）
- 経費明細（複数通貨, 連携）
- 経費明細（予算）自動引当
- 経費明細（予算）手動引当
- 経費明細（カード形式）
- 宿泊明細
- 宿泊明細（複数通貨）
- 宿泊明細（簡易）
- 宿泊明細（複数通貨, 簡易）
- 宿泊明細（連携）
- 宿泊明細（複数通貨, 連携）
- 宿泊明細（予算）自動引当
- 宿泊明細（予算）手動引当
- 請求書払明細
- 請求書払明細（予算）自動引当
- 請求書払明細（予算）手動引当
- 請求書払明細（外貨支払）
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当
- 請求書払明細（源泉徴収額なし）
- 予算連携
- 予算実績連携
- ファイル明細
- ファイル明細（汎用）
- フォーム付PDF



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の再配置

「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」にガジェットの定義ファイルを配置している場合、「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置されているファイルを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置します。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。

パッチ

- パッチの適用は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[パッチの適用](#)」を参照してください。
- パッチ版を適用前に環境を構築している場合、次の個別作業が必要です。

パッチ

- パッチの適用は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」 - 「[パッチの適用](#)」を参照してください。
- パッチ版を適用前に環境を構築している場合、次の個別作業が必要です。

バージョン 2.0.8にパッチを適用する際の個別作業

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.8-PATCH_004で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[休日出勤・代休の有効期限](#)、[休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード](#)、[休暇種別設定](#)を追加しています。

2.0.8～2.0.8-PATCH_003に2.0.8-PATCH_004以降のパッチを適用する場合、設定ファイルに項目を追加してください。

作業手順は「[休日出勤・代休の有効期限](#)」、「[休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード](#)」、「[休暇種別設定](#)」の「ProductLabormgrSettings.xmlの編集」を参照ください。

バージョン 2.0.9にパッチを適用する際の個別作業

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.9-PATCH_001で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード](#)、[休暇種別設定](#)を追加しています。

作業手順は「[休暇管理マスタ調整後時間数編集可能項目コード](#)」、「[休暇種別設定](#)」の「ProductLabormgrSettings.xmlの編集」を参照ください。

TimestampSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.9-PATCH_001で タイムスタンプ設定に、[画像データの最低画素数](#)を追加しています。

作業手順は「[画像データの最低画素数](#)」の「TimestampSettings.xmlの編集」を参照ください。

バージョン 2.0.11にパッチを適用する際の個別作業

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.11-PATCH_002で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否か](#)を追加しています。

作業手順は「[有給休暇の残0.5日を時間年休に切り崩すか否か](#)」の「ProductLabormgrSettings.xmlの編集」を参照ください。

バージョン 2.0.12にパッチを適用する際の個別作業

ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.12-PATCH_002～2.0.13-PATCH_004で標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義を更新したい場合、「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」の設定を変更してください。

— intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド 第31版 2025-06-30

バージョン 2.0.12-PATCH_002、2.0.12-PATCH_003を適用する場合、「2.0.12-PATCH_002」を、バージョン 2.0.12-PATCH_004を適用する場合、「2.0.12-PATCH_004」を、バージョン 2.0.12-PATCH_005を適用する場合、「2.0.12-PATCH_005」を設定してください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

また、注意点は[バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業](#)の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。

* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。

* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。

-->

<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.12-PATCH_005</gadgetInitImportTargetVersion>

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。

* 省略できません

* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。

-->

<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>

</defaultSettings>

EkispertWebSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.12-PATCH_005で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[オフピーク定期](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールを利用している場合は、以下を参考にEkispertWebSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[駅すばあと API設定](#)』を参照してください。)

<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- オフピーク定期(省略可。省略された場合は、省略時はfalseか、detailの値となります。)

* 以下のいずれかを指定できます。

** true :計算する

** false :計算しない

-->

<offpeakteiki>>false</offpeakteiki>

... 略 ...

</defaultSetting>

項目マスタの確認

バージョン 2.0.12-PATCH_005で項目マスタの項目区分が「納品/請求区分」、項目コードが「RETINVOICE」の項目を追加します。

同じ項目区分、項目コードの項目が登録されているか確認してください。

登録されている場合、削除して異なる項目コードの項目として登録しなおしてからパッチを適用してください。

SQLの実行

バージョン 2.0.12-PATCH_005でテーブルへのカラム追加、テーブル追加、データの追加を実施しています。

初期データセットアップ時に上記を実施しないため、利用するデータベースにSQLを実行してください。

■ PostgreSQL

基盤モジュールを使用する場合、次のSQL文を実行します。

```
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values ('EkispertWebSettings', 'offpeakteiki', 'en', 'off-peak commuter pass', 'false', '1', '1', 'text',
null, null, 43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'),
'system', 1, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system');
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values ('EkispertWebSettings', 'offpeakteiki', 'ja', 'オフピーク定期', 'false', '1', '1', 'text', null, null, 43,
null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', 1,
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system');
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values ('EkispertWebSettings', 'offpeakteiki', 'zh_CN', '非高峰通勤票', 'false', '1', '1', 'text', null, null,
43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system',
1, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system');
alter table k10m_ekispert_web add cnd_offpeak_teiki varchar(100);
alter table k10m_ekispert_web add dsp_offpeak_teiki varchar(10);
```

ワークフローモジュールを使用する場合、次のSQL文を実行します。

```

insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300010-RETINVOICE', 'en', '300010', 'RETINVOICE', 'Return Invoice', '999', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300010-RETINVOICE', 'ja', '300010', 'RETINVOICE', '返還請求書', '999', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300010-RETINVOICE', 'zh_CN', '300010', 'RETINVOICE', '退票', '999', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300015-OTHERS', 'en', '300015', 'OTHERS', 'Others', '3', '0', to_timestamp('2023-
06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'),
'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300015-OTHERS', 'ja', '300015', 'OTHERS', 'その他', '3', '0', to_timestamp('2023-
06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'),
'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300015-OTHERS', 'zh_CN', '300015', 'OTHERS', '其他的', '3', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system');
alter table k30t_decision_advstl add application_balance numeric(28,10);
alter table ka30t_decision_advstl add application_balance numeric(28,10);
alter table k30m_file add file_category_breakdown_cd varchar(100);
alter table k30t_file_use_data add original_storage_flag varchar(1);
alter table k30t_file_use_data add electronic_target_flag varchar(1);

create table k30m_file_category_breakdown (
company_cd varchar(100) not null,
file_category_breakdown_cd varchar(100) not null,
term_cd varchar(50) not null,
locale_id varchar(50) not null,
file_category_breakdown_name varchar(1000) not null,
start_date timestamp without time zone not null,
end_date timestamp without time zone not null,
delete_flag varchar(1) not null,
extension_a varchar(1000),
extension_b varchar(1000),
extension_c varchar(1000),
extension_d varchar(1000),
extension_e varchar(1000),
extension_f varchar(1000),
extension_g varchar(1000),
extension_h varchar(1000),
extension_i varchar(1000),
extension_j varchar(1000),
entry_ts timestamp without time zone not null,
entry_user_cd varchar(100) not null,
renew_cnt numeric(18,0) not null,
renew_ts timestamp without time zone not null,
renew_user_cd varchar(100) not null
);

alter table k30m_file_category_breakdown add constraint pk_k30m_file_category_breakdown primary key
(company_cd,file_category_breakdown_cd,term_cd,locale_id);

```

■ Oracle Database

基盤モジュールを使用する場合、次のSQL文を実行します。

```
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values ('EkispertWebSettings', 'offpeakteiki', 'en', 'off-peak commuter pass', 'false', '1', '1', 'text',
null, null, 43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'),
'system', 1, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system')
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values ('EkispertWebSettings', 'offpeakteiki', 'ja', 'オフピーク定期', 'false', '1', '1', 'text', null, null, 43,
null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', 1,
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system')
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values ('EkispertWebSettings', 'offpeakteiki', 'zh_CN', '非高峰通勤票', 'false', '1', '1', 'text', null, null,
43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system',
1, to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system')
alter table k10m_ekispert_web add cnd_offpeak_teiki varchar2(100)
alter table k10m_ekispert_web add dsp_offpeak_teiki varchar2(10)
```

ワークフローモジュールを使用する場合、次のSQL文を実行します。

```

insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300010-RETINVOICE', 'en', '300010', 'RETINVOICE', 'Return Invoice', '999', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system')
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300010-RETINVOICE', 'ja', '300010', 'RETINVOICE', '返還請求書', '999', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system')
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300010-RETINVOICE', 'zh_CN', '300010', 'RETINVOICE', '退票', '999', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system')
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300015-OTHERS', 'en', '300015', 'OTHERS', 'Others', '3', '0', to_timestamp('2023-
06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'),
'system')
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300015-OTHERS', 'ja', '300015', 'OTHERS', 'その他', '3', '0', to_timestamp('2023-
06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'),
'system')
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values ('300015-OTHERS', 'zh_CN', '300015', 'OTHERS', '其他的', '3', '0',
to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-dd hh24:mi:ss'), 'system', '1', to_timestamp('2023-06-30 00:00:00', 'yyyy-mm-
dd hh24:mi:ss'), 'system')
alter table k30t_decision_advstl add application_balance numeric(28,10)
alter table ka30t_decision_advstl add application_balance numeric(28,10)
alter table k30m_file add file_category_breakdown_cd varchar2(100)
alter table k30t_file_use_data add original_storage_flag varchar2(1)
alter table k30t_file_use_data add electronic_target_flag varchar2(1)

create table k30m_file_category_breakdown (
company_cd varchar2(100) not null,
file_category_breakdown_cd varchar2(100) not null,
term_cd varchar2(50) not null,
locale_id varchar2(50) not null,
file_category_breakdown_name varchar2(1000) not null,
start_date timestamp not null,
end_date timestamp not null,
delete_flag varchar2(1) not null,
extension_a varchar2(1000),
extension_b varchar2(1000),
extension_c varchar2(1000),
extension_d varchar2(1000),
extension_e varchar2(1000),
extension_f varchar2(1000),
extension_g varchar2(1000),
extension_h varchar2(1000),
extension_i varchar2(1000),
extension_j varchar2(1000),
entry_ts timestamp not null,
entry_user_cd varchar2(100) not null,
renew_cnt numeric(18,0) not null,
renew_ts timestamp not null,
renew_user_cd varchar2(100) not null
)

alter table k30m_file_category_breakdown add constraint pk_k30m_file_category_breakdown primary key
(company_cd,file_category_breakdown_cd,term_cd,locale_id)

```

■ Microsoft SQL Server

基盤モジュールを使用する場合、次のSQL文を実行します。

```
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values (N'EkipertWebSettings', N'offpeakteiki', N'en', N'off-peak commuter pass', N'false', N'1', N'1',
N'text', null, null, 43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, '2023-06-30 00:00:00', N'system', 1, '2023-06-30
00:00:00', N'system');
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values (N'EkipertWebSettings', N'offpeakteiki', N'ja', N'オフピーク定期', N'false', N'1', N'1', N'text',
null, null, 43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, '2023-06-30 00:00:00', N'system', 1, '2023-06-30 00:00:00',
N'system');
insert into k10c_setting_item (setting_category_cd, setting_item_cd, locale_id, setting_item_name, initial_value, re_edit_flag,
required_flag, setting_item_type, setting_item_args, setting_item_validation, sort_key, extension_a, extension_b, extension_c,
extension_d, extension_e, extension_f, extension_g, extension_h, extension_i, extension_j, entry_ts, entry_user_cd, renew_cnt,
renew_ts, renew_user_cd) values (N'EkipertWebSettings', N'offpeakteiki', N'zh_CN', N'非高峰通勤票', N'false', N'1', N'1', N'text',
null, null, 43, null, null, null, null, null, null, null, null, null, null, '2023-06-30 00:00:00', N'system', 1, '2023-06-30 00:00:00',
N'system');
alter table k10m_ekispert_web add cnd_offpeak_teiki nvarchar(100);
alter table k10m_ekispert_web add dsp_offpeak_teiki nvarchar(10);
```

ワークフローモジュールを使用する場合、次のSQL文を実行します。

```
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values (N'300010-RETINVOICE', N'en', N'300010', N'RETINVOICE', N'Return Invoice',
N'999', N'0', '2023-06-30 00:00:00', N'system', '1', '2023-06-30 00:00:00', N'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values (N'300010-RETINVOICE', N'ja', N'300010', N'RETINVOICE', N'返還請求書', N'999',
N'0', '2023-06-30 00:00:00', N'system', '1', '2023-06-30 00:00:00', N'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values (N'300010-RETINVOICE', N'zh_CN', N'300010', N'RETINVOICE', N'退票', N'999',
N'0', '2023-06-30 00:00:00', N'system', '1', '2023-06-30 00:00:00', N'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values (N'300015-OTHERS', N'en', N'300015', N'OTHERS', N'Others', N'3', N'0', '2023-06-
30 00:00:00', N'system', '1', '2023-06-30 00:00:00', N'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values (N'300015-OTHERS', N'ja', N'300015', N'OTHERS', N'その他', N'3', N'0', '2023-06-
30 00:00:00', N'system', '1', '2023-06-30 00:00:00', N'system');
insert into k10c_item(item_id, locale_id, item_type_cd, item_cd, item_name, sort_key, allow_del_flag, entry_ts, entry_user_cd,
renew_cnt, renew_ts, renew_user_cd) values (N'300015-OTHERS', N'zh_CN', N'300015', N'OTHERS', N'其他的', N'3', N'0', '2023-
06-30 00:00:00', N'system', '1', '2023-06-30 00:00:00', N'system');
alter table k30t_decision_advstl add application_balance numeric(28,10);
alter table ka30t_decision_advstl add application_balance numeric(28,10);
alter table k30m_file add file_category_breakdown_cd nvarchar(100);
alter table k30t_file_use_data add original_storage_flag nvarchar(1);
alter table k30t_file_use_data add electronic_target_flag nvarchar(1);

create table k30m_file_category_breakdown (
company_cd nvarchar(100) not null,
file_category_breakdown_cd nvarchar(100) not null,
term_cd nvarchar(50) not null,
locale_id nvarchar(50) not null,
file_category_breakdown_name nvarchar(1000) not null,
start_date datetime2 not null,
end_date datetime2 not null,
delete_flag nvarchar(1) not null,
extension_a nvarchar(1000),
extension_b nvarchar(1000),
extension_c nvarchar(1000),
extension_d nvarchar(1000),
extension_e nvarchar(1000),
extension_f nvarchar(1000),
extension_g nvarchar(1000),
extension_h nvarchar(1000),
extension_i nvarchar(1000),
extension_j nvarchar(1000),
entry_ts datetime2 not null,
entry_user_cd nvarchar(100) not null,
renew_cnt numeric(18,0) not null,
renew_ts datetime2 not null,
renew_user_cd nvarchar(100) not null
);

alter table k30m_file_category_breakdown add constraint pk_k30m_file_category_breakdown primary key
(company_cd,file_category_breakdown_cd,term_cd,locale_id);
```

ジョブ・ジョブネットの登録

バージョン 2.0.12-PATCH_005でジョブ管理のインポート、エクスポートジョブ、ファイル分類内訳のインポート、エクスポートジョブを追加します。

ファイル分類内訳のインポート、エクスポートジョブはワークフローモジュールを使用する場合のみ追加してください。

ジョブ管理のインポートジョブの登録

名称	説明／設定値
ジョブカテゴリ	Kaiden! / マスタ / インポート / ジョブ管理
ジョブID	kaiden-job-base-master-import-job-management
ジョブ名(日本語)	ジョブ管理
ジョブ名(英語)	Job management
ジョブ名(中国語)	工作管理
実行言語	Java

名称	説明／設定値
実行プログラム	jp.co.slcs.kaiden.v2.base.feature.job.generic.MasterImportJob
実行パラメータ(1)	キー：gadgetClass、値：master
実行パラメータ(2)	キー：gadgetVariation、値：jobManagement

ジョブ管理のエクスポートジョブの登録

名称	説明／設定値
ジョブカテゴリ	Kaiden! / マスタ / エクスポート / ジョブ管理
ジョブID	kaiden-job-base-master-export-job-management
ジョブ名(日本語)	ジョブ管理
ジョブ名(英語)	Job management
ジョブ名(中国語)	工作管理
実行言語	Java
実行プログラム	jp.co.slcs.kaiden.v2.base.feature.job.generic.MasterExportJob
実行パラメータ(1)	キー：gadgetClass、値：master
実行パラメータ(2)	キー：gadgetVariation、値：jobManagement

ジョブ管理のインポートジョブネットの登録

名称	説明／設定値
ジョブネットカテゴリ	Kaiden! / マスタ / インポート / ジョブ管理
ジョブネットID	kaiden-jobnet-base-master-import-job-management
ジョブネット名(日本語)	ジョブ管理
ジョブネット名(英語)	Job management
ジョブネット名(中国語)	工作管理
実行ジョブ	上記で登録したジョブ管理のインポートジョブ

ジョブ管理のエクスポートジョブネットの登録

名称	説明／設定値
ジョブネットカテゴリ	Kaiden! / マスタ / エクスポート / ジョブ管理
ジョブネットID	kaiden-jobnet-base-master-export-job-management
ジョブネット名(日本語)	ジョブ管理
ジョブネット名(英語)	Job management
ジョブネット名(中国語)	工作管理
実行ジョブ	上記で登録したジョブ管理のエクスポートジョブ

ファイル分類内訳のインポートジョブの登録

名称	説明／設定値
ジョブカテゴリ	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / ファイル分類内訳
ジョブID	kaiden-job-prwf-master-import-file-category-breakdown
ジョブ名(日本語)	ファイル分類内訳
ジョブ名(英語)	File Category Breakdown
ジョブ名(中国語)	文件□□□分
実行言語	Java
実行プログラム	jp.co.slcs.kaiden.v2.base.feature.job.generic.MasterImportJob
実行パラメータ	キー：masterId、値：file_category_breakdown

名称	説明／設定値
----	--------

ファイル分類内訳のエクスポートジョブの登録

名称	説明／設定値
ジョブカテゴリ	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / ファイル分類内訳
ジョブID	kaiden-job-prwf-master-export-file-category-breakdown
ジョブ名(日本語)	ファイル分類内訳
ジョブ名(英語)	File Category Breakdown
ジョブ名(中国語)	文件□□□分
実行言語	Java
実行プログラム	jp.co.slcs.kaiden.v2.base.feature.job.generic.MasterExportJob
実行パラメータ	キー : masterId、値 : file_category_breakdown

ファイル分類内訳のインポートジョブネットの登録

名称	説明／設定値
ジョブネットカテゴリ	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / ファイル分類内訳
ジョブネットID	kaiden-jobnet-prwf-master-import-file-category-breakdown
ジョブネット名(日本語)	ファイル分類内訳
ジョブネット名(英語)	File Category Breakdown
ジョブネット名(中国語)	文件□□□分
実行ジョブ	上記で登録したファイル分類内訳のインポートジョブ

ファイル分類内訳のエクスポートジョブネットの登録

名称	説明／設定値
ジョブネットカテゴリ	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / ファイル分類内訳
ジョブネットID	kaiden-jobnet-prwf-master-export-file-category-breakdown
ジョブネット名(日本語)	ファイル分類内訳
ジョブネット名(英語)	File Category Breakdown
ジョブネット名(中国語)	文件□□□分
実行ジョブ	上記で登録したファイル分類内訳のエクスポートジョブ

認可・メニューの登録

バージョン 2.0.12-PATCH_005でファイル分類内訳の認可・メニューを追加します。
ワークフローモジュールを使用する場合のみ追加してください。

ファイル分類内訳の認可の登録

名称	説明／設定値
リソースの階層	画面・処理 / 経費精算・旅費精算 / ファイル / ファイル分類内訳
リソースグループID	http-services-kaiden-prwf-mainte-fileCategoryBreakdown
リソースグループ名(日本語)	ファイル分類内訳
リソースグループ名(英語)	File Category Breakdown
リソースグループ名(中国語)	文件□□□分
リソースURI	service://kaiden/master/fileCategoryBreakdown
アクション	Kaiden!管理者を許可、Kaiden!ユーザを禁止

ファイル分類内訳のメニューの登録

名称	説明／設定値
リソースの階層	画面・処理 / 経費精算・旅費精算 / ファイル / ファイル分類内訳
メニューアイテムID	kaiden-prwf-mainte-fileCategoryBreakdown-s
メニューアイテム名(日本語)	ファイル分類内訳
メニューアイテム名(英語)	File Category Breakdown
メニューアイテム名(中国語)	文件分類内訳
URL	kaiden/v2/generic/master
呼び出し方法	POST
引数	キー：masterId、値：file_category_breakdown

バージョン 2.0.13にパッチを適用する際の個別作業

ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.13-PATCH_002で標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義を更新したい場合、「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」の設定を変更してください。

バージョン 2.0.13-PATCH_002を適用する場合、「2.0.13-PATCH_002」を、バージョン 2.0.13-PATCH_003を適用する場合、「2.0.13-PATCH_003」を設定してください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

また、注意点は [バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業](#)の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

<defaultSettings>

... 略 ...

```
<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。
* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。
* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。
-->
<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.13-PATCH_003</gadgetInitImportTargetVersion>
<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。
* 省略できません
* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。
-->
<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>
</defaultSettings>
```

EkisptWebSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.13-PATCH_003で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[オフピーク定期](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールを利用している場合は、以下を参考にEkisptWebSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[駅すばあと API設定](#)』を参照してください。)

<defaultSetting>

... 略 ...

```
<!-- オフピーク定期(省略可。省略された場合は、省略時はfalseか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true    :計算する
** false   :計算しない
-->
```

```
<offpeakteiki>false</offpeakteiki>
```

... 略 ...

</defaultSetting>

項目マスタの確認

— intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド 第31版 2025-06-30

バージョン 2.0.13-PATCH_003で項目マスタの項目区分が「納品/請求区分」、項目コードが「RETINVOICE」の項目を追加します。

同じ項目区分、項目コードの項目が登録されているか確認してください。

登録されている場合、削除して異なる項目コードの項目として登録しなおしてからパッチを適用してください。

バージョン 2.0.14にパッチを適用する際の個別作業

ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.14-PATCH_001で標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義を更新したい場合、「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」の設定を「2.0.14-PATCH_001」に変更してください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

また、注意点は[バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業](#)の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

```
<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。
* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。
* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。
-->
<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.14-PATCH_001</gadgetInitImportTargetVersion>
<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。
* 省略できません
* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。
-->
<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>
</defaultSettings>
```

EkispertWebSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.14-PATCH_001で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[オフピーク定期](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールを利用している場合は、以下を参考にEkispertWebSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[駅すばあと API設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- オフピーク定期(省略可。省略された場合は、省略時はfalseか、detailの値となります。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** true    :計算する
** false   :計算しない
-->
<offpeakteiki>false</offpeakteiki>
... 略 ...
</defaultSetting>
```

項目マスタの確認

バージョン 2.0.14-PATCH_001で項目マスタの項目区分が「納品/請求区分」、項目コードが「RETINVOICE」の項目を追加します。

同じ項目区分、項目コードの項目が登録されているか確認してください。

登録されている場合、削除して異なる項目コードの項目として登録しなおしてからパッチを適用してください。

バージョン 2.0.15にパッチを適用する際の個別作業

EkispertWebSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.15-PATCH_001で intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール モジュール設定に、[オフピーク定期券利用時の計算モード](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールを利用している場合は、以下を参考にEkispertWebSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[駅すばあと API設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>
... 略 ...
<!-- オフピーク定期券利用時の計算モード(オフピーク定期として控除)(省略可。省略時は指定された定期券の種類に関わらず、通常の定期券利用時の運賃計算となります(オフピーク定期券として扱われません)。)
* 以下のいずれかを指定できます。
** offpeakTime :オフピーク定期として控除する オフピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
** peakTime :オフピーク定期として控除しない ピーク時間帯の利用とみなして運賃計算する
-->
<offpeakTeikiMode>offpeakTime</offpeakTeikiMode>
... 略 ...
</defaultSetting>
```

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.15-PATCH_001で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[複数承認者設定を使用するか否か](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```
<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 複数承認者設定を使用するか否かを設定します。
* 省略できません
* true(複数承認者設定を使用)、false(承認者設定を使用)を設定します。
-->
<useMultiAppRoute>>false</useMultiAppRoute>
</defaultSetting>
```

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.15-PATCH_001でGadgetBuilderで作成したガジェットを追加・変更しています。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポート後に**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 通勤経路



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「設定の流れ」-「手順⑥-2：GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。



注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポートは不要ですが、**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 請求書払情報
- 請求書払情報（予算連携）
- 請求書払情報（外貨支払）
- 請求書払情報（外貨支払, 予算連携）
- 請求書払明細
- 請求書払明細（予算）自動引当
- 請求書払明細（予算）手動引当
- 請求書払明細（外貨支払）
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当

- 請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の再配置

「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」にガジェットの定義ファイルを配置している場合、「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置されているファイルを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に配置します。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「設定の流れ」-「手順⑥-2：GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。

バージョン 2.0.16にパッチを適用する際の個別作業

ProductWorkflowSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.16-PATCH_001で標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義を更新したい場合、「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」の設定を「2.0.16-PATCH_001」に変更してください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)」の設定を「true」に変更してください。

変更すると、標準のガジェットと初期データとしてインポートされるコンテンツ定義が更新されます。

以下を参考にProductWorkflowSettings.xmlの設定を修正してください。

（詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。）

また、注意点は[バージョン 2.0.10からアップデートを行う際の個別作業](#)の「ProductWorkflowSettings.xmlの編集」を参照してください。

<defaultSettings>

... 略 ...

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョンを設定します。

* 指定されたバージョンの初期データインポート実行時にGadgetBuilder版ガジェットをインポートします。

* 値が未設定の場合、初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施しません。

-->

<gadgetInitImportTargetVersion>2.0.16-PATCH_001</gadgetInitImportTargetVersion>

<!-- 初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施するか否かを設定します。

* 省略できません

* true(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施する)、false(GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない)を設定します。

-->

<contentsInitImportReplaceMode>true</contentsInitImportReplaceMode>

</defaultSettings>

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.16-PATCH_001でGadgetBuilderで作成したガジェットを変更しています。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポート後に**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 旅程明細
- 旅程明細（簡易）
- 旅程明細（連携）
- 旅程明細（予算）自動引当
- 旅程明細（予算）手動引当
- 旅程明細（簡易, 連携）
- 経費明細（予算）自動引当
- 経費明細（予算）手動引当
- 宿泊明細（予算）自動引当
- 宿泊明細（予算）手動引当
- 日当明細（予算）自動引当
- 日当明細（予算）手動引当
- 請求書払情報（予算連携）
- 請求書払情報（外貨支払, 予算連携）

- 請求書払明細（予算）自動引当
- 請求書払明細（予算）手動引当
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当
- 予算連携
- 予算実績連携
- 事前・精算書検索
- 住所変更
- ファイル添付明細（簡易）
- 税率別合計金額



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。



注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

ProductLabormgrSettings.xmlの編集

バージョン 2.0.16-PATCH_001で intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュール モジュール設定に、[未締めの組織のみ表示するか否か](#)、[36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲\(過去\)](#)、[36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲\(未来\)](#)、[36 協定特別条項の適用年の表示範囲\(過去\)](#)、[36 協定特別条項の適用年の表示範囲\(未来\)](#)を追加しています。

intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理モジュールを利用している場合は、以下を参考にProductLabormgrSettings.xmlの設定を修正してください。

(詳細は『[モジュール設定](#)』を参照してください。)

```

<defaultSetting>

... 略 ...

<!-- 未締めの組織のみ表示するか否かを設定します。
* 省略できません
*
* true(未締め組織のみ表示)、false(すべての組織を表示)を設定します。
-->
<unclosedDepartmentFlag>false</unclosedDepartmentFlag>
<!-- 36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(過去)
* 省略できません
* 0以上の整数を設定してください。
* 36 協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(過去)を設定します。
* 設定値1の場合：基準日を含む締め期間の過去1ヶ月を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodStartMonth>
<!-- 36 協定特別条項の適用締め期間の表示範囲(未来)
* 省略できません
* 0以上の整数を設定してください。
* 36 協定特別条項の適用締め期間にて選択できる期間(未来)を設定します。
* 設定値1の場合：基準日を含む締め期間の未来1ヶ月を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>3</specialProvisions36AgreementPeriodEndMonth>
<!-- 36 協定特別条項の適用年の表示範囲(過去)
* 省略できません
* 0以上の整数を設定してください。
* 36 協定特別条項の適用年にて選択できる期間(過去)を設定します。
* 設定値1の場合：基準日を含む年の過去1年を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementStartYear>3</specialProvisions36AgreementStartYear>
<!-- 36 協定特別条項の適用年の表示範囲(未来)
* 省略できません
* 0以上の整数を設定してください。
* 36 協定特別条項の適用年にて選択できる期間(未来)を設定します。
* 設定値1の場合：基準日を含む年の未来1年を表示する。
-->
<specialProvisions36AgreementEndYear>3</specialProvisions36AgreementEndYear>
</defaultSetting>

```

バージョン 2.0.17にパッチを適用する際の個別作業

ガジェットのインポート

バージョン 2.0.17-PATCH_001でGadgetBuilderで作成したガジェットを変更しています。

下記ガジェットを使用する場合、ガジェットのインポート後に**GadgetBuilder定義(XMLファイル)**を反映してください。

- 備考
- 旅程明細（予算）自動引当
- 旅程明細（予算）手動引当
- 経費明細（予算）自動引当
- 経費明細（予算）手動引当
- 宿泊明細（予算）自動引当
- 宿泊明細（予算）手動引当
- 日当明細（予算）自動引当
- 日当明細（予算）手動引当
- 交際情報
- 請求書払情報（予算連携）
- 請求書払情報（外貨支払, 予算連携）
- 請求書払情報（予算連携（単一選択））
- 請求書払情報（外貨支払, 予算連携（単一選択））
- 請求書払明細（予算）自動引当
- 請求書払明細（予算）手動引当
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当
- 請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当
- ファイル添付明細

- 予算連携
- 予算連携（単一選択）
- 予算実績連携
- 予算実績連携（単一選択）
- 費用振替明細
- 費用振替明細（予算）自動引当
- 費用振替明細（予算）手動引当
- 費用振替明細（予算一括）
- ファイル添付明細（簡易）
- ファイル添付明細（DataDelivery連携）
- ファイル明細
- ファイル明細（汎用）
- 36協定の特別条項申請



コラム

ガジェットを使用する方法は下記の通りです。

1. ガジェットのインポート

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照し、ガジェットをインポートしてください。

2. GadgetBuilder定義(XMLファイル)の反映

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「カスタマイズ手順」 - 「設定の流れ」 - 「手順⑥-2：GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照し、GadgetBuilder定義(XMLファイル)を反映してください。



注意

注意点は[バージョン 2.0.6からアップデートを行う際の個別作業](#)を参照してください。

アンインストール

- アンインストールについては、[アンインストール](#)を参照してください。

付録

ロールの設定

本項では、intra-mart Accel Kaiden!のロールについて説明します。
intra-mart Accel Kaiden!では次のロールを用意しています。

ロール名	概要
Kaiden! 管理者	intra-mart Accel Kaiden!の管理者機能を使用するユーザに対して設定します。
Kaiden! ユーザ	intra-mart Accel Kaiden!のユーザ向け機能を使用するユーザに対して設定します。

コラム

intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールで申請する場合、「Kaiden! ユーザ」に加えて、「IM-Workflow ユーザ」の設定が必要です。

コラム

詳細に認可・ロールを設定したい場合、別途設定してください。

テーマの設定

本項では、intra-mart Accel Kaiden!のテーマについて説明します。
一部のテーマでは制約事項があります。

テーマ	説明・制約事項
Slim Side Menu	intra-mart Accel Platform 2020 Spring で追加された新テーマです。 intra-mart Accel Kaiden!の全ての機能で使用できません。
Slim Dropdown	アーカイブモジュールのJSP版のガジェットでは、表示崩れが発生する場合があるため使用できません。 JSP版のガジェット以外の機能では使用可能です。
標準テーマ	制約事項はありません。
iWP/iAF Version6 互換テーマ	制約事項はありません。
iWP/iAF Version5 互換テーマ	制約事項はありません。

IM-Workflowのカラムサイズ設定を変更した場合の注意

IM-Workflowのカラムサイズを標準機能より拡張した場合、Kaiden!のテーブルのカラムサイズも併せて拡張する必要があります。
IM-Workflowのカラムサイズの設定については、『[IM-Workflow 仕様書](#)』-「設定」-「カラムサイズの拡張」を参照ください。

案件名のカラムサイズ設定を拡張した場合

案件名のカラムサイズ設定を拡張した場合、次のテーブルのmatter_nameフィールドのカラムサイズを「matter-name-size」の設定値と同じ値に変更します。

- k20c_matter_info
- ka20c_matter_info
- k20r_matter_process_info (ver2.0.6で追加したテーブルです。)
- k30t_journal_detail
- k30t_journal_storage
- ka30t_journal_detail
- ka30t_advstl
- ka30t_decision_advstl
- k40t_filelink_doc (ver2.0.10でSAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)に追加したテーブルです。)
- k40t_filelink_settle (ver2.0.10でSAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)に追加したテーブルです。)

案件名のカラムサイズ設定を拡張した場合、次のテーブルのadv_matter_nameフィールドのカラムサイズを「matter-name-size」の設定値と同じ値に変更します。

- k30t_journal_detail
- k30t_journal_storage
- k30t_journal_source_dtl
- ka30t_journal_detail

申請・処理時コメントのカラムサイズ設定を拡張した場合

申請・処理時コメントのカラムサイズ設定を拡張した場合、次のテーブルのprocess_commentフィールドのカラムサイズを「proc-comment-size」の設定値と同じ値に変更します。

- k20c_matter_history
- ka20c_matter_history
- k20r_matter_process_history（ver2.0.6で追加したテーブルです。）

確認時コメントのカラムサイズ設定を拡張した場合

確認時コメントのカラムサイズ設定を拡張した場合、次のテーブルのprocess_commentフィールドのカラムサイズを「confirm-comment-size」の設定値と同じ値に変更します。

- k20r_matter_confirm_history（ver2.0.6で追加したテーブルです。）

横配置・縦配置ノードで展開するノード名のカラムサイズ設定を拡張した場合

横配置・縦配置ノードで展開するノード名のカラムサイズ設定を拡張した場合、次のテーブルのnode_nameフィールドのカラムサイズを「expand-node-name-size」の設定値と同じ値に変更します。

- k20r_matter_process_history（ver2.0.6で追加したテーブルです。）

アーカイブモジュール利用時の注意

2.0.13以降のバージョンでアーカイブモジュールを使用する際の注意点を説明します。

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットの利用

2.0.13以降のバージョンでSpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルのガジェットを使用せず、アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットを使用する場合、以下手順を実施してください。

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットと、2.0.13以降のバージョン(SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデル)のガジェットを1個のコンテンツバージョン内で併用することはできませんのでご注意ください。

アップデート前の申請書をアーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットで参照し、SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルのガジェットの申請書も作成する場合、[Ver2.0.12以前のバージョンからVer2.0.13以降のバージョンにアップデートした場合、アップデート前に申請した申請書をアップデート後に参照する手順](#)も併せて参照してください。

ProductWorkflowSettings.xmlの設定

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットを使用する場合、ProductWorkflowSettings.xmlの設定を変更してください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版ガジェットのインポートを実施する対象バージョン設定](#)」の設定を空文字にしてください。

「[初期データインポート時にGadgetBuilder版コンテンツへの入替え設定](#)」の設定を「false」にしてください。

設定変更することで、SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルのガジェットがインポートされません。

詳細は「[モジュール設定](#)」を参照ください。

アーカイブモジュールのガジェットの利用(GadgetBuilder)

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェット定義は「%システムストレージ%/kaiden_archive/generic/gadget」に格納されます。

利用するガジェットを必要に応じて「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納し、ガジェットをインポートしてください。

詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照してください。

アーカイブモジュールのマスタの利用(MasterBuilder)

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のマスタ定義は「%システムストレージ%/kaiden_archive/generic/master」に格納されます。

利用するマスタを必要に応じて「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/master」に格納してください。

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のGadgetBuilderのガジェットで使用するマスタ検索部品は、アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のMasterBuilderを使用する必要があります。

アーカイブモジュールのマスタメンテナンス画面を使用したい場合、「メニューの再設定」を実施してください。

アーカイブモジュールのマスタのインポート／エクスポートを使用したい場合、「ジョブの再設定」を実施してください。

申請書マスタ（アーカイブモジュール）の利用

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能もアーカイブモジュールの機能を使用する必要があります。

アーカイブモジュールの初期データインポート時に追加されるメニューの、「申請書(アーカイブ)」から申請書マスタメンテナンス機能をご利用ください。

ジョブの再設定

初期データでインポートされるジョブの実行プログラムを2.0.13セットアップ時に更新しています。

初期データでインポートされるジョブで、アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のジョブを使用する場合、実行プログラムを変更してください。

アップデート前に更新前の実行プログラムを確認し、セットアップ後更新前の実行プログラムに変更します。

または、「jp.co.slcs.kaiden.v2」の部分を「jp.co.slcs.kaiden2」に変更してください。

メニューの再設定

初期データでインポートされるメニューのURLを2.0.13セットアップ時に更新しています。

初期データでインポートされるメニューで、アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のメニューを使用する場合、URLを変更してください。

アップデート前に更新前のURLを確認し、セットアップ後更新前のURLに変更します。

または、「kaiden/v2/」の部分を「kaiden/」に変更してください。

ポートレットの再設定

初期データでインポートされるポートレットのページパスを2.0.13セットアップ時に更新しています。

初期データでインポートされるポートレットで、アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のポートレットを使用する場合、ページパスを変更してください。

アップデート前に更新前のページパスを確認し、セットアップ後更新前のページパスに変更します。

または、「kaiden/v2/」の部分を「kaiden/」に変更してください。

アーカイブモジュールのレポートの利用(ReportBuilder)

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のレポート定義は「%システムストレージ%/kaiden_archive/generic/report」に格納されます。

利用するレポートを必要に応じて「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/report」に格納してください。

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のレポートで使用するマスタ検索部品は、アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のMasterBuilderを使用する必要があります。

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)のマスタの利用手順は「アーカイブモジュールのマスタの利用(MasterBuilder)」を参照してください。

アーカイブモジュールのレポートを使用する場合、「メニューの再設定」を実施してください。

フィルタリング設定メンテナンスの利用

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)を含めてセットアップした環境でフィルタリング設定メンテナンスを使用する場合、DBの値、マスタ定義、URLを確認してください。

アーカイブモジュール(SAstruts+S2JDBCの開発モデル)、通常モジュールのどちらかのフィルタリング設定メンテナンスを利用可能です。

ご利用のバージョンにより、通常モジュールのフィルタリング設定メンテナンスで設定可能な項目がアーカイブモジュールのフィルタリング設定メンテナンスでは利用できない場合があります。

アーカイブモジュールのフィルタリング設定メンテナンスの利用

DB

「k10m_filtering_type」、「k10m_master_type」の「jsp_path」に設定されている値が、「/WEB-INF/view/kaiden2」で始まることを確認します。

「k10m_filtering_type」に設定可能な「filtering_type」は「contents」、「gadget」のみです。

「k10m_master_type」に設定可能な「master_type」は「expType」、「issuerTypeExemptionReason」のみです。

「jsp_path」に設定されている値が「/WEB-INF/views/kaiden/v2」で始まる場合、「/WEB-INF/view/kaiden2」に修正してください。

マスタ定義

アーカイブモジュールのフィルタリング設定メンテナンスは、「事業者区分・交付義務の免除理由マスタ」のアーカイブモジュールのマスタ定義を使用します。

「%システムストレージ%/kaiden_archive/generic/master」から「issuer_type_exemption_reason.xml」を取得し、「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/master」に格納してください。

URL

アーカイブモジュールのフィルタリング設定メンテナンスは「kaiden/master/filtering」にアクセスして利用します。

通常モジュールのフィルタリング設定メンテナンスの利用

DB

「k10m_filtering_type」、「k10m_master_type」の「jsp_path」に設定されている値が、「/WEB-INF/views/kaiden/v2」で始まることを確認します。

「jsp_path」に設定されている値が「/WEB-INF/view/kaiden2」で始まる場合、「/WEB-INF/views/kaiden/v2」に修正してください。

マスタ定義

通常モジュールのフィルタリング設定メンテナンスは通常モジュールのマスタ定義を使用します。

「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/master」にフィルタリング設定メンテナンスで使用するマスタのアーカイブモジュールのマスタ定義を格納している場合、通常モジュールのフィルタリング設定メンテナンスは利用できません。

URL

通常モジュールのフィルタリング設定メンテナンスは「kaiden/v2/master/filtering」にアクセスして利用します。

Ver2.0.12以前のバージョンからVer2.0.13以降のバージョンにアップデートした場合、アップデート前に申請した申請書をアップデート後に参照する手順

Ver2.0.12以前のバージョンからVer2.0.13以降のバージョンにアップデートした場合、アップデート前に申請した申請書をアップデート後に参照することができません。

アップデート前の申請書をアーカイブモジュール(SAStruts+S2JDBCの開発モデル)のガジェットで参照し、SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルのガジェットの申請書も作成する場合、アーカイブモジュールを含む環境で当手順を実施してください。

[アーカイブモジュール利用時の注意](#)も併せて参照してください。

尚、当手順を実施した場合、アップデート前に作成した申請書のガジェットバリエーションを変更するため、SpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルのガジェットの申請書へアップデート前に作成した申請書をコピーすることはできません。

アップデート前にJSP版ガジェットを使用している場合の手順

アップデート前にJSP版ガジェットを使用している場合、当手順を実施してください。

バージョンアップ前の手順

申請書マスタでコンテンツバージョンコピーを実施し、期間を分割します。

当手順はバージョンアップ後に実施しても問題ありません。

申請書マスタからコンテンツバージョンコピーを実施すると、フロー定義の個別設定は引き継がれません。

フロー定義に個別設定を実施している場合、フロー定義の再設定を実施してください。

バージョンアップ前の準備

当手順はバージョンアップ後に実施しても問題ありません。

バージョンアップ後に実施する場合、「%システムストレージ%/kaiden_archive/generic/gadget/old」からXMLファイルを取得してください。

1. 使用しているガジェットを洗い出します。
2. 「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget/old」フォルダから使用しているガジェットのファイルをコピーして、ファイル名を変更して「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納します。
「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget/old」フォルダには、JSP版ガジェットの定義が格納されています。
ファイル名は、「%ガジェットクラス%_%ガジェットバリエーション%.xml」です。
ファイル名を変更する際は、ガジェットバリエーションの部分を「v01」などから「c01」などに変更してください。
変更した値を、以後「変更後のガジェットバリエーション」と呼びます。
バージョンアップ前のバージョンがVer2.0.9より前の場合、Ver2.0.9以降の公開ソースからガジェットの定義を取得してください。
3. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのガジェットバリエーション（gadgetBuilderSettings / gadgetVariation）、ガジェット名（gadgetBuilderSettings / descriptions / description @ gadgetName）を変更します。
ガジェットバリエーション（gadgetBuilderSettings / gadgetVariation）は変更後のガジェットバリエーションを設定してください。
ガジェット名（gadgetBuilderSettings / descriptions / description @ gadgetName）は標準ガジェットと区別できるように設定してください。
4. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのJSPパス（gadgetBuilderSettings / jspPath）に記載のJSPを公開ソースから取得します。
上記JSPと同じフォルダにスマートフォン版のJSP「xxxxx_sp.jsp」が格納されている場合、スマートフォン版のJSPも取得します。
Ver2.0.12または、Ver2.0.13以降のアーカイブモジュールの公開ソースをご利用ください。
5. 公開ソースから取得したJSPのファイル名の「V01」などの部分を「C01」など変更後のガジェットバリエーションに合わせて変更します。
JSPは、ユーザモジュールの取得元のJSPが格納されていたパスと同じフォルダに格納してください。
スマートフォン版のJSPがある場合、スマートフォン版のJSPのファイル名も同様に更新してユーザモジュールに格納します。
6. 公開ソースから取得してファイル名を変更したJSPの「<c:set var="gadgetVariation">v01</c:set>」などガジェットバリエーションを定義している箇所を、「<c:set var="gadgetVariation">c01</c:set>」など変更後のガジェットバリエーションに変更します。
スマートフォン版のJSPがある場合、スマートフォン版のJSPのファイルも同様に更新します。
7. 当手順でJSPを追加したユーザモジュールをアップデート後の環境に含めてデプロイする必要があります。
8. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのJSPパス（gadgetBuilderSettings / jspPath）に記載のパスのファイル名をユーザモジュールに追加したJSPのファイル名に修正します。
スマートフォン版のJSPの定義は不要です。
9. ガジェットのトランザクションデータ(k30t_xxxxxx)のガジェットバリエーションを変更後のガジェットバリエーションに修正します。
「ガジェットクラス_ガジェットバリエーション_ガジェットインスタンス」で構成されているガジェットIDのガジェットバリエーション部分も変更後のガジェットバリエーションに修正します。
修正対象のテーブルは [トランザクションデータを変更する必要があるテーブルについて](#) を参考にしてください。
10. ProductWorkflowSettings.xmlの「gadgetInitImportTargetVersion」をガジェットのインポートを実施する設定に、「contentsInitImportReplaceMode」をコンテンツの入替えを実施しない設定にします。
詳細は [アップデート・パッチの適用](#) を参照してください。

バージョンアップ後の手順

1. ガジェットインポートジョブを実行して、「バージョンアップ前の準備」で「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したガジェットをインポートします。
2. 申請書マスタ(アーカイブ)から、コンテンツバージョンの過去の期間に関して、「バージョンアップ前の準備」で「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したガジェットに差し替えて更新します。
3. バージョンアップ前に標準ガジェットのXMLが「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納されている場合、「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダのXMLを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに上書きします。
4. 申請書マスタから新しい期間のコンテンツバージョンに対してガジェットのつけ外しを実施して更新します。
5. 登録済みのコンテンツのユーザプログラムは申請書マスタから更新されないため、IM-Workflowのコンテンツ定義から、新しい期間のコンテンツバージョンのユーザプログラムを更新します。
ユーザプログラムに登録されている全てのプログラムに対して「jp.co.slcs.kaiden2」の箇所を「jp.co.slcs.kaiden.v2」に変更してください。

アップデート前にGadgetBuilder版ガジェットを使用している場合の手順

アップデート前にGadgetBuilder版ガジェットを使用している場合、当手順を実施してください。

Ver2.0.12より前のバージョンをご利用の場合、Ver2.0.12の最新のパッチにバージョンアップしてから作業することを推奨します。

バージョンアップ前の手順

Ver2.0.12以前のバージョンで作業する場合、Ver2.0.12の最新のパッチの環境を作成し、「%システムストレージ%/kaiden/generic」からXMLファイルを取得してください。

または、バージョンアップ後に実施してください。

バージョンアップ後に実施する場合、「%システムストレージ%/kaiden_archive/generic」からXMLファイルを取得してください。

1. 使用しているガジェットを洗い出します。
2. 「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダから使用しているガジェットのファイルをコピーして、ファイル名を変更して「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納します。
ファイル名は、「%ガジェットクラス%_%ガジェットバリエーション%.xml」です。
ファイル名を変更する際は、ガジェットバリエーションの部分を「v01」などから「c01」などに変更してください。
変更した値を、以後「変更後のガジェットバリエーション」と呼びます。
3. 使用しているガジェット内で使用しているMasterBuilderを洗い出します。
フィールドタイプ（gadgetBuilderSettings / blocks / block / groups / group / fields / field @ type）が「MASTER」のフィールドでMasterBuilderを使用しています。
4. 「%システムストレージ%/kaiden/generic/master」フォルダから使用しているMasterBuilderのファイルをコピーして、ファイル名を変更して「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/master」フォルダに格納します。
ファイル名を変更する際は、「%マスタID%_%拡張ID%.xml」のようにファイル名の末尾に「c01」などの任意の拡張IDを付与します。
5. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのガジェットバリエーション（gadgetBuilderSettings / gadgetVariation）、ガジェット名（gadgetBuilderSettings / descriptions / description @ gadgetName）を変更します。
ガジェットバリエーション（gadgetBuilderSettings / gadgetVariation）は変更後のガジェットバリエーションを設定してください。
ガジェット名（gadgetBuilderSettings / descriptions / description @ gadgetName）は標準ガジェットと区別できるように設定してください。
6. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのMasterBuilderを使用している箇所の引数設定（gadgetBuilderSettings / blocks / block / groups / group / fields / field / args / arg）の「extensionId」をMasterBuilderのファイル名に付与した拡張IDに変更します。
7. ガジェットインポートジョブを実行して、「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したガジェットをインポートします。
8. 申請書マスタでコンテンツバージョンコピーを実施し、期間を分割します。
9. コンテンツバージョンの過去の期間に関して、「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したガジェットに差し替えて更新します。
10. ガジェットのトランザクションデータ(k30t_xxxxxx)のガジェットバリエーションを変更後のガジェットバリエーションに修正します。
ガジェットクラス_ガジェットバリエーション_ガジェットインスタンスで構成されているガジェットIDのガジェットバリエーション部分も変更後のガジェットバリエーションに修正します。
修正対象のテーブルは [トランザクションデータを変更する必要があるテーブルについて](#) を参考にしてください。

バージョンアップ前の準備

1. ProductWorkflowSettings.xmlの「gadgetInitImportTargetVersion」をガジェットのインポートを実施する設定に、「contentsInitImportReplaceMode」をコンテンツの入替えを実施しない設定にします。
詳細は [アップデート・パッチの適用](#) を参照してください。

バージョンアップ後の手順

1. バージョンアップ前に標準ガジェットのXMLが「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納されている場合、「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダのXMLを「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに上書きします。
2. 申請書マスタから新しい期間のコンテンツバージョンに対してガジェットのつけ外しを実施して更新します。
3. 登録済みのコンテンツのユーザプログラムは申請書マスタから更新されないため、IM-Workflowのコンテンツ定義から、新しい期間のコンテンツバージョンのユーザプログラムを更新します。
ユーザプログラムに登録されている全てのプログラムに対して「jp.co.slcs.kaiden2」の箇所を「jp.co.slcs.kaiden.v2」に変更してください。

ガジェットごとの追加手順

会計期間チェック、請求書番号チェック、費用明細行数チェックを使用する場合

会計期間チェック(accountingPeriodValidate_v01.xml、accountingPeriodValidate_v02.xml)、請求書番号チェック(billingNoValidate_v01)、費用明細行数チェック(expenseCountValidate_v01.xml)を使用する場合、追加の手順が必要です。
「バージョンアップ前の手順」のガジェットインポートを実施前に実施ください。

1. 「バージョンアップ前の手順」で「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのJSPパス（gadgetBuilderSettings / jspPath）に記載のJSPを公開ソースから取得します。
上記JSPと同じフォルダにスマートフォン版のJSP「xxxxx_sp.jsp」が格納されている場合、スマートフォン版のJSPも取得します。
Ver2.0.12または、Ver2.0.13以降のアーカイブモジュールの公開ソースをご利用ください。
2. 公開ソースから取得したJSPのファイル名の「V01」などの部分を「C01」など変更後のガジェットバリエーションに合わせて変更します。
JSPは、ユーザモジュールの取得元のJSPが格納されていたパスと同じフォルダに格納してください。
スマートフォン版のJSPがある場合、スマートフォン版のJSPのファイル名も同様に更新してユーザモジュールに格納します。
3. 公開ソースから取得してファイル名を変更したJSPの「<c:set var="gadgetVariation">v01</c:set>」などガジェットバリエーションを定義している箇所を、「<c:set var="gadgetVariation">c01</c:set>」など変更後のガジェットバリエーションに変更します。
スマートフォン版のJSPがある場合、スマートフォン版のJSPのファイル名も同様に更新します。
4. 当手順でJSPを追加したユーザモジュールをアップデート後の環境に含めてデプロイする必要があります。
5. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのJSPパス（gadgetBuilderSettings / jspPath）に記載のパスのファイル名をユーザモジュールに追加したJSPのファイル名に修正します。
スマートフォン版のJSPの定義は不要です。

ファイル添付明細を使用する場合

ファイル添付明細(fileAttachDetail_v01.xml)、ファイル添付明細（DataDelivery連携）(fileAttachDetailForDD_v01.xml)を使用する場合、追加の手順が必要です。
「バージョンアップ前の手順」のガジェットインポートを実施前に実施ください。

1. 「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/gadget」フォルダに格納したファイルのバリデート内容（gadgetBuilderSettings / blocks / block / groups / group / fields / field / validates / validate @ config）の「fileAttachDetail_v01_0_uploadFilesExtension」または「fileAttachDetailForDD_v01_0_uploadFilesExtension」の「v01」を変更後のガジェットバリエーションに変更してください。

ファイル明細、ファイル検索を使用する場合

ファイル明細(fileDetail_v01.xml)、ファイル検索(searchFile_v01.xml)を使用する場合、追加の手順が必要です。
「バージョンアップ前の手順」のガジェットインポートを実施前に実施ください。

1. 「%システムストレージ%/kaiden/generic/master」フォルダから次のファイルをコピーして、ファイル名を変更して「%パブリックストレージ%/kaiden/generic/master」フォルダに格納します。

コピー元ファイル名	コピー先で変更後のファイル名
company.xml	company_%ファイル検索のガジェットID%.xml
currency.xml	currency_archive.xml
currency.xml	currency_%ファイル検索のガジェットID%.xml
file_category_breakdown.xml	file_category_breakdown_archive.xml
file_category.xml	file_category_%ファイル検索のガジェットID%.xml
file_received.xml	file_received_archive.xml
file_received.xml	file_received_%ファイル検索のガジェットID%.xml
file_user.xml	file_user_%ファイル検索のガジェットID%.xml
item.xml	item_archive.xml
item.xml	item_%ファイル検索のガジェットID%.xml
qualified_invoice_settings.xml	qualified_invoice_settings_archive.xml
qualified_invoice_settings.xml	qualified_invoice_settings_%ファイル検索のガジェットID%.xml
user_ath_company.xml	user_ath_company_archive.xml
user_ath_company.xml	user_ath_company_%ファイル検索のガジェットID%.xml

手順が完了したかの確認観点

手順が正常に完了したかの確認観点を説明します。

コンテンツバージョンの過去の期間で、アーカイブモジュールの申請書を参照します。

コンテンツバージョンの新しい期間で、通常モジュールの申請書を使用します。

バージョンアップ前に申請した申請書は、バージョンアップ前にフローを完了させてください。

過去の期間、新しい期間のコンテンツバージョン共通の確認観点

新規申請書を作成し、申請、承認を行います。

フローが正常に完了することを確認してください。

過去の期間のコンテンツバージョンでバージョンアップ前に申請した申請書を参照する確認観点

バージョンアップ前に申請した申請書が参照できるか確認してください。

JSP版ガジェットでスマートフォン用画面を使用している場合、スマートフォン用の画面が参照できることを確認してください。

トランザクションデータが正しく変更できたこと、JSP版ガジェットのスマートフォン版のJSPが正しく呼び出していることを確認します。

過去の期間のコンテンツバージョンで新しく申請書を作成する際の確認観点

全てのマスタ検索部品で正常に検索が実施できることを確認してください。

全てのセレクトボックスの選択肢が正常に生成されることを確認してください。

拡張IDを付与したMasterBuilderが読み出していることを確認します。

新しい期間のコンテンツバージョンで新しく申請書を作成する際の確認観点

完了案件削除、未完了案件削除、アーカイブ、過去案件(アーカイブ)削除が正常に実施できるか確認してください。

コンテンツ定義の新しい期間のコンテンツバージョンのユーザプログラムが変更されていることを確認します。

トランザクションデータを変更する必要があるテーブルについて

トランザクションデータを変更する必要があるテーブルについて説明します。

テーブル名	ガジェット ID(gadget_id)を含むか どうか	ガジェットバリエーション (gadget_variation)を 含むかどうか	利用ガジェットカテゴリまたは利用ガジェットなど
k10t_btm_use_data		○	BTMサービスデータ検索
k10t_card_use_data		○	法人カードデータ検索
k10t_jnavi_card_data		○	法人カード検索(J'sNAVI Jr.)
k10t_jnavi_trip_data		○	出張手配実績データ検索
k20t_gadget_template		○	ガジェットテンプレート機能
k20t_generic_detail	○	○	標準ガジェットでの利用なし
k20t_generic_gadget	○	○	フォーム付きPDF
k20t_generic_info	○	○	標準ガジェットでの利用なし
ka20t_generic_detail	○	○	標準ガジェットでの利用なし
ka20t_generic_gadget	○	○	フォーム付きPDF
ka20t_generic_info	○	○	標準ガジェットでの利用なし
k30t_adv	○	○	事前情報
k30t_adv_balance	○	○	精算情報
k30t_allowance_detail	○	○	日当明細
k30t_amount_sum_detail	○	○	税率別合計金額
k30t_bill_payment_detail	○	○	請求書払明細
k30t_bill_payment_info	○	○	請求書払情報
k30t_budget_actual	○	○	予算実績連携

テーブル名	ガジェット ID(gadget_id)を含むか どうか	ガジェットバリエーション (gadget_variation)を 含むかどうか	利用ガジェットカテゴリまたは利用ガジェットなど
k30t_budget_balance	○	○	予算実績連携
k30t_business_trip	○	○	出張手配
k30t_cancel_detail	○	○	取消明細
k30t_chg_comm_route	○	○	出通勤経路
k30t_chg_comm_route_dtl	○	○	通勤経路
k30t_chg_emp_address	○	○	住所変更
k30t_chg_emp_address_dtl	○	○	住所変更
k30t_chg_emp_bank	○	○	従業員口座
k30t_chg_emp_bank_dtl	○	○	従業員口座
k30t_decision_adv	○	○	決裁事前
k30t_decision_adv_dtl	○	○	決裁事前
k30t_decision_status	○	○	決裁事前
k30t_decision_stl	○	○	決裁精算
k30t_ent_inf	○	○	交際情報
k30t_ent_inf_oth_dtl	○	○	交際情報
k30t_ent_inf_our_dtl	○	○	交際情報
k30t_expense_detail	○	○	経費明細
k30t_expense_info	○	○	経費旅費情報
k30t_file_attach_detail	○	○	ファイル添付明細
k30t_file_info	○	○	ファイル添付明細
k30t_file_use_data	○	○	ファイル検索
k30t_generic	○	○	汎用
k30t_information_detail	○	○	情報明細
k30t_journal_detail	○	○	費用振替明細
k30t_lodge_detail	○	○	宿泊明細
k30t_matter_detail	○	○	案件明細
k30t_public_application	○	○	申請書公開設定
k30t_public_application_dtl	○	○	申請書公開設定
k30t_route_detail	○	○	旅程明細
k30t_stl	○	○	精算情報
k30t_travel_detail	○	○	渡航明細
ka30t_adv	○	○	事前情報
ka30t_allowance_detail	○	○	日当明細
ka30t_amount_sum_detail	○	○	税率別合計金額
ka30t_bill_payment_detail	○	○	請求書払明細
ka30t_bill_payment_info	○	○	請求書払情報
ka30t_budget_actual	○	○	予算実績連携
ka30t_business_trip	○	○	出張手配
ka30t_cancel_detail	○	○	取消明細
ka30t_chg_comm_route	○	○	出通勤経路

テーブル名	ガジェット	ガジェットバリエーション	利用ガジェットカテゴリまたは利用ガジェットなど
	ID(gadget_id)を含むかどうか	(gadget_variation)を含むかどうか	
ka30t_chg_comm_route_dtl	○	○	通勤経路
ka30t_chg_emp_address	○	○	住所変更
ka30t_chg_emp_address_dtl	○	○	住所変更
ka30t_chg_emp_bank	○	○	従業員口座
ka30t_chg_emp_bank_dtl	○	○	従業員口座
ka30t_decision_adv	○	○	決裁事前
ka30t_decision_adv_dtl	○	○	決裁事前
ka30t_decision_stl	○	○	決裁精算
ka30t_ent_inf	○	○	交際情報
ka30t_ent_inf_oth_dtl	○	○	交際情報
ka30t_ent_inf_our_dtl	○	○	交際情報
ka30t_expense_detail	○	○	経費明細
ka30t_expense_info	○	○	経費旅費情報
ka30t_file_attach_detail	○	○	ファイル添付明細
ka30t_generic	○	○	汎用
ka30t_information_detail	○	○	情報明細
ka30t_journal_detail	○	○	費用振替明細
ka30t_lodge_detail	○	○	宿泊明細
ka30t_matter_detail	○	○	案件明細
ka30t_public_application	○	○	申請書公開設定
ka30t_public_application_dtl	○	○	申請書公開設定
ka30t_route_detail	○	○	旅程明細
ka30t_stl	○	○	精算情報
ka30t_travel_detail	○	○	渡航明細